

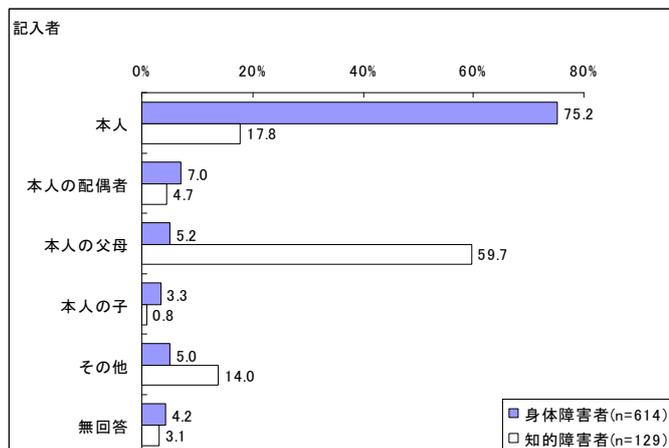
VI

身体・知的障害者

回答者の属性(身体障害者) (単位:人)	
性別	
男	323
女	290
無回答	1
年齢	
5歳以下	5
6-18歳	12
19-69歳	347
70歳以上	241
無回答	9
回答者の属性(知的障害者) (単位:人)	
性別	
男	84
女	45
無回答	0
年齢	
5歳以下	7
6-18歳	31
19-69歳	86
70歳以上	3
無回答	2

○調査票記入者 [単数回答]

記入者についてみると、身体障害者では「本人」が約7割5分、知的障害者では「本人の父母」が約6割と、多くなっています。

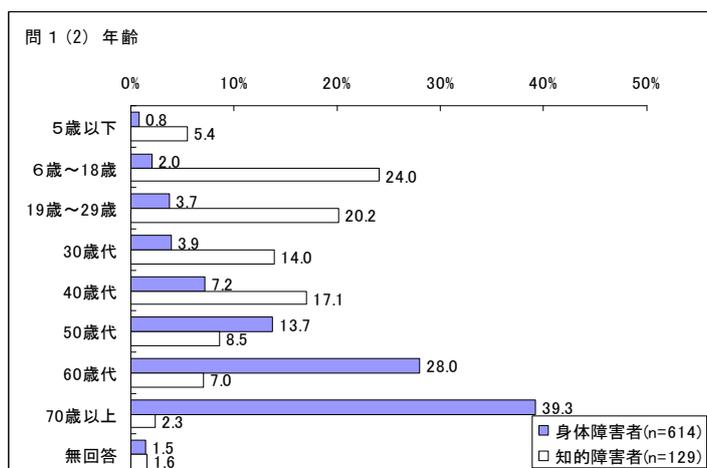
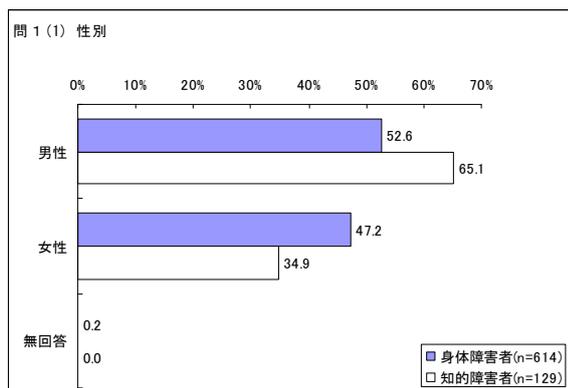


1 身体障害者手帳や愛の手帳をお持ちのご本人のことについて

問1 (1) 性別、(2) 年齢 [単数回答]

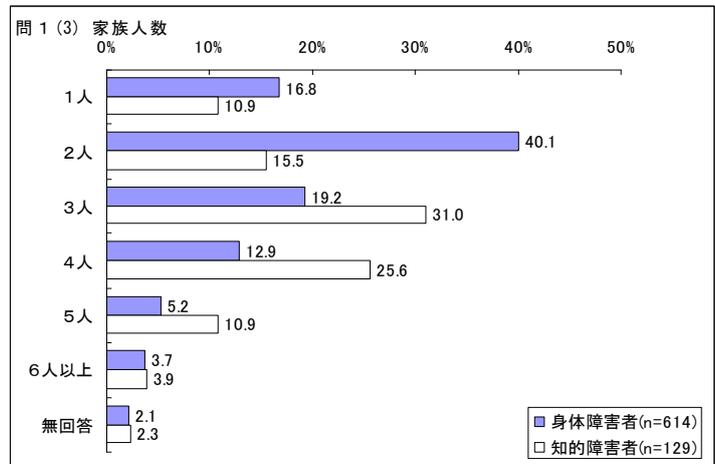
性別についてみると、身体・知的障害者ともに「男性」が「女性」を上回っています。

年齢についてみると、身体障害者では「70歳以上」が4割弱、知的障害者では「6歳～18歳」が2割5分弱と、最も多くなっています。



(3) 家族人数（本人を含めて）[単数回答]

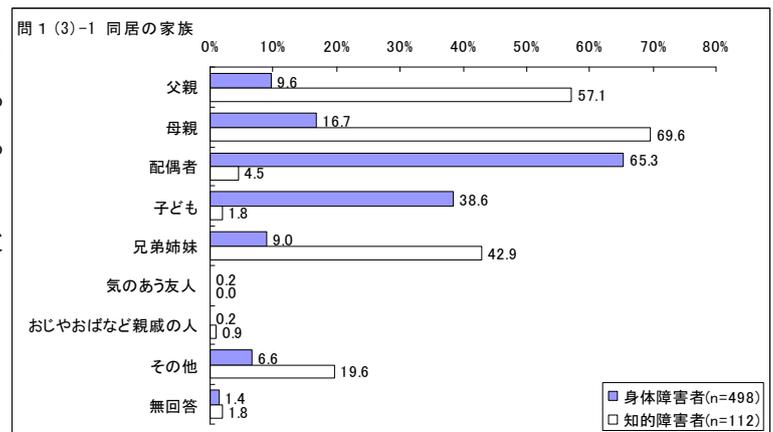
家族人数についてみると、身体障害者では「2人」が40.1%、知的障害者では「3人」が31%と最も多くなっています。



問1(3)で 「1人」以外を選んだ回答者

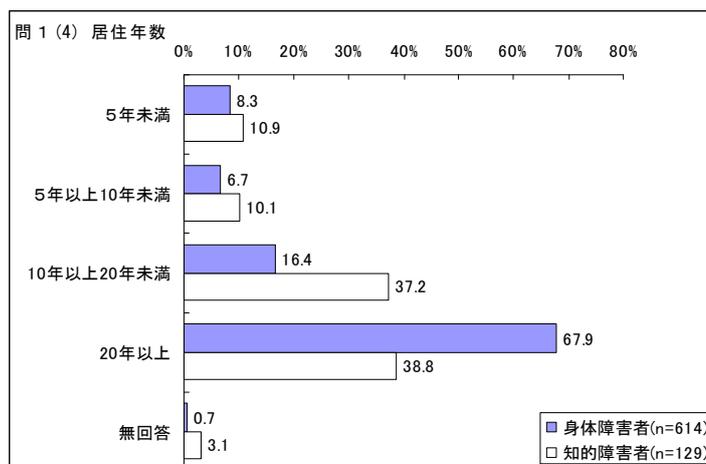
(3) - 1 現在、あなたは誰と一緒に住んでいますか。[複数回答]

誰と一緒に住んでいるかについてみると、身体障害者では「配偶者」が65.3%と最も多く、次いで「子ども」が38.6%となっています。また知的障害者では、「母親」が69.6%と最も多く、次いで「父親」が57.1%となっています。



(4) 福生市での居住年数 [単数回答]

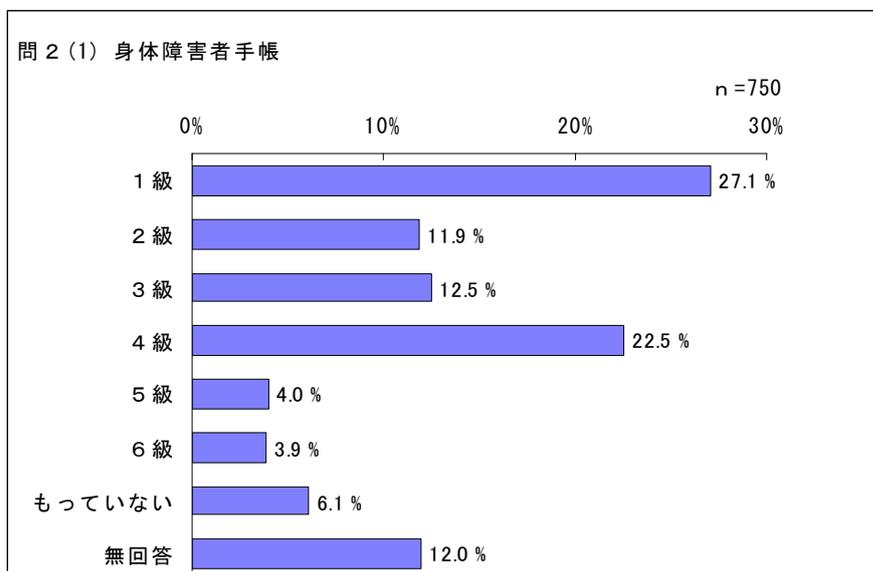
福生市での居住年数についてみると、身体・知的障害者ともに「20年以上」が最も多く、それぞれ 67.9%（身体）、38.8%（知的）となっています。



問 2 お手持ちの手帳と障害の程度についてうかがいます。 [単数回答]

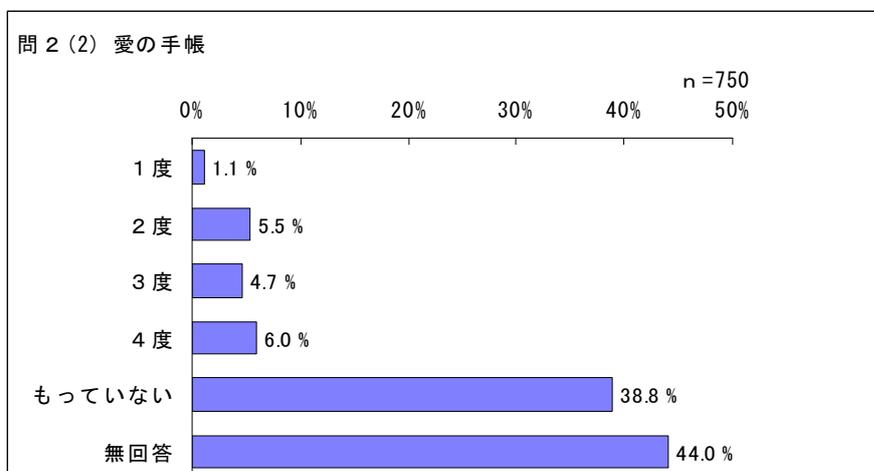
(1) 身体障害者手帳

身体障害者手帳についてみると、「1級」が 27.1%と最も多く、次いで「4級」が 22.5%となっています。



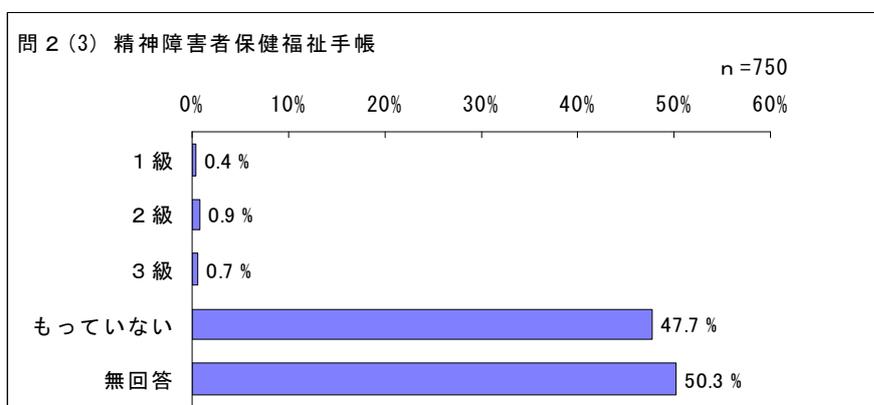
(2) 愛の手帳

愛の手帳についてみると、「無回答」が44%と最も多く、次いで「もっていない」が38.8%となっています。



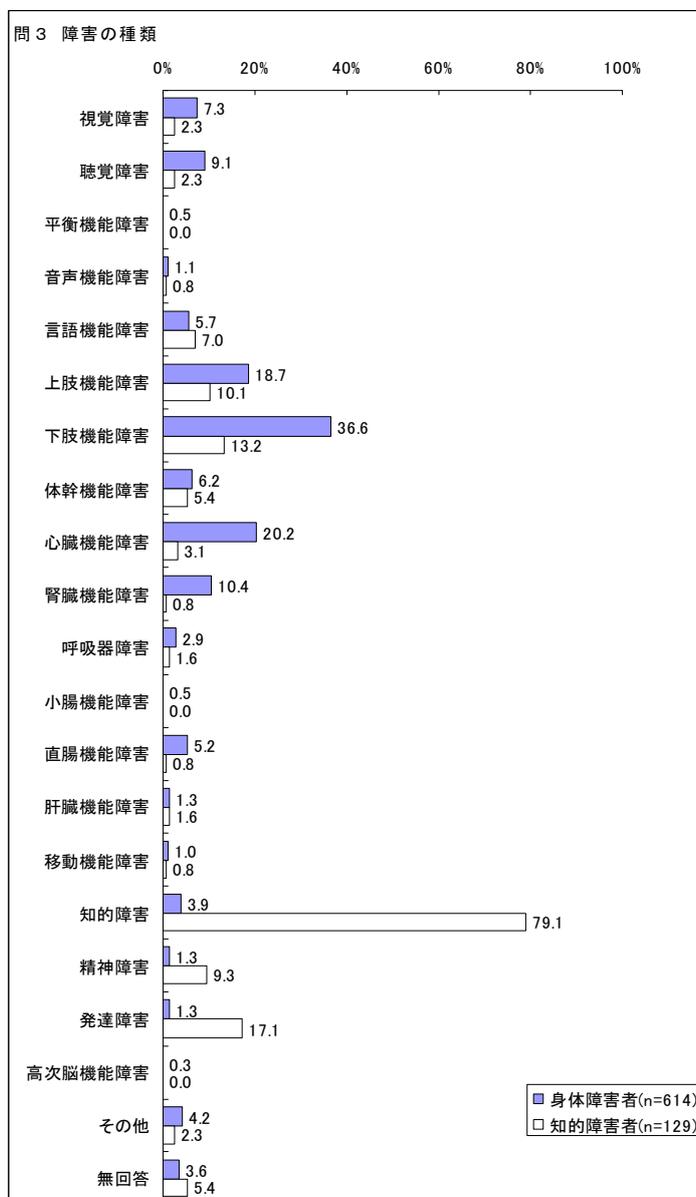
(3) 精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳についてみると、「無回答」が50.3%と最も多く、次いで「もっていない」が47.7%となっています。



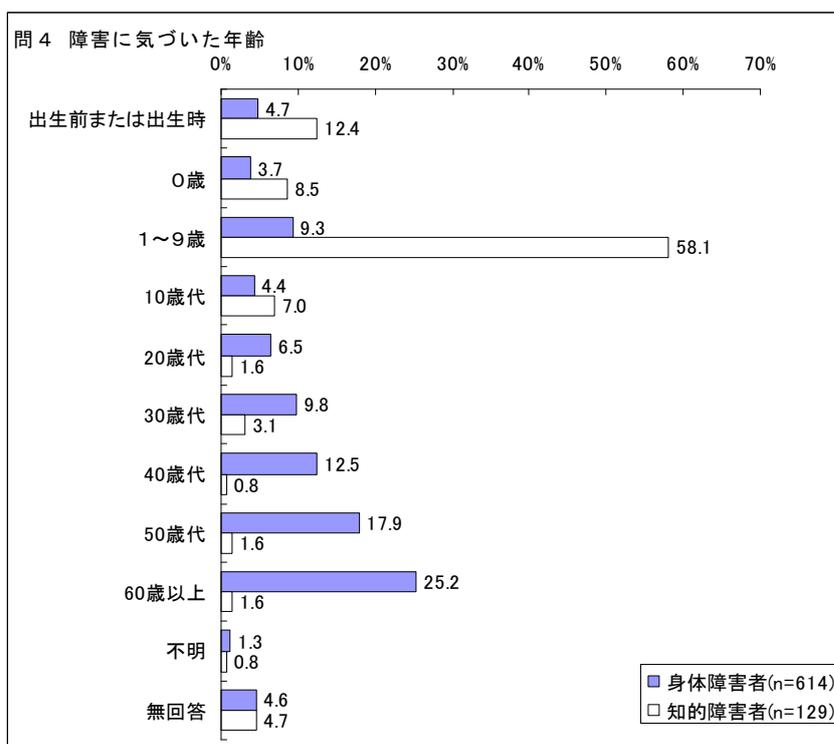
問3 障害の種類についてうかがいます。[複数回答]

障害の種類についてみると、身体障害者では「下肢機能障害」が36.6%と最も多く、次いで「心臓機能障害」が20.2%となっています。また知的障害者では「知的障害」が79.1%、次いで「発達障害」が17.1%となっています。



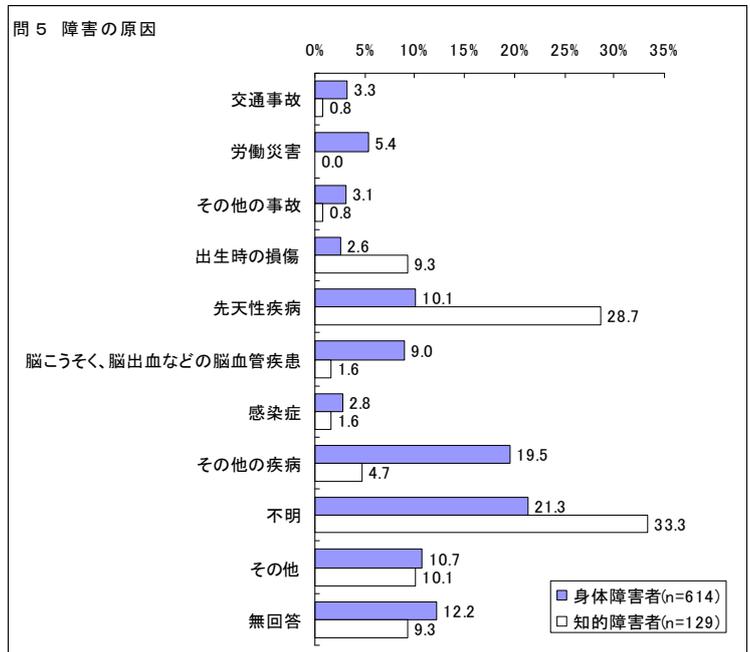
問4 障害に気づかれたのは何歳ごろでしたか。[単数回答]

障害に気づいたのは何歳ごろかについてみると、身体障害者では「60歳以上」が25.2%と最も多く、次いで「50歳代」が17.9%となっています。また、知的障害者では「1～9歳」が58.1%と最も多く、次いで「出生前または出生時」が12.4%となっています。



問5 障害の原因は何ですか。[単数回答]

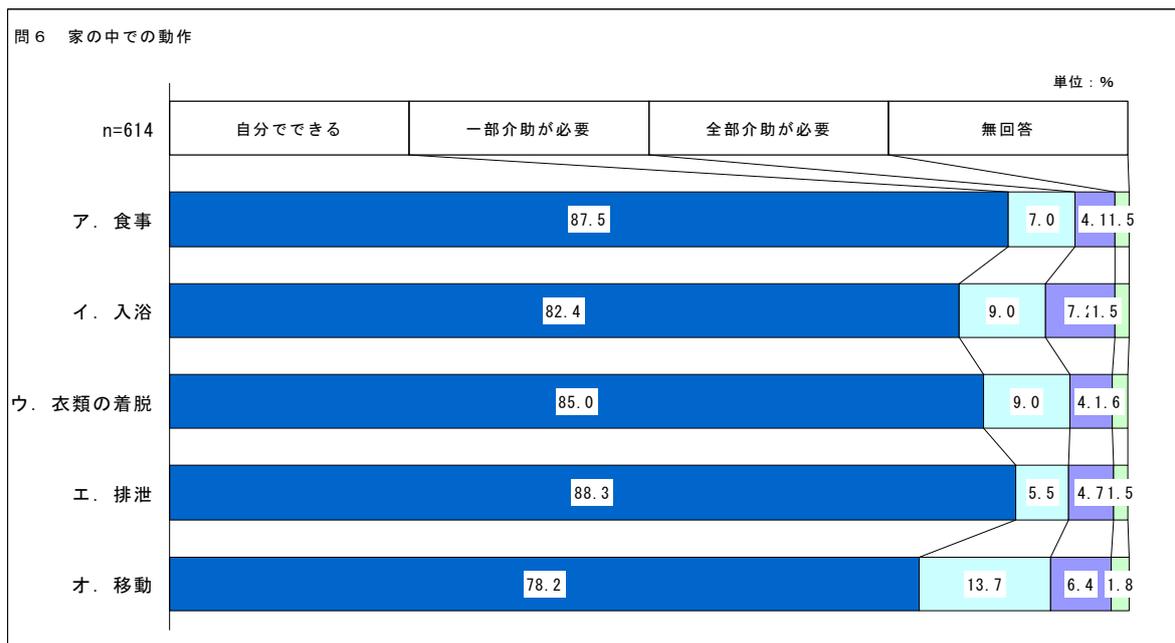
障害の原因についてみると、身体障害者では「不明」が21.3%と最も多く、次いで「その他の疾病」が19.5%となっています。また、知的障害者では「不明」が33.3%と最も多く、次いで「先天性疾病」が28.7%となっています。



問6 家の中での次の動作についてうかがいます。[単数回答]

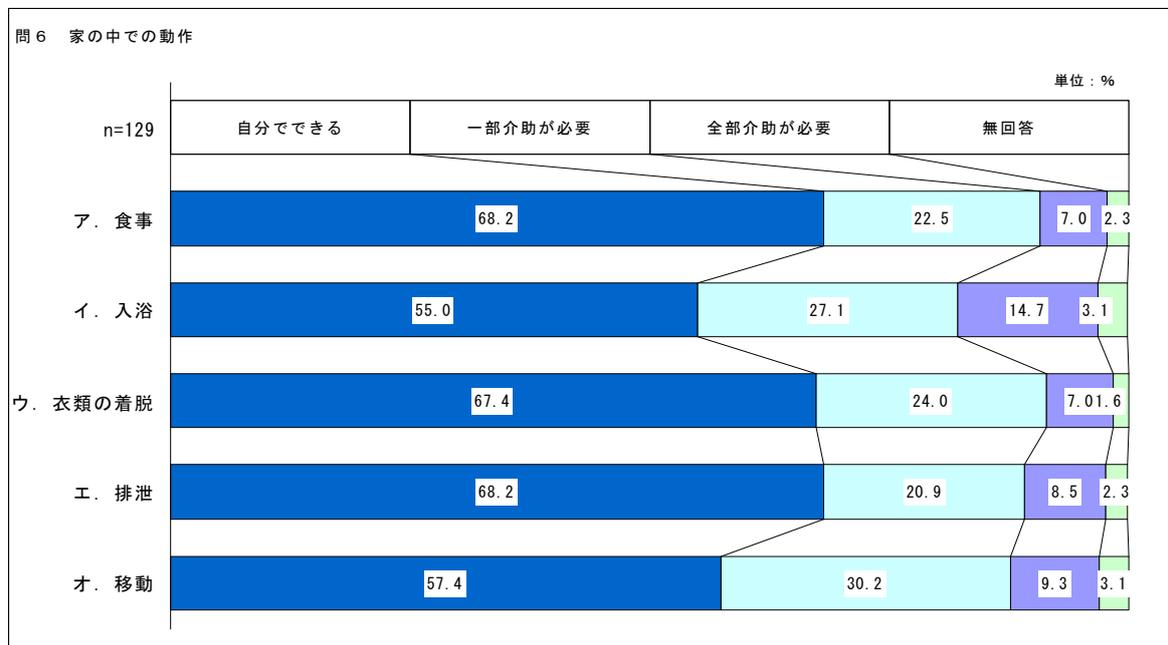
<身体障害者>

家の中での動作についてみると、身体障害者では、いずれも「自分でできる」が8割前後以上となっています。



<知的障害者>

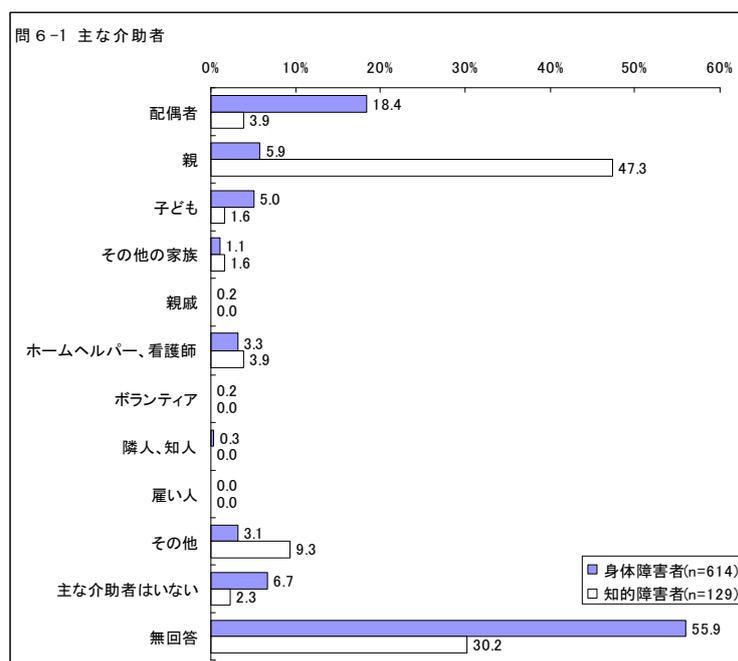
家の中での動作についてみると、知的障害者では『食事』、『衣類の着脱』、『排泄』、『移動』が「自分でできる」のは6割弱～7割弱で、『入浴』ではやや少なく5割台半ばとなっています。



問6で 1つでも「一部介助が必要」、「全部介助が必要」を選んだ回答者

問6-1 主な介助者は誰ですか。[単数回答]

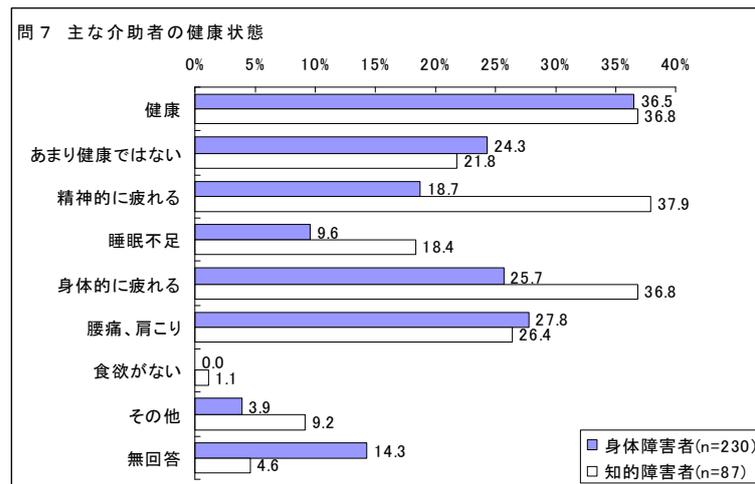
主な介助者についてみると、身体障害者では「無回答」が55.9%と最も多く、次いで「配偶者」が18.4%、知的障害者では「親」が47.3%と最も多くなっています。



問6-1で「主な介助者はいない」以外を選んだ回答者

問7 主な介助者の健康状態についてうかがいます。[複数回答]

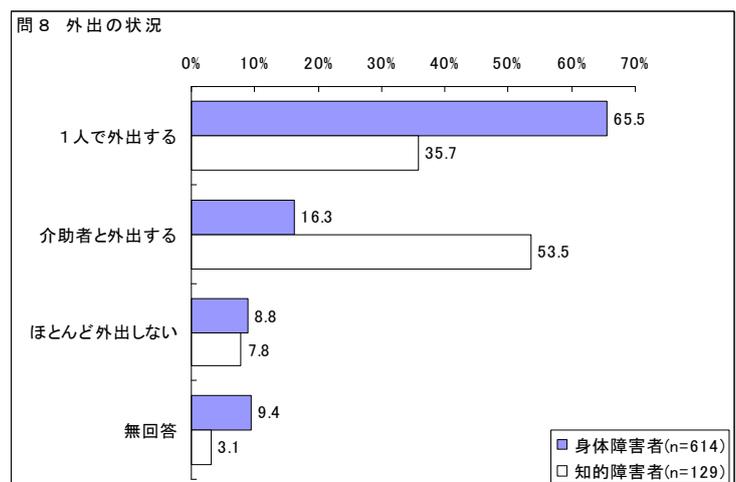
主な介助者の健康状態についてみると、身体障害者では「健康」が36.5%と最も多く、次いで「腰痛、肩こり」が27.8%となっています。また、知的障害者では「精神的に疲れる」が37.9%と最も多く、次いで「健康」と「身体的に疲れる」がともに36.8%となっています。



2 日常生活について

問8 買い物、趣味、遊び、散歩などで家から外出されますか (通学、通院、通勤、施設に通うことは除きます)。[単数回答]

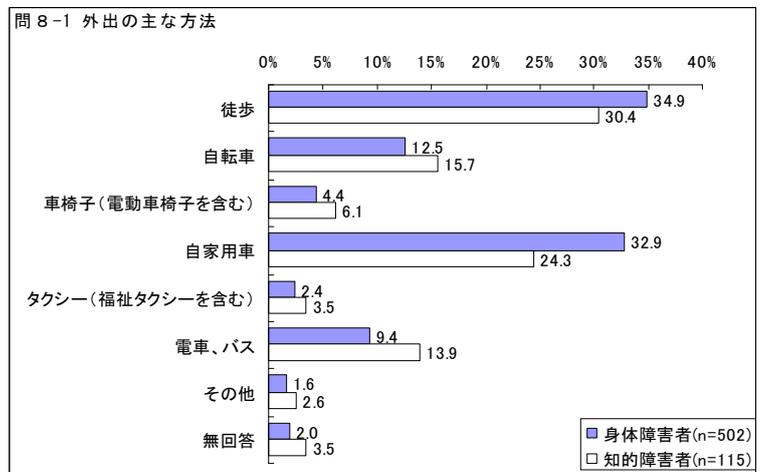
外出状況についてみると、身体障害者では「1人で外出する」が65.5%、知的障害者では「介助者と外出する」が53.5%と最も多くなっています。



問8で 「1人で外出する」、「介助者と外出する」を選んだ回答者

問8-1 外出する主な方法は何ですか。[単数回答]

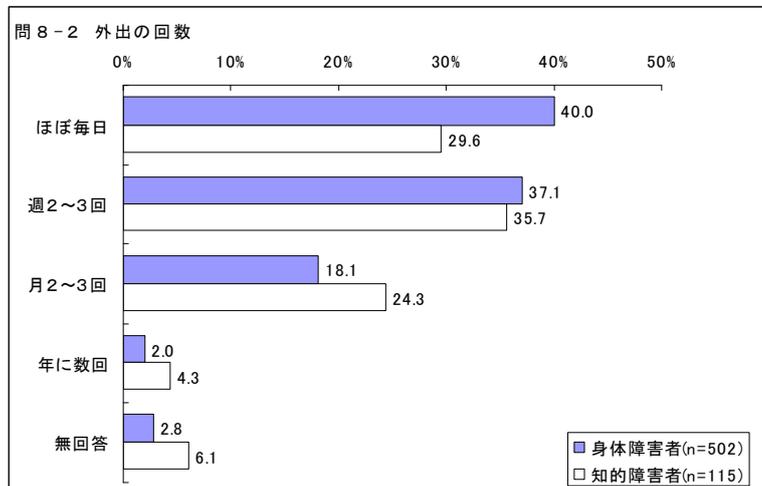
外出する主な方法についてみると、身体障害者では「徒歩」が34.9%と最も多く、次いで「自家用車」が32.9%となっています。また、知的障害者でも「徒歩」が30.4%と最も多く、次いで「自家用車」が24.3%となっています。



問8で 「1人で外出する」、「介助者と外出する」を選んだ回答者

問8-2 外出の回数ほどのくらいですか。[単数回答]

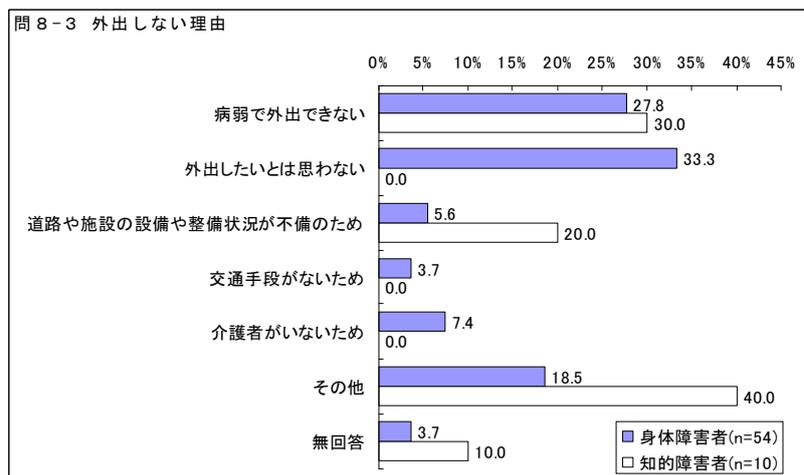
外出の回数についてみると、身体障害者では「ほぼ毎日」が40%、知的障害者では「週2～3回」が35.7%と最も多くなっています。



問8で「ほとんど外出しない」を選んだ回答者

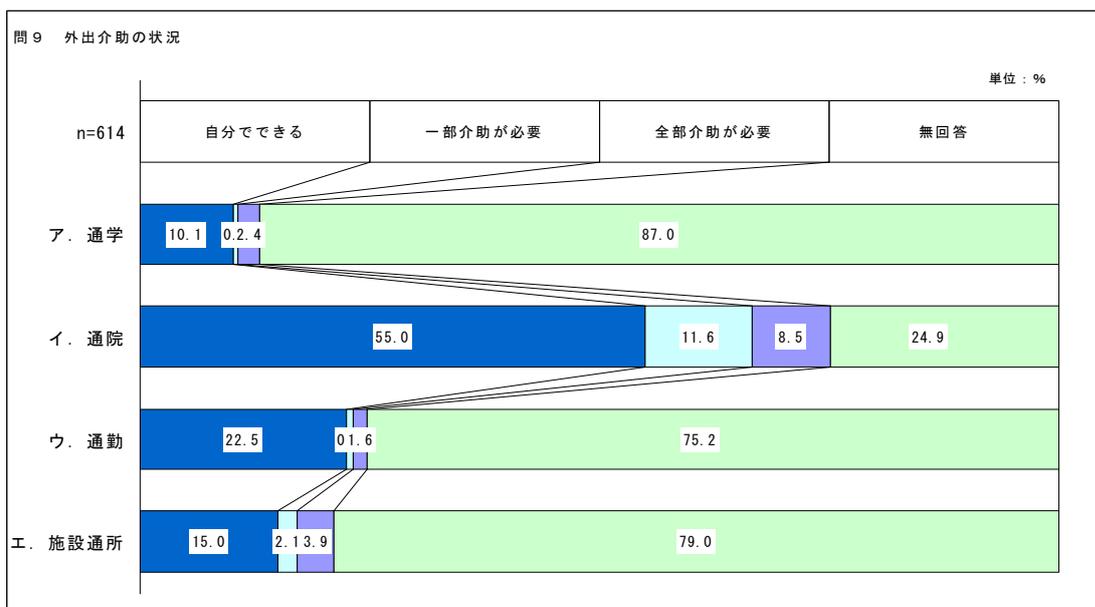
問8-3 外出しない理由は何ですか。[単数回答]

外出しない理由についてみると、身体障害者では「外出したいとは思わない」が33.3%と最も多く、次いで「病弱で外出できない」が27.8%、知的障害者では「その他」が40%と最も多く、次いで「病弱で外出できない」が30%となっています。



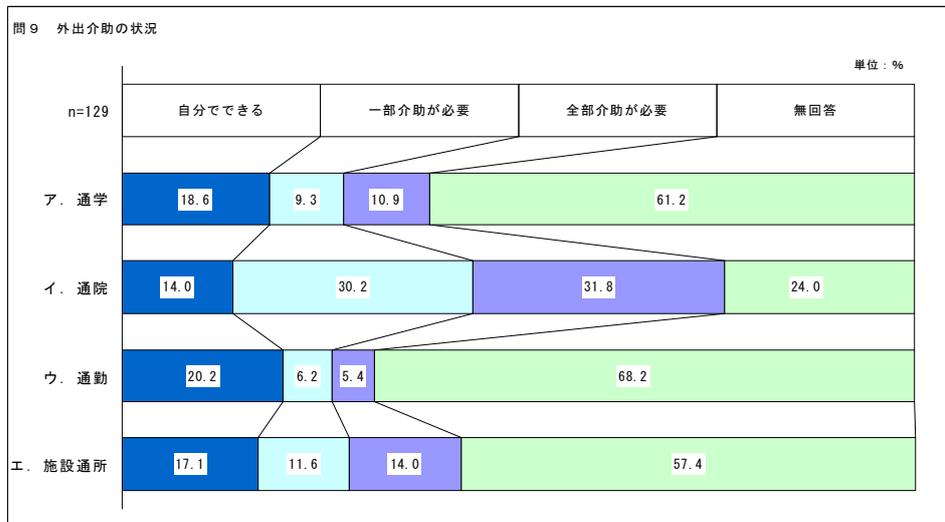
問9 次のア～エまでの外出は、介助が必要ですか。「自分でできる」か「一部介助が必要」を選んだ場合は、その主な交通手段と外出の回数もお答えください。
[単数回答]

(1) 外出の状況 <身体障害者>



外出時の介助の状況についてみると、身体障害者では『通院』で、「自分でできる」が5割台半ばとなっています。

(1) 外出の状況 <知的障害者>

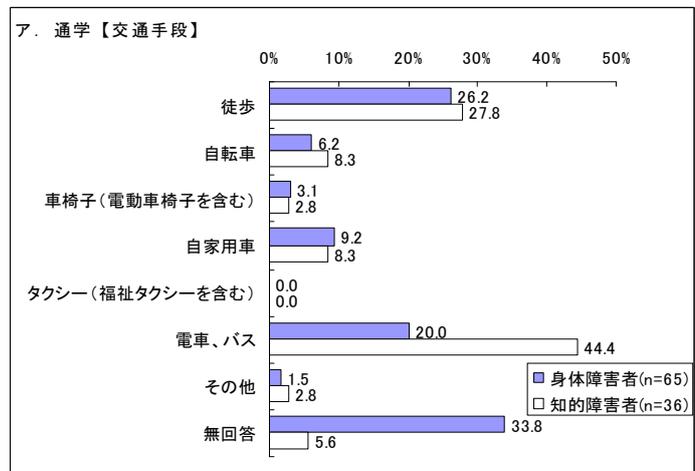


外出時の介助の状況についてみると、知的障害者では『通院』で、「一部介助が必要」、「全部介助が必要」が多くなっています。

ア：通学

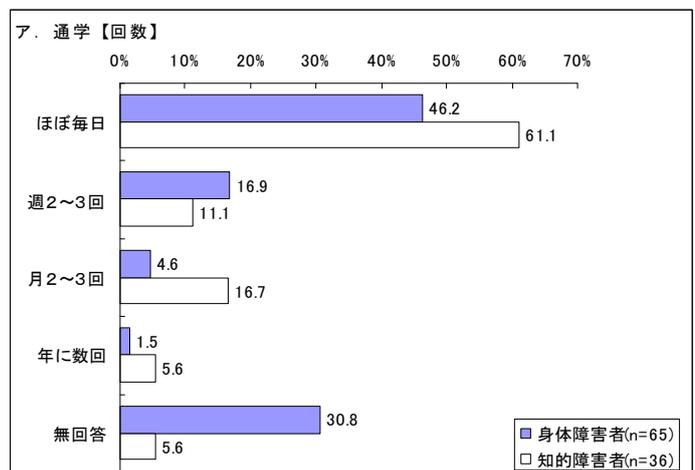
(2) 【交通手段】

通学の交通手段についてみると、身体障害者では「無回答」が33.8%と最も多く、次いで「徒歩」が26.2%となっています。知的障害者では、「電車、バス」が44.4%と最も多くなっています。



(3) 【回数】

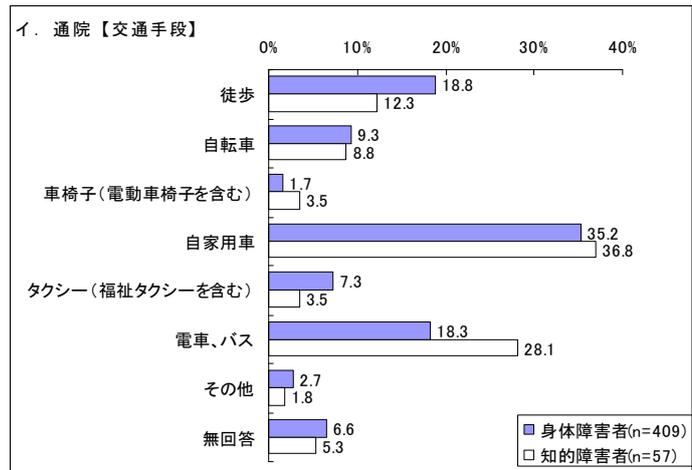
通学の回数についてみると、身体障害者では「ほぼ毎日」が46.2%と最も多くなっています。知的障害者も同様、「ほぼ毎日」が61.1%と最も多くなっています。



イ：通院

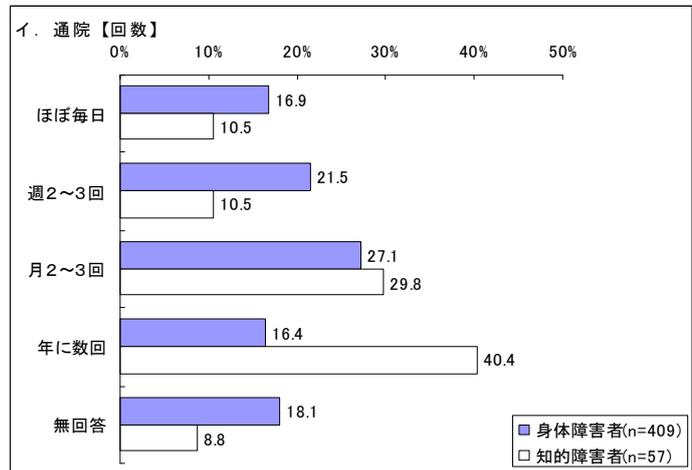
(2) 【交通手段】

通院の交通手段についてみると、身体障害者では「自家用車」が35.2%と最も多く、次いで「徒歩」が18.8%となっています。知的障害者も同様、「自家用車」が36.8%と最も多く、次いで「電車、バス」が28.1%となっています。



(3) 【回数】

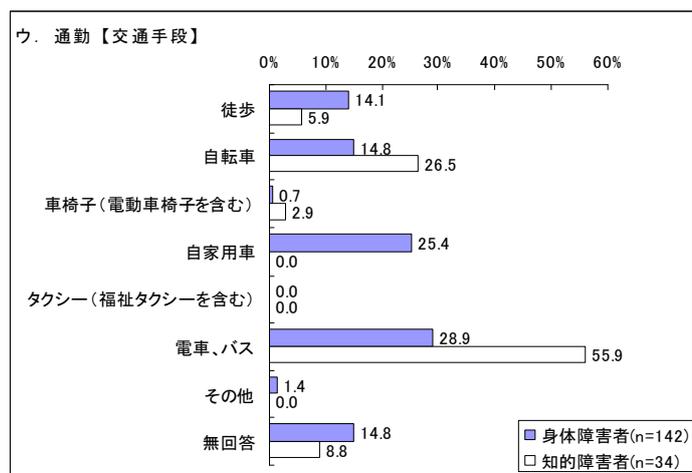
通院の回数についてみると、身体障害者では「月2～3回」が27.1%と最も多く、次いで「週2～3回」が21.5%となっています。知的障害者では、「年に数回」が40.4%と最も多く、次いで「月2～3回」が29.8%となっています。



ウ：通勤

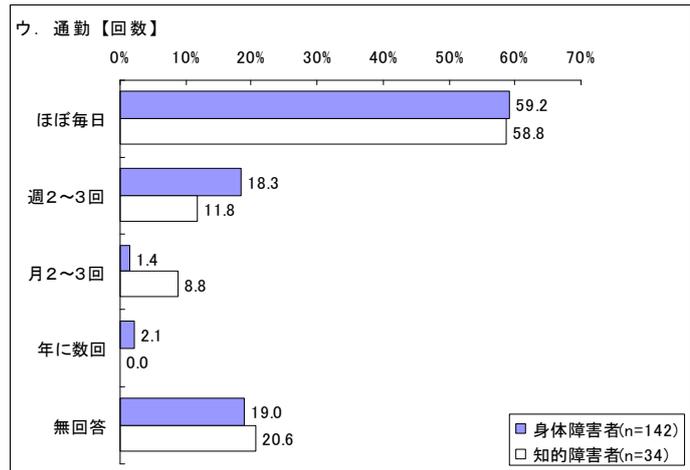
(2) 【交通手段】

通勤の交通手段についてみると、身体障害者では「電車、バス」が28.9%と最も多く、次いで「自家用車」が25.4%となっています。また、知的障害者では「電車、バス」が55.9%と最も多く、次いで「自転車」が26.5%となっています。



(3) 【回数】

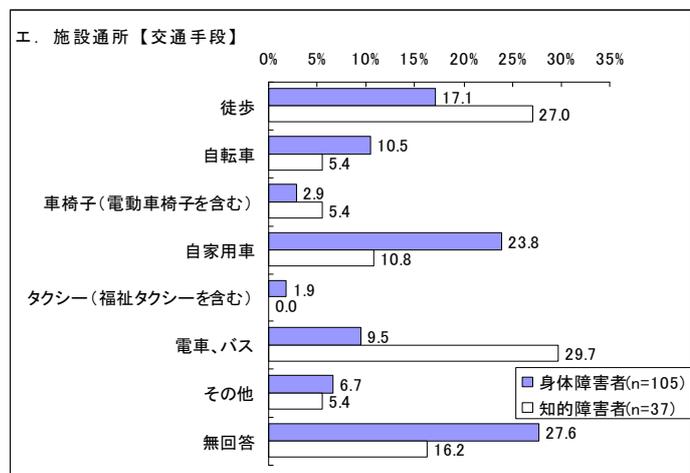
通勤の回数についてみると、身体障害者では「ほぼ毎日」が59.2%と最も多く、次いで「無回答」が19.0%となっています。知的障害者も同様、「ほぼ毎日」が58.8%と最も多く、次いで「無回答」が20.6%となっています。



工：施設通所

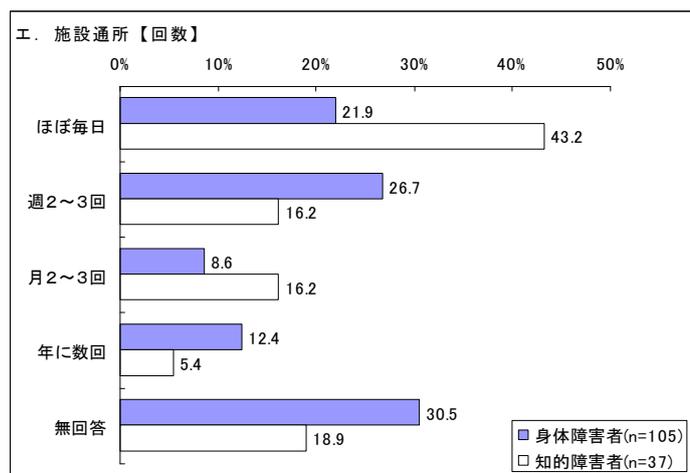
(2) 【交通手段】

施設通所の交通手段についてみると、身体障害者では「無回答」が27.6%と最も多く、次いで「自家用車」が23.8%となっています。また、知的障害者では「電車、バス」が29.7%と最も多く、次いで「徒歩」が27%となっています。



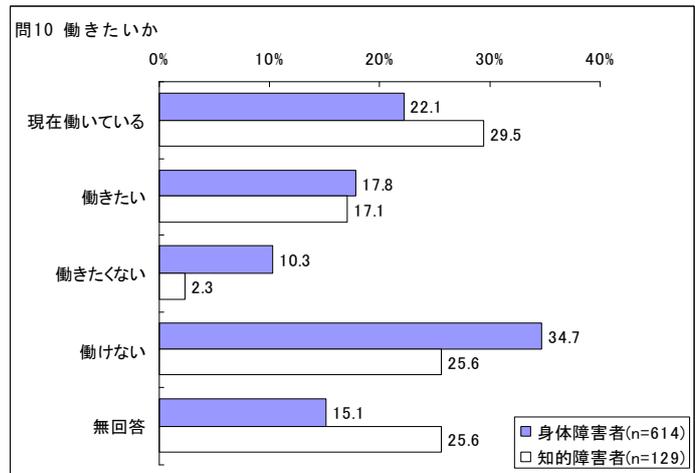
(3) 【回数】

施設通所の回数についてみると、身体障害者では「無回答」が30.5%と最も多く、次いで「週2~3回」が26.7%となっています。また、知的障害者では「ほぼ毎日」が43.2%と最も多く、次いで「無回答」が18.9%となっています。



問 10 あなたは、適当な仕事があれば働きたいと思いますか。[単数回答]

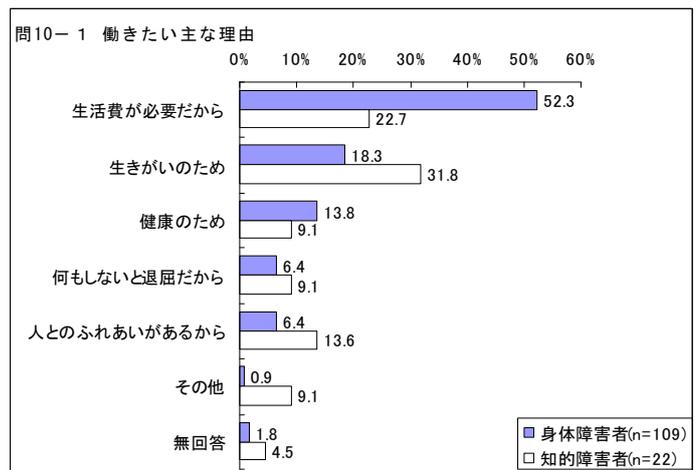
適当な仕事があれば働きたいと思うかについてみると、身体障害者では「働けない」が34.7%と最も多く、次いで「現在働いている」が22.1%となっています。また、知的障害者では「現在働いている」が29.5%と最も多く、次いで「働けない」が25.6%となっています。



問 10 で 「働きたい」を選んだ回答者

問 10-1 「働きたい」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

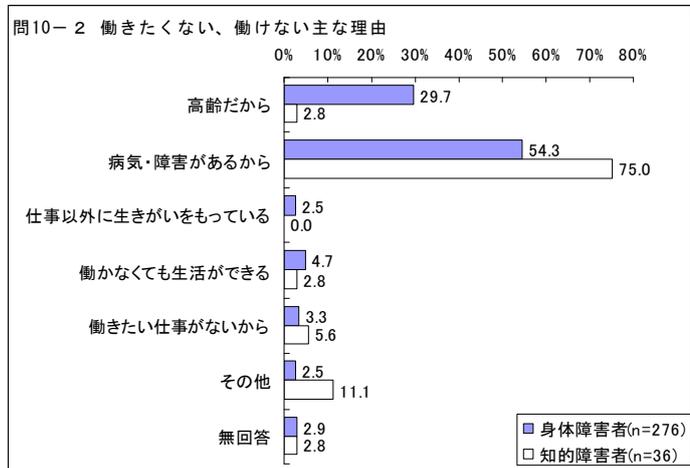
主な理由についてみると、身体障害者では「生活費が必要だから」が52.3%と最も多く、次いで「生きがいのため」が18.3%となっています。また、知的障害者では「生きがいのため」が31.8%と最も多く、次いで「生活費が必要だから」が22.7%となっています。



問 10 で 「働きたくない」、「働けない」を選んだ回答者

問 10-2 「働きたくない、働けない」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

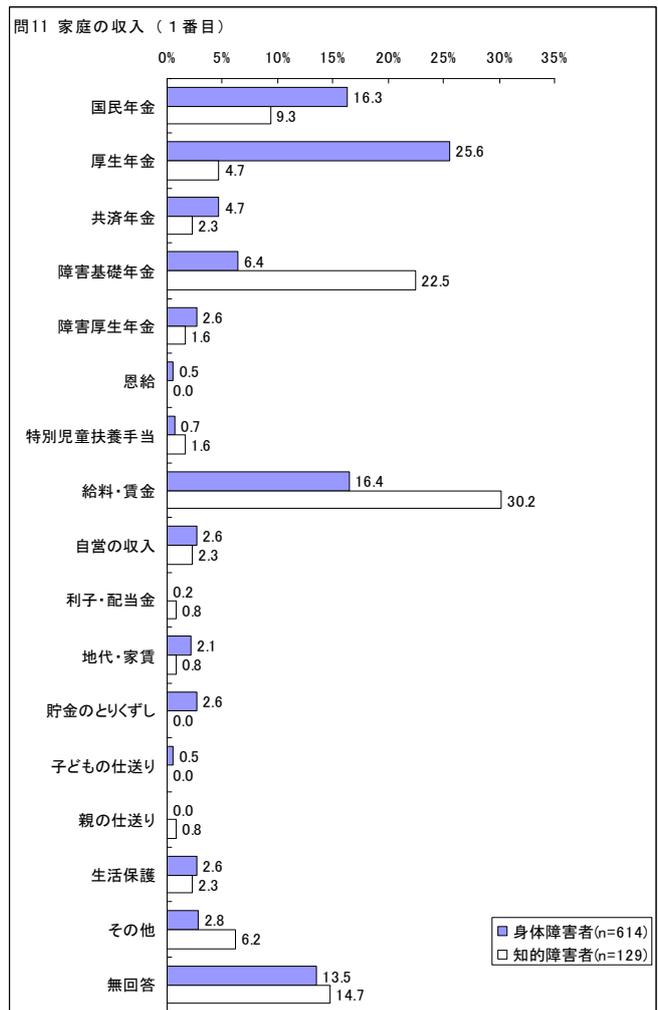
主な理由についてみると、身体障害者では「病気・障害があるから」が54.3%と最も多く、次いで「高齢だから」が29.7%となっています。また、知的障害者では「病気・障害があるから」が75%と最も多くなっています。



問 11 あなたの家庭の収入は次のうちどれですか。[金額の多い順に3つ以内]

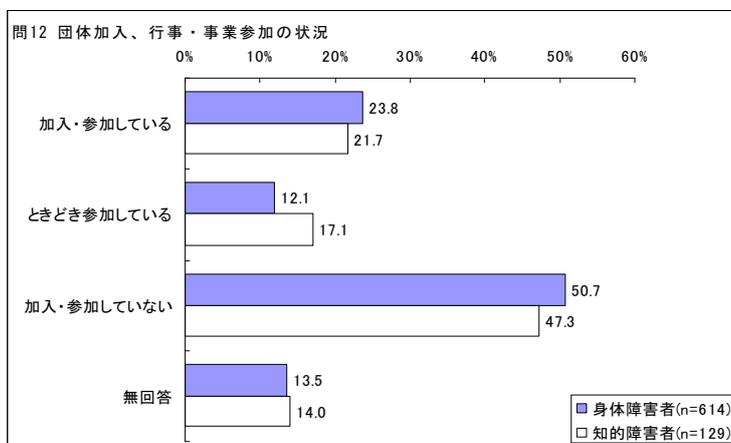
最も収入額の多いものでみると、身体障害者では「厚生年金」が25.6%で最も多く、次いで「給料・賃金」が16.4%となっています。

知的障害者では、「給料・賃金」が30.2%で最も多く、次いで「障害基礎年金」が22.5%となっています。



問 12 あなたは、地域や各種の団体に加入したり、団体が行う行事や事業に参加したりしていますか。[単数回答]

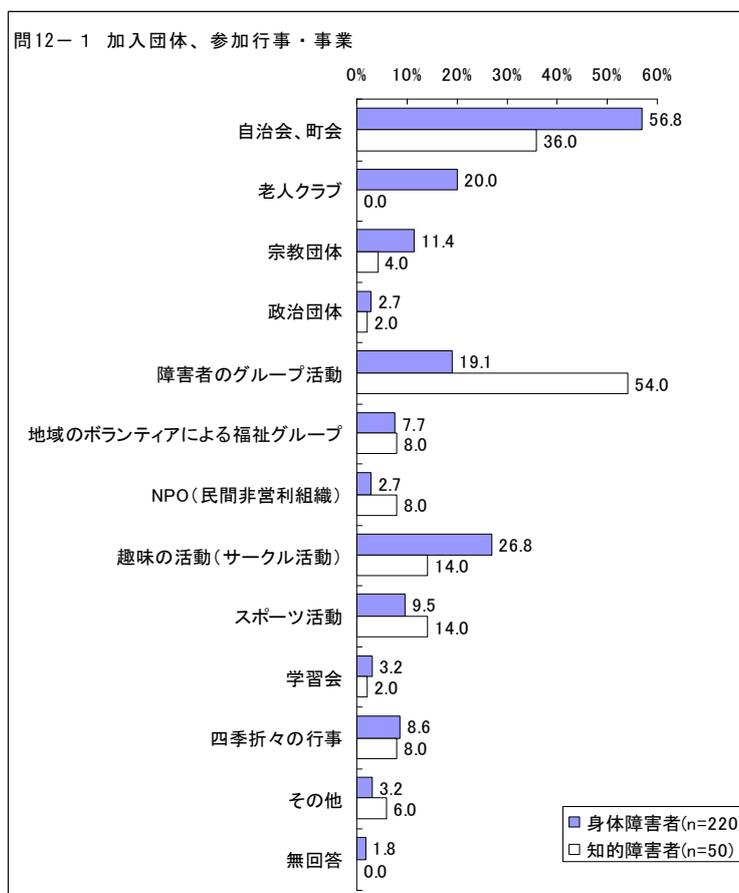
地域や各種の団体に加入したり、参加したりしているかについてみると、身体、知的障害者ともに「加入・参加していない」が最も多く、それぞれ 50.7% (身体)、47.3% (知的) となっています。



問 12で 「加入・参加している」、「ときどき参加している」を選んだ回答者

問 12-1 「加入・参加している、ときどき参加している」と答えた方にうかがいます。それは何ですか。[複数回答]

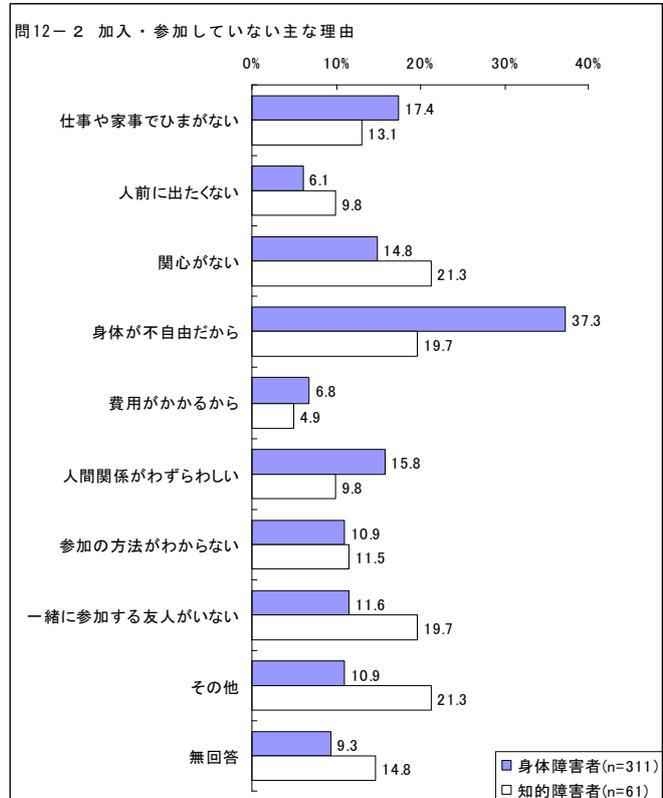
「加入・参加している、ときどき参加している」のは何かについてみると、身体障害者では「自治会、町会」が 56.8% と最も多く、次いで「趣味の活動（サークル活動）」が 26.8% となっています。また、知的障害者では「障害者のグループ活動」が 54% と最も多く、次いで「自治会、町会」が 36% となっています。



問 12で 「加入・参加していない」を選んだ回答者

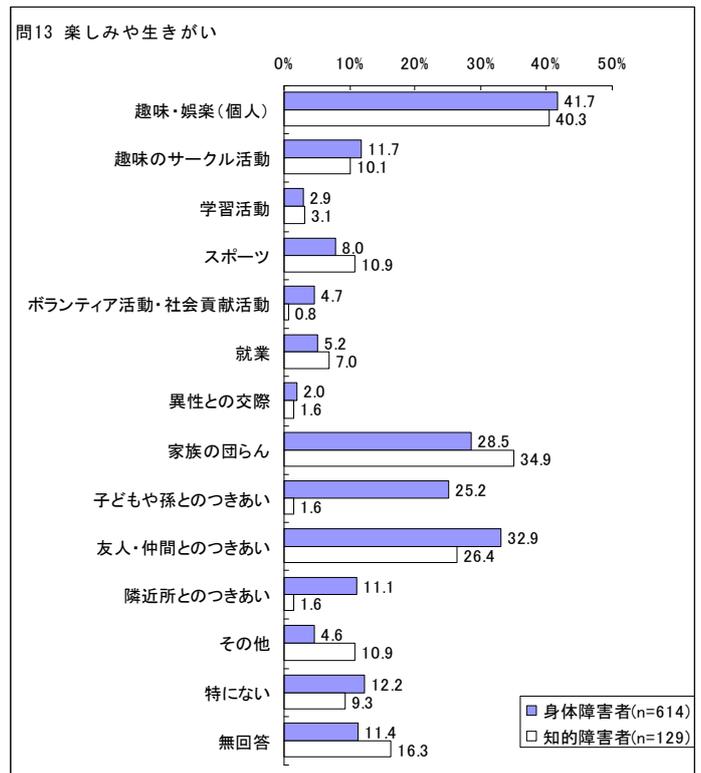
問 12-2 「加入・参加していない」主な理由は何ですか。[複数回答]

主な理由についてみると、身体障害者では「身体が不自由だから」が37.3%と最も多く、次いで「仕事や家事でひまがない」が17.4%となっています。また、知的障害者では「関心がない」と「その他」がともに21.3%と最も多くなっています。



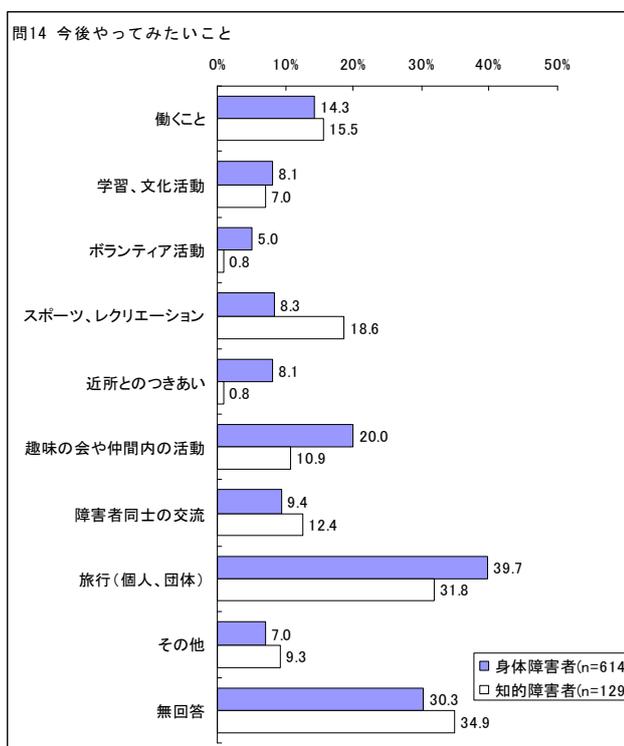
問 13 あなたの楽しみや生きがいは何ですか。[複数回答]

楽しみや生きがいについてみると、身体障害者では「趣味・娯楽（個人）」が41.7%と最も多く、次いで「友人・仲間とのつきあい」が32.9%となっています。また、知的障害者では「趣味・娯楽（個人）」が40.3%と最も多く、次いで「家族の団らん」が34.9%となっています。



問 14 あなたが今後やってみたいことはどんなことですか。[複数回答]

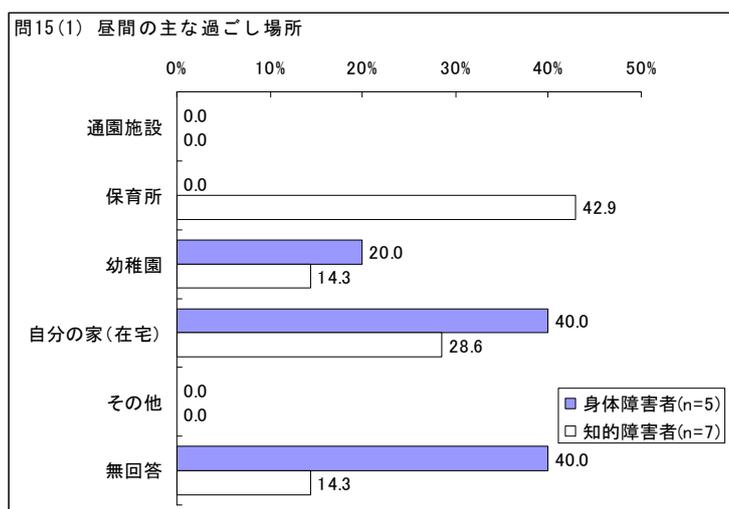
今後やってみたいことについてみると、身体障害者では「旅行（個人、団体）」が 39.7%と最も多く、次いで「趣味の会や仲間内の活動」が 20%となっています。また、知的障害者では「無回答」が 34.9%と最も多く、次いで「旅行（個人、団体）」が 31.8%となっています。



問 15 あなたは昼間、主にどこで過ごしていますか。[単数回答]

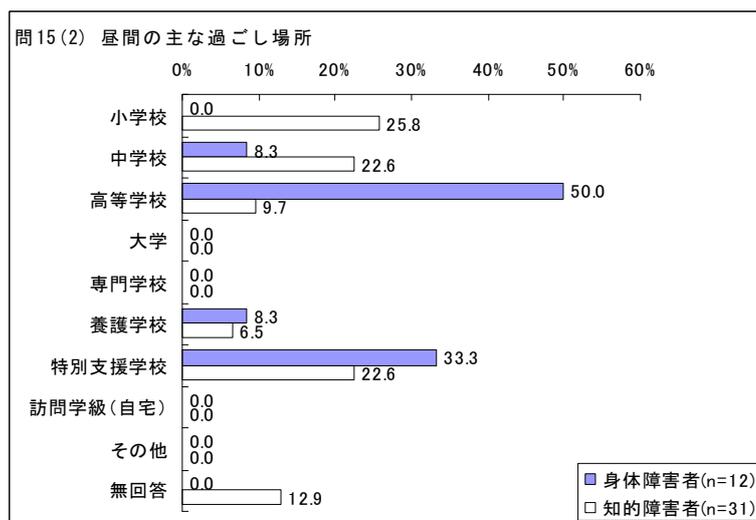
(1) 未就学の方（学校へ入学前の方）

未就学の方において、昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、身体障害者では「自分の家（在宅）」と「無回答」がともに 40%と最も多く、知的障害者では「保育所」が 42.9%と最も多くなっています。



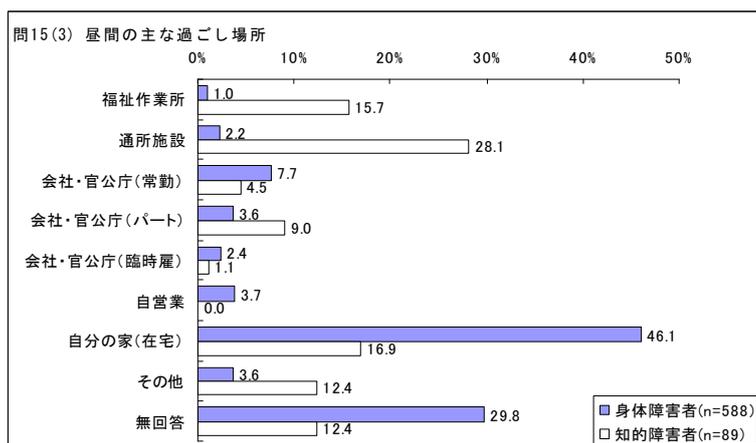
(2) 学校で学んでいる方

学校で学んでいる方において、昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、身体障害者では「高等学校」が50%、知的障害者では「小学校」が25.8%と、最も多くなっています。



(3) 成人の方

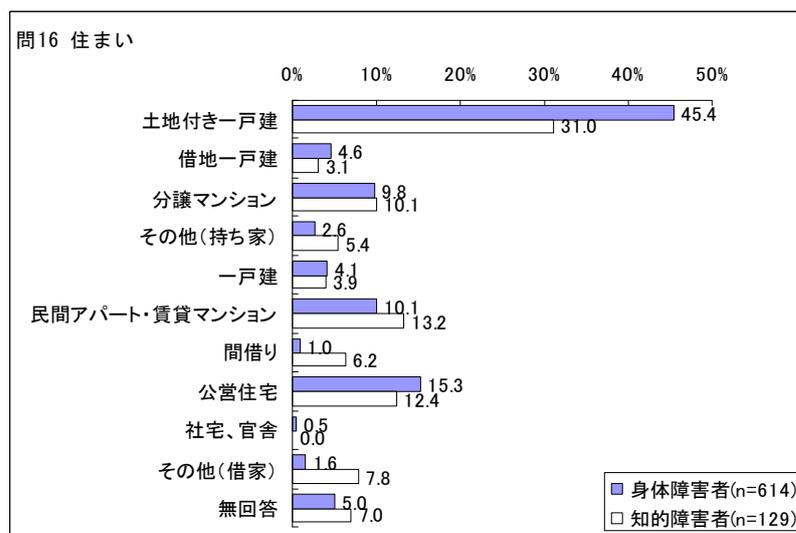
成人の方において、昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、身体障害者では「自分の家(在宅)」が46.1%と最も多く、次いで「無回答」が29.8%となっています。また、知的障害者では「通所施設」が28.1%と最も多く、次いで「自分の家(在宅)」が16.9%となっています。



3 現在のお住まいについて

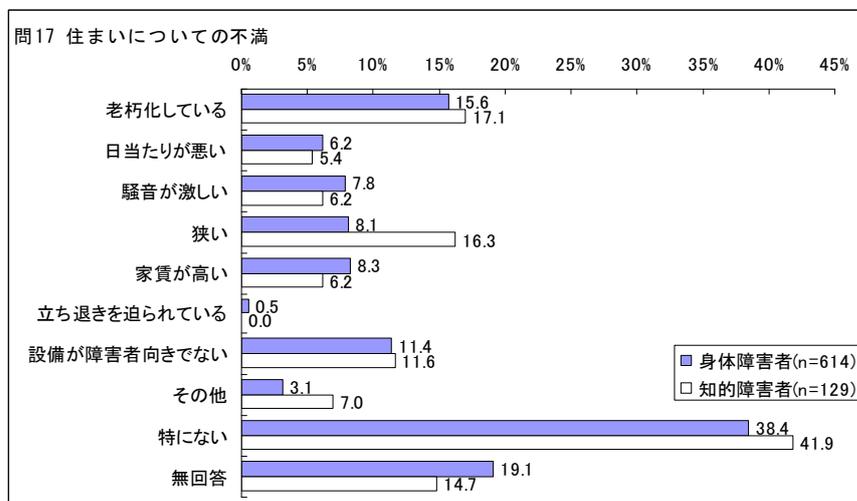
問16 お住まいは次のどれですか。[単数回答]

住まいについてみると、身体障害者では「土地付き一戸建」が45.4%と最も多く、次いで「公営住宅」が15.3%となっています。また、知的障害者では「土地付き一戸建」が31%と最も多く、次いで「民間アパート・賃貸マンション」が13.2%となっています。



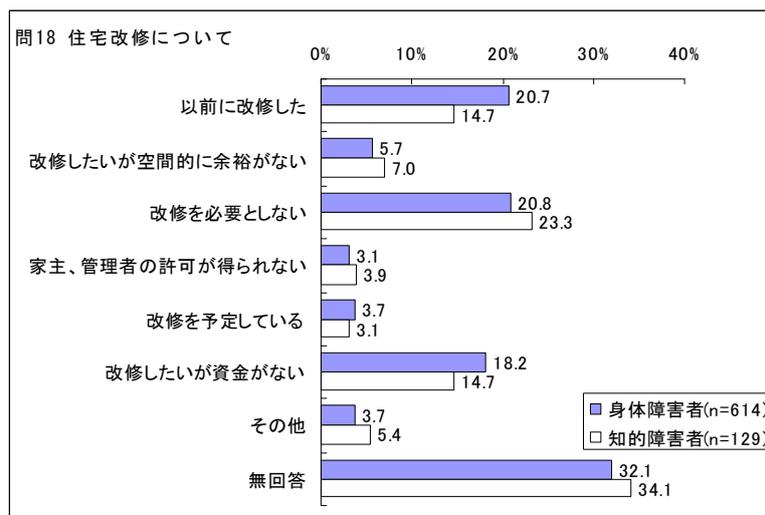
問17 現在、お住まいで困っていることは何ですか。[複数回答]

困っていることについてみると、身体障害者では「特にない」が38.4%と最も多く、次いで「無回答」が19.1%となっています。また、知的障害者では「特にない」が41.9%と最も多く、次いで「老朽化している」が17.1%となっています。



問 18 「玄関、居室、風呂場、トイレ、台所」などの住宅の改修についてうかがいます。[複数回答]

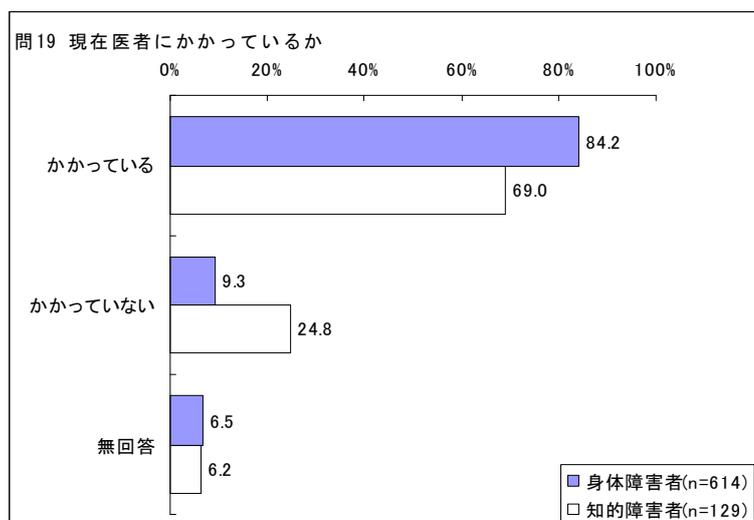
住宅の改修についてみると、身体障害者では「無回答」が32.1%と最も多く、次いで「改修を必要としない」が20.8%となっています。また、知的障害者では「無回答」が34.1%と最も多く、次いで「改修を必要としない」が23.3%となっています。



4 健康状態について

問 19 あなたは、現在お医者さんにかかっていますか。[単数回答]

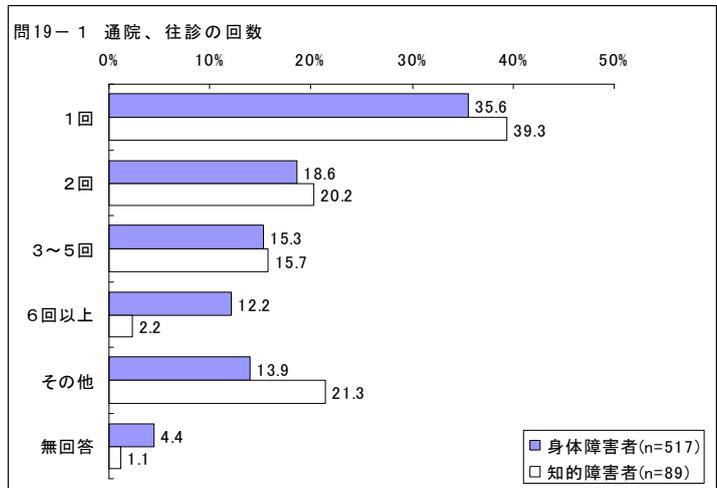
現在お医者さんにかかっているかについてみると、身体、知的障害者ともに「かかっている」が最も多く、それぞれ84.2%（身体）、69%（知的）となっています。



問 19で 「かかっている」を選んだ回答者

問 19-1 1か月の通院または往診の回数ほどのくらいですか。[単数回答]

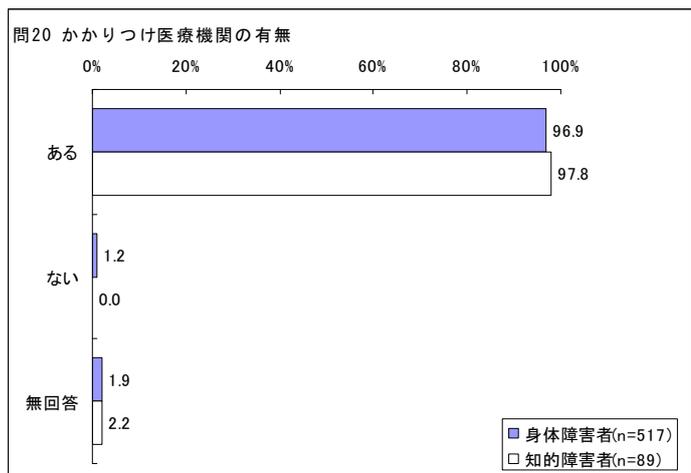
通院または往診の回数についてみると、身体障害者では「1回」が35.6%と最も多く、次いで「2回」が18.6%となっています。知的障害者も同様、「1回」が39.3%と最も多く、次いで「その他」が21.3%となっています。



問 19で 「かかっている」を選んだ回答者

問 20 あなたは、かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）がありますか。[単数回答]

かかりつけの医療機関があるかについてみると、身体、知的障害者ともに「ある」が最も多く、それぞれ96.9%（身体）、97.8%（知的）となっています。



問 21 医療について（歯科も含め）困ったことや要望がありましたらお聞かせください。（具体的に記入してください）[自由記入]

内容	身体障害	知的障害
「かかりつけ」の意味がよくわからない。ふだん「ひんぱん」に胃薬をもらっているクリニックはあります。	○	-
医療費が高くて少しのことではがまんしてしまう。安く、または無料になればと願っている。	-	○

往診可能な開業医が少ない。	○	-
近くに歯科医がない。	○	-
目の手術を受けましたが、だめで二度手術をされたが、6年たっても治らず、ドライアイになってほかの病院に行ってる。よい病院を紹介してほしい。	○	-
医療費が高い。	○	-
薬代が大きな負担になっている。	○	-
ピッタリ合った入れ歯が作れない。作った歯医者さんに言ったら難しいと言われました。歯医者さんもたくさんあって、どこが良いのかわからない。	○	-
かかりつけ病院が遠い（三鷹市）。	○	-
知的障害児（者）が病気になった場合、暴れたりするので受け入れ先がないのが困ります。	○	○
自閉症でも対応できる市内の歯科医等がどこにあるのか教えてほしい。自閉症（てんかん）で手帳を交付されてから、定期的に診察・検査・薬の投与もあります。その他の病気も気を付けていても、やはり意志の疎通がうまくいかず、病気にかかってしまい、自立支援法でこのてんかんの診察以外はすべて3割負担の医療費がかかっています。痛みを自分で表現できず、病気を発見するのが遅れてもいます。他の医療費も1割にしてほしい。	-	○
主治医が日の出町なので、リハビリは福生市で受けられずで、リハビリを日の出町まで通っている。	○	-
市内に高度医療施設が欲しい。	○	-
愛の手帳3度ですが、医療費が高いので心配です。2度は安いのでしょうか。	○	○
病院の診療費や薬代が高すぎて困る（気軽に病院へかかれたい）。	○	-
病院へかかりたいが、行く時間がとれない（日中、一緒に行ける人がいない）。	-	○
歯科等は近所にある歯科へ行けない。治療に時間がかかりすぎる。予約が1～2か月に1回の割合になる。	-	○
今はひとりで都内の病院に行くことができるが、今後ひとりで行けなくなった時、近くの病院にしなくてはならなくなったならどこに決める？病院がない。	○	-
歯科の治療をしたいのですが、歩行困難のために交通費がかかるので困っています。	○	-
障害者に少し理解が足りない。嫌がる医者もいる。	-	○
「障」所得制限を解除してもらいたい。	○	-

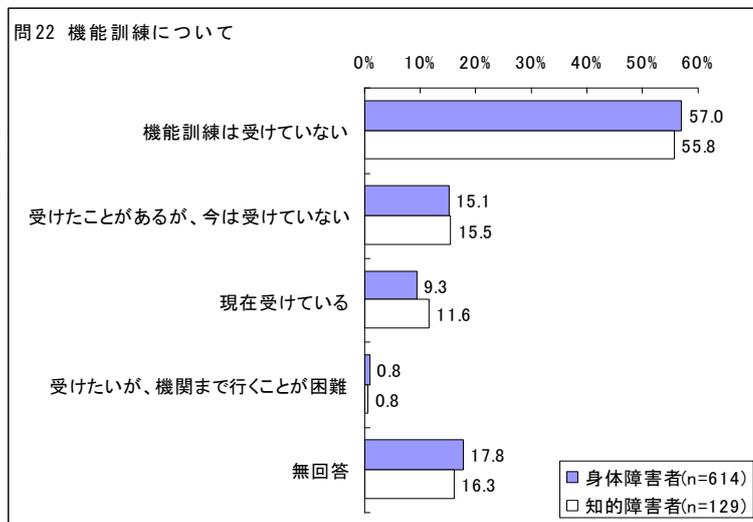
近所の病院にかかりたくても断られることもある。理由は障害や持病もあるが、自閉傾向も強く、大声をあげることも原因のようです。病気も特性も理解してくれる地域のかかりつけ医を見つけるまでは大変でした。	○	○
高齢のため、先生は親身に応じてくれない。もう高齢だから「仕方ない」ということがあるようにも見える。「これはダメ、こうしたらどうか」など、具体的に助言してほしい。	○	-
かかりつけの医療機関が遠い。複数の科にかかっているのに、1つの病院が良いが、通うのが大変。近隣の病院（福生病院）に事情は話してあるが、病気が特殊なため、なかなか対応（専門の先生がいなかったり）が難しいと言われた。近くにもいけば緊急時本当に助かる。	○	-
専門の医療機関（大学病院）に通院しているので、電車での通院が大変。	○	○
緊急時、対応をスムーズにしてほしい。	-	○
交通手段。電動車いす→電車→タクシーなので。	○	-
現在、東京小児療育病院で月に1回程度のリハビリを行っているが、高校生になったため、月～金しかリハビリができないため、通院は長い休み（夏・冬・春）でないと難しい。近所の病院でも同様のリハビリが午後7時くらいから土日に行えると、機能不全に役立つと考えている。	○	-
最近医療が必要となった場合、紹介状がないと受診できない。紹介状があっても、内容により受診が無理な場合があるとか。私の母は、デイサービス等受けられないため、介護度1のままで入院し、病院にて3か月にもなりますが、無理に役所で見通しの日を得ていただくことになりましたが、新しい介護度が出るまで、約1か月、どうしてよいのかひとり頭を痛めています。	○	-
信用のできる医者がない。	○	-
医療費が高い。	○	-
車いすのまま治療してもらえる歯科があるといいです。	○	-
仕事が見つからず、体調悪くても歯医者や病院に行けません。死ぬことも考えました。	○	-
無職で診療費がかさむ。	○	-
市内の歯科にかかっているが、バリアフリーではないので困る。	○	-
障害に関する精神的な相談をしてくれる医療機関が知りたい（介護者のケアを含め）。	-	○
ドアの開閉を軽く、開閉ができやすいようなものにしてほしい。	○	-
待ち時間が長い（病院での）。薬の代金が高い。	○	-

医療費が高い(13,000円/月以上)。	○	-
病院に自家発電がないので、停電になると透析にもものすごく影響が出て、大変困ります。医療機関は基本、(計画)停電から除外すべきだと思いますがいかがでしょうか。	○	-
難病が2つ(合併症)になり、大腿骨頭壊死については「人工関節置換術」をしたために医療券が取り消された。いずれ「交換」するので医療費が必要です。	○	-
知的障害者でも気兼ねなく通院できるところがない。	-	○
本人を連れていかないと薬をくれないこと!連れていっても見もしないくせに。	○	-
(障害の特性上)呼ばれても聞こえない。初めて行く医療機関は付き添いが必要。	○	-
歯科の診察台への乗り移りが大変。	○	-
歯科は長くかかりすぎ、お金が高すぎる。	○	-
ペースメーカーが体内に入っておりますので、医療機関で使用する器具が障害をおこさないかと心配なときが多くあります。	○	-
病院で長時間待つのが困難である。	○	-
夜間透析をやっている病院を増やしてほしい。	○	-
靴からスリッパに履き替えるのが困る。	○	-
病院によっては親切なところもありますが、私は難聴のため、アナウンスなどで名前を呼ばれることだけは不便に感じる人が多いです(呼ぶ時は直接来て下さいとお願いしても、忘れられることがあるので困る)。目で見てわかるようにしてほしい。	○	-
障害年金受給のための、都から要求される障害の診断書発行の手数料が高額で困っている。	○	-
福生市には緊急手術(例えば心筋梗塞など)ができるような大病院がない。	○	-
眼科、耳鼻科、家庭医が少ないような気がします。	○	-
福生で主治医をもちたいのですが、特殊な病気のため、医師が見つからない。詳しい診療の病院が探せる資料等がほしい。	○	-
何か所かの病院にかかっていますが、今のところ、困ったことも要望もありません。よくしてもらっています。	○	-
車いす利用(ひとりで)でもかかれる病院がない。福生市は歯医者はやダメです(バリアフリーになっていない)。	○	-
予約して行くが、その時間になっても待たされる(毎回)。	○	-
高齢化したときの在宅医療の充実。	○	-

問 22 あなたは、身体機能低下の防止や維持向上のため機能訓練を受けていますか。

[単数回答]

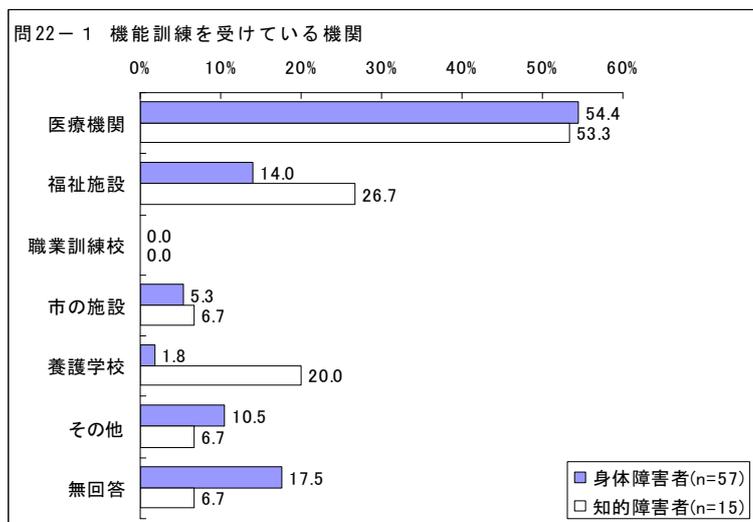
機能訓練を受けているかについてみると、身体、知的障害者ともに「機能訓練は受けていない」が最も多く、それぞれ57%（身体）、55.8%（知的）となっています。



問 22 で 「現在受けている」を選んだ回答者

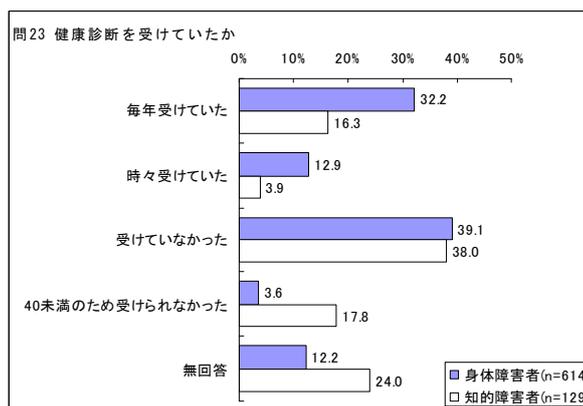
問 22-1 受けている機関はどこですか。[複数回答]

機能訓練を受けている機関についてみると、身体、知的障害者ともに「医療機関」が最も多く、それぞれ54.4%（身体）、53.3%（知的）となっています。



問 23 市で実施している健康診断を受けていましたか。[単数回答]

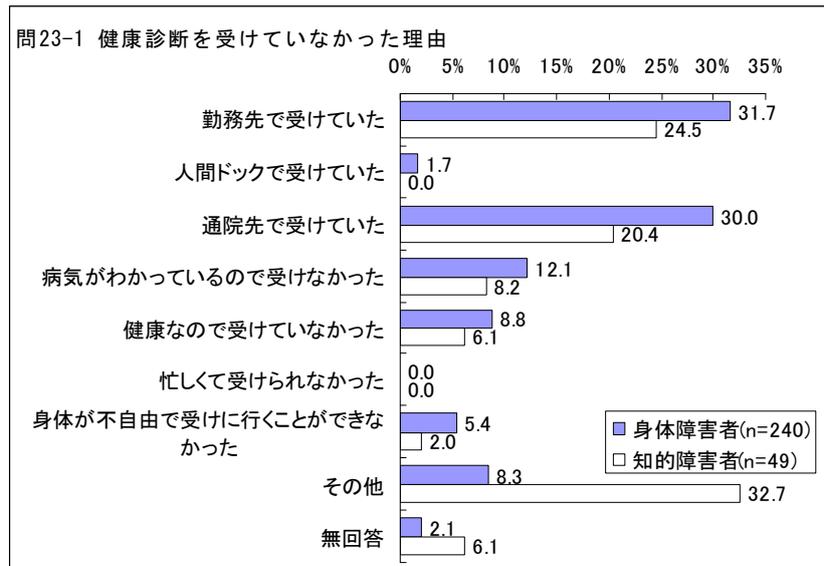
市で実施している健康診断を受けていたかについてみると、身体、知的障害者ともに「受けていなかった」が最も多く、それぞれ39.1%（身体）、38%（知的）となっています。



問 23 で 「受けていなかった」を選んだ回答者

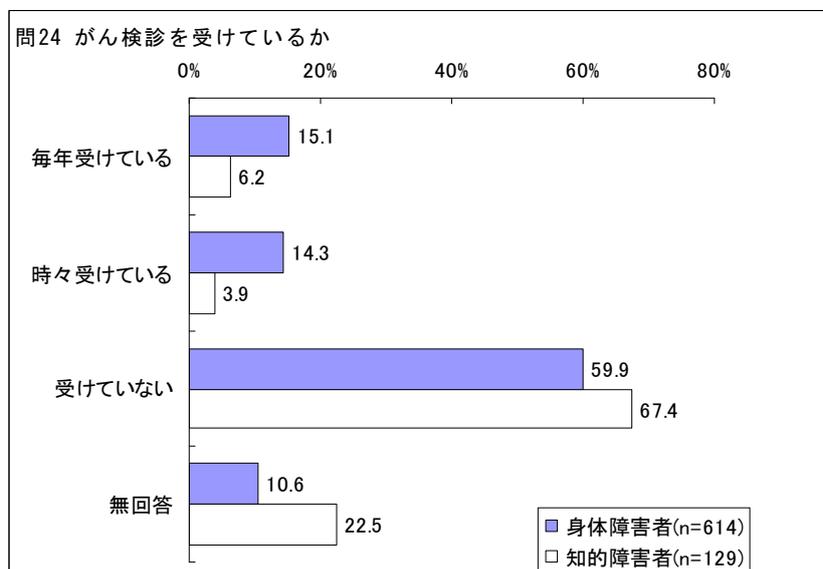
問 23-1 「受けていなかった」主な理由は何ですか。[単数回答]

「受けていなかった」主な理由についてみると、身体障害者では「勤務先で受けていた」が 31.7%と最も多く、次いで「通院先で受けていた」が 30%となっています。また、知的障害者では「その他」が 32.7%と最も多く、次いで「勤務先で受けていた」が 24.5%となっています。「その他」では、「施設入所のため」、「子どもの時から障害なので何となく」などが挙げられています。



問 24 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[単数回答]

がん検診を受けているかについてみると、身体、知的障害者ともに「受けていない」が最も多く、それぞれ 59.9%（身体）、67.4%（知的）となっています。

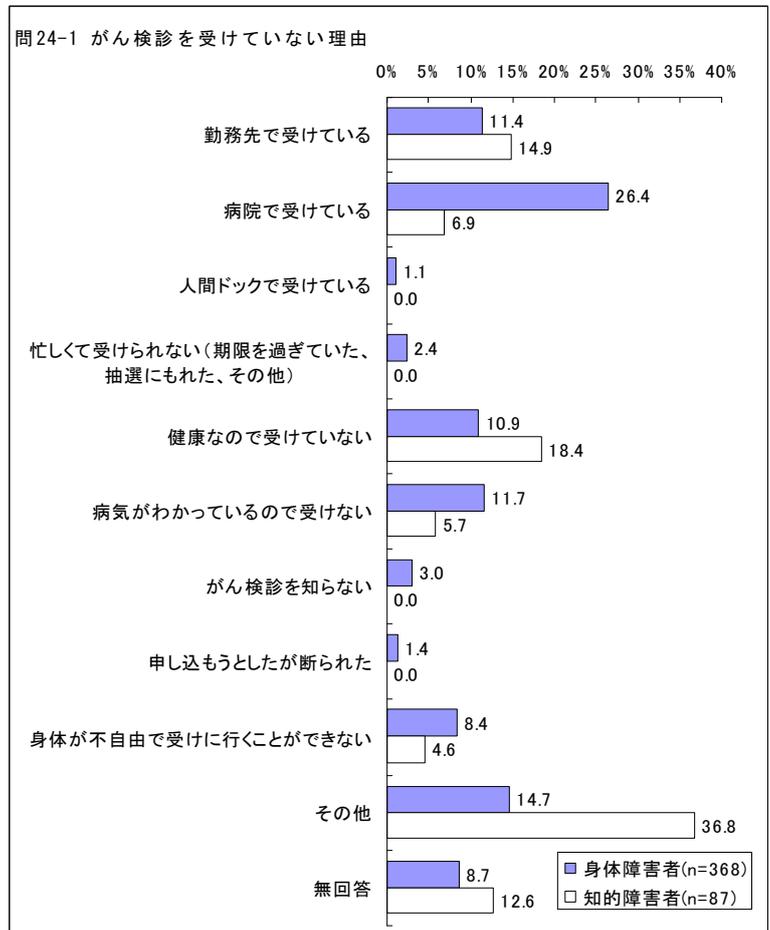


問 24 で 「受けていない」 を選んだ回答者

問 24-1 「受けていない」 主な理由は何ですか。 [単数回答]

「受けていない」 主な理由についてみると、身体障害者では「病院で受けている」が 26.4%と最も多く、次いで「その他」が 14.7%となっています。また、知的障害者では「その他」が 36.8%と最も多く、次いで「健康なので受けていない」が 18.4%となっています。

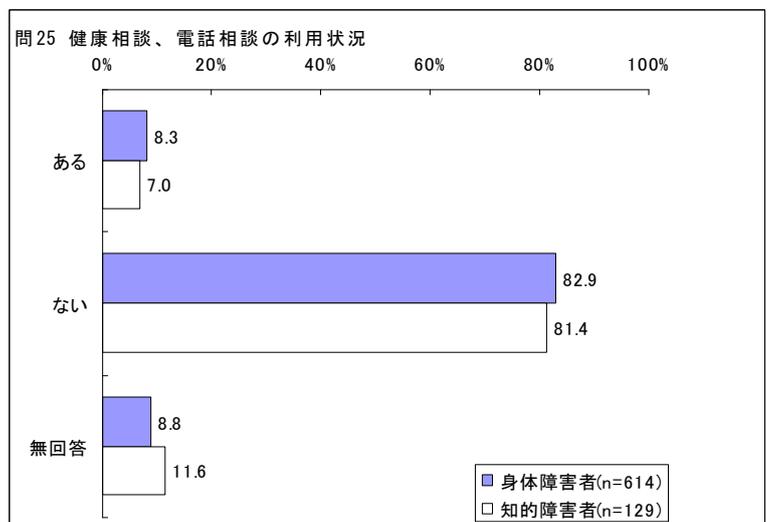
「その他」では、「施設入所のため」、「年齢が達していないから」などが挙げられています。



問 25 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがありますか。

[単数回答]

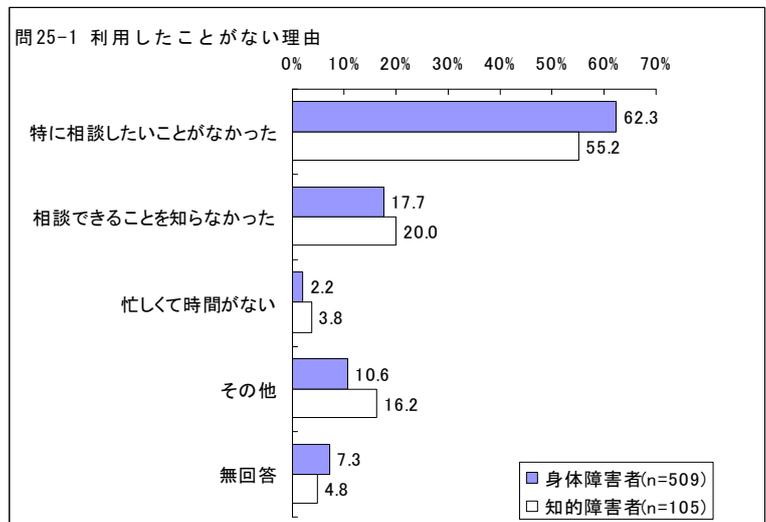
健康相談、電話相談を利用したことがあるかについてみると、身体、知的障害者ともに「ない」が最も多く、それぞれ 82.9% (身体)、81.4% (知的) となっています。



問 25 で 「ない」 を選んだ回答者

問 25-1 健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜですか。[単数回答]

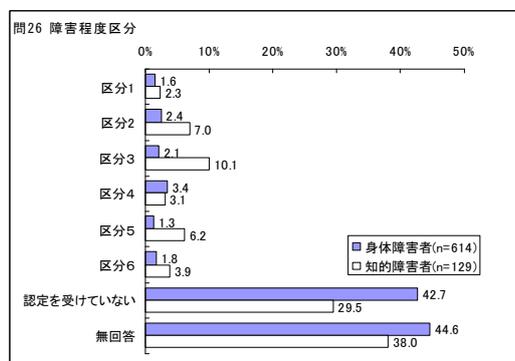
健康相談や電話相談を利用したことがない理由についてみると、身体、知的障害者ともに「特に相談したいことがなかった」が最も多く、それぞれ 62.3%（身体）、55.2%（知的）となっています。



5 障害者福祉サービスについて

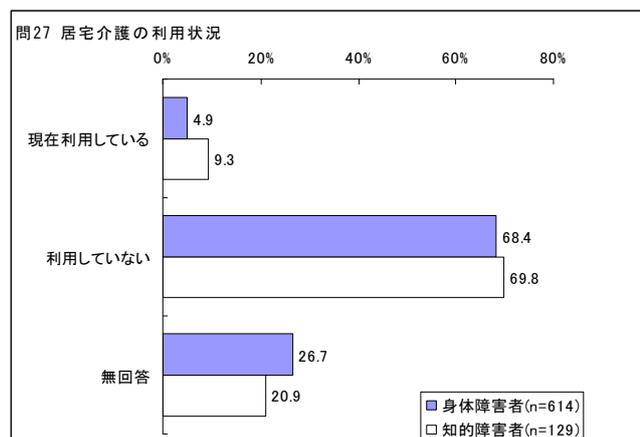
問 26 障害福祉サービスの必要量を定める障害程度区分は次のうちどれですか。[単数回答]

障害程度区分についてみると、身体、知的障害者ともに「無回答」が最も多く、それぞれ 44.6%（身体）、38%（知的）となっています。ともに次いで「認定を受けていない」が多くなっています。



問 27 自宅で、食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況についてうかがいます。[単数回答]

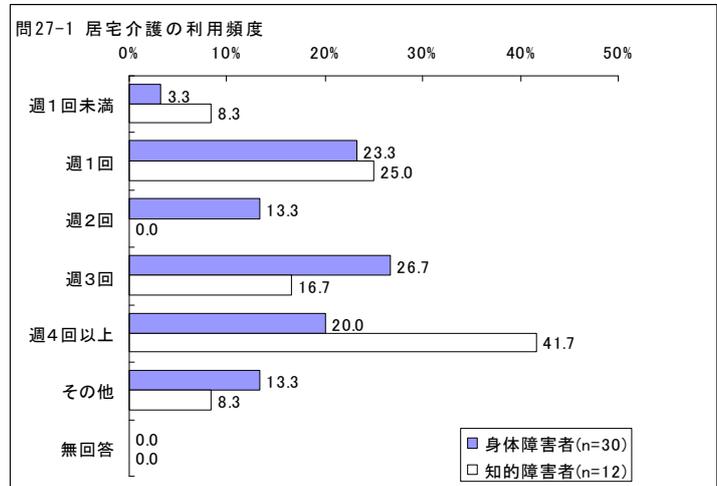
居宅介護（ホームヘルプ）の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「利用していない」が最も多く、それぞれ 68.4%（身体）、69.8%（知的）となっています。



問 27 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 27-1 どの程度利用していますか。[単数回答]

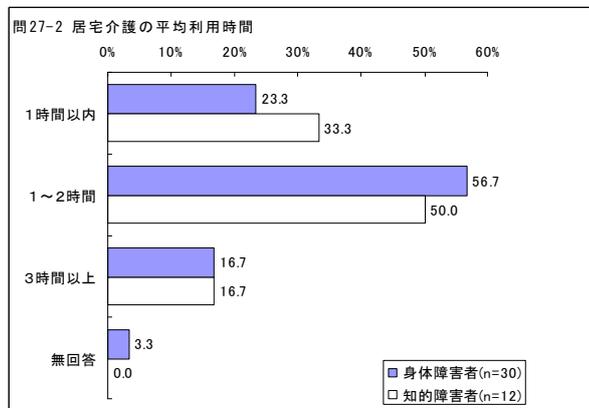
利用頻度についてみると、身体障害者では「週3回」が26.7%と最も多く、知的障害者では「週4回以上」が41.7%と最も多くなっています。



問 27 で 「現在利用している」を選んだ回答者

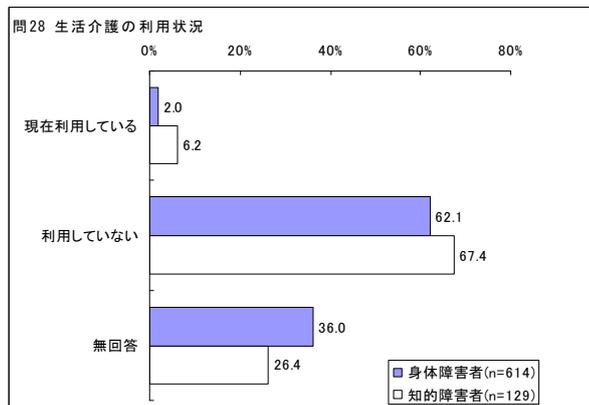
問 27-2 1回あたり平均して何時間程度利用していますか。[単数回答]

1回あたりの利用時間についてみると、身体、知的障害者ともに「1～2時間」が最も多く、それぞれ56.7%（身体）、50%（知的）となっています。



問 28 昼間、入浴、排せつ、食事の世話などのお手伝いをする、生活介護（デイサービス）の利用状況についてうかがいます。[単数回答]

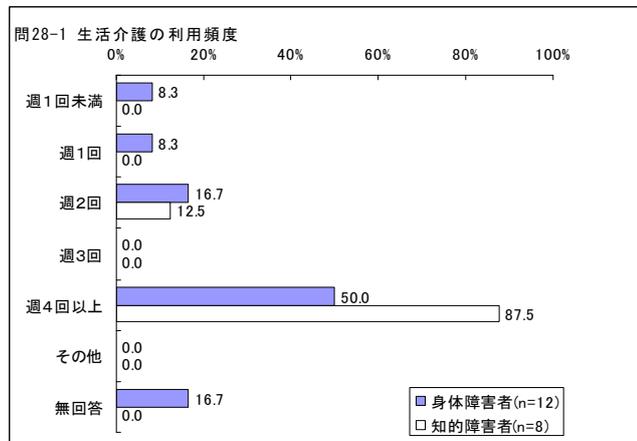
生活介護（デイサービス）の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「利用していない」が最も多く、それぞれ62.1%（身体）、67.4%（知的）となっています。



問 28 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 28-1 どの程度利用していますか。[単数回答]

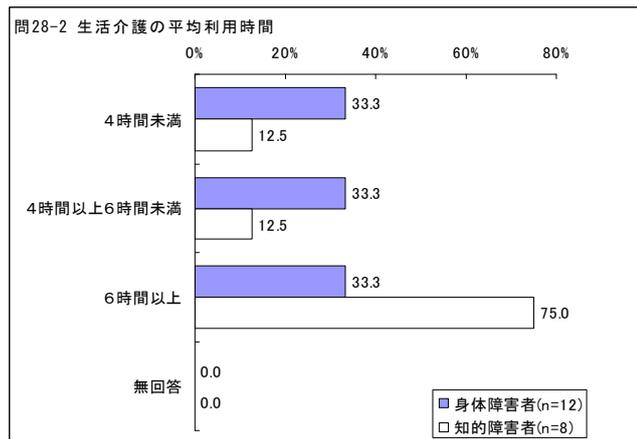
利用頻度についてみると、身体、知的障害者ともに「週4回以上」が最も多く、それぞれ 50%（身体）、87.5%（知的）となっています。



問 28 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 28-2 1回あたり平均して何時間程度利用していますか。[単数回答]

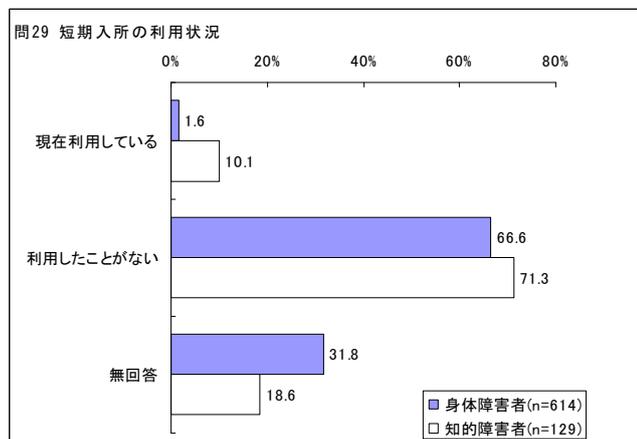
1回あたりの利用時間についてみると、身体障害者では「4時間未満」と「4時間以上6時間未満」と「6時間以上」（すべて 33.3%）に回答が分散しており、知的障害者では「6時間以上」が 75%と最も多くなっています。



問 29 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際のサービスである短期入所（ショートステイ）の利用状況についてうかがいます。

[単数回答]

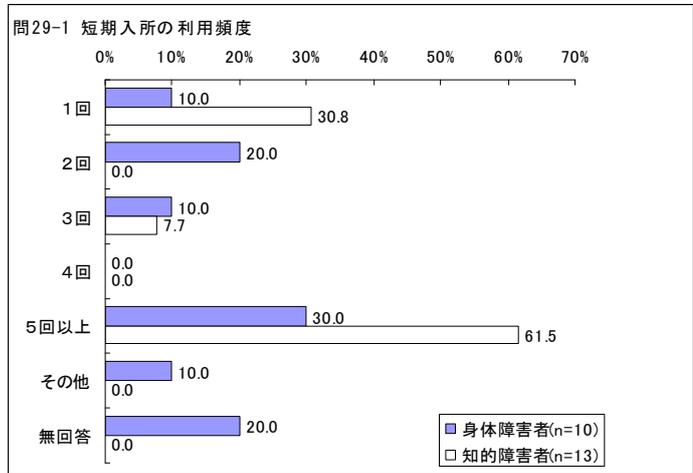
短期入所（ショートステイ）の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「利用したことがない」が最も多く、それぞれ 66.6%（身体）、71.3%（知的）となっています。



問 29 で 「現在利用している」を選んだ回答者

問 29-1 1年間に何回利用したことがありますか。[単数回答]

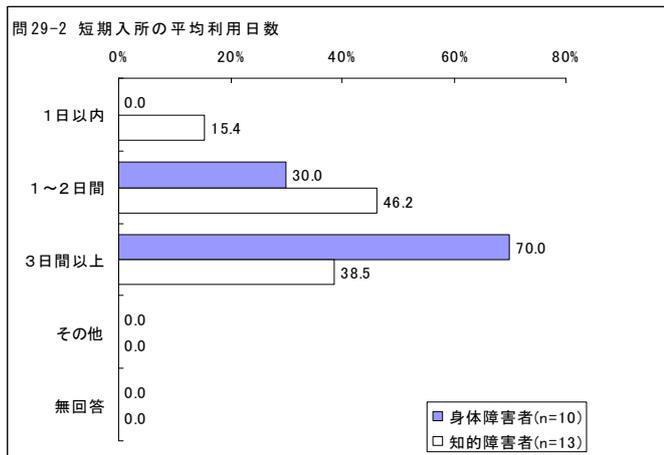
利用頻度についてみると、身体、知的障害者ともに「5回以上」が最も多く、それぞれ 30%（身体）、61.5%（知的）となっています。



問 29 で 「現在利用している」を選んだ回答者

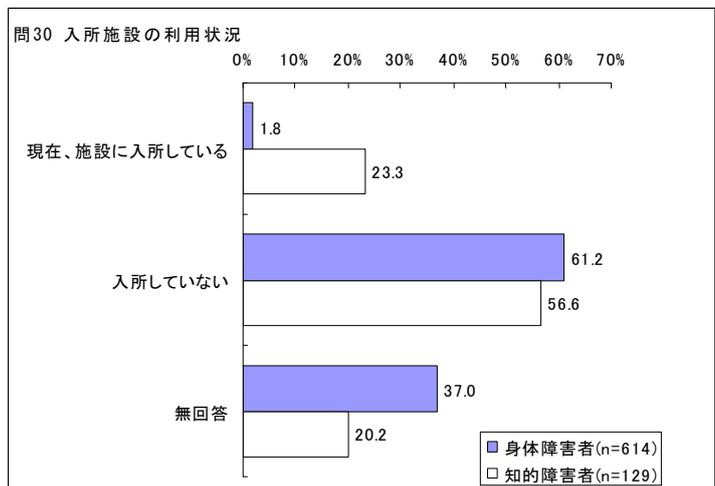
問 29-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。[単数回答]

1回あたりの利用日数についてみると、身体障害者では「3日間以上」が70%と最も多く、知的障害者では「1～2日間」が46.2%と最も多くなっています。



問 30 施設の利用状況についてうかがいます。[単数回答]

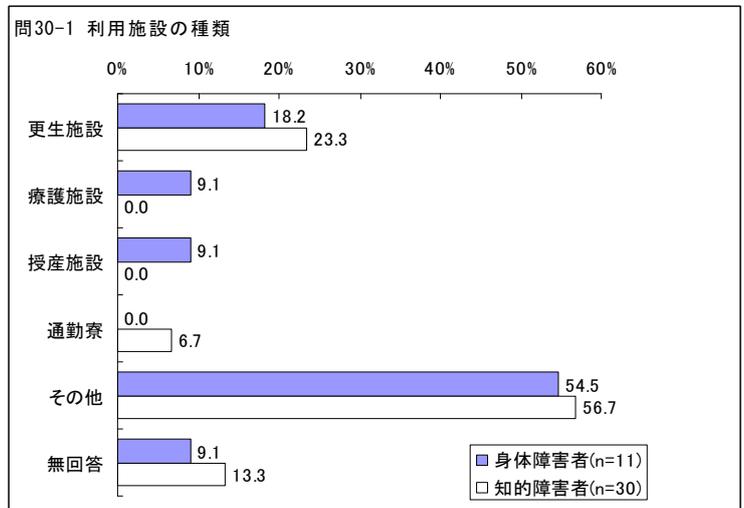
入所施設の利用状況についてみると、身体、知的障害者ともに「入所していない」が最も多く、それぞれ 61.2%（身体）、56.6%（知的）となっています。



問 30 で 「現在、施設に入所している」を選んだ回答者

問 30-1 利用している施設の種類は何ですか。[単数回答]

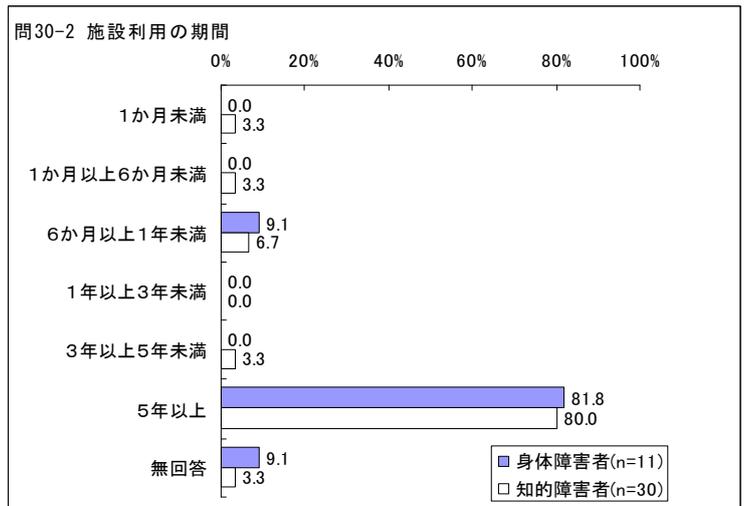
利用している施設の種類についてみると、身体、知的障害者とも「その他」が最も多く、それぞれ 54.5%（身体）、56.7%（知的）となっています。「その他」では「グループホーム」や「障害者支援施設」が挙げられています。



問 30 で 「現在、施設に入所している」を選んだ回答者

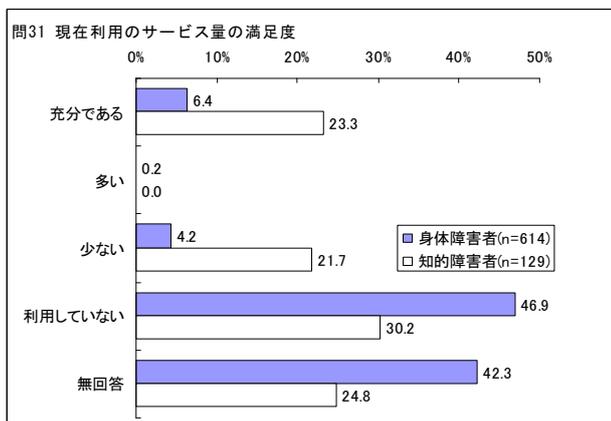
問 30-2 利用を始めてからどの程度の期間利用していますか。[単数回答]

施設の利用期間についてみると、身体、知的障害者ともに「5年以上」が最も多く、それぞれ 81.8%（身体）、80%（知的）となっています。



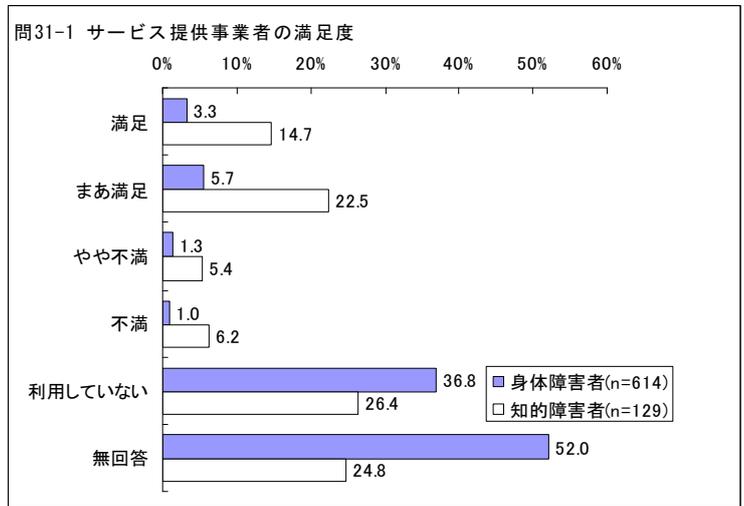
問 31 自立支援制度全般について、現在、利用しているサービス量は充分だと思いますか。[単数回答]

現在利用しているサービス量についてみると、身体、知的障害者とも「利用していない」が最も多く、それぞれ 46.9%、30.2%となっています。



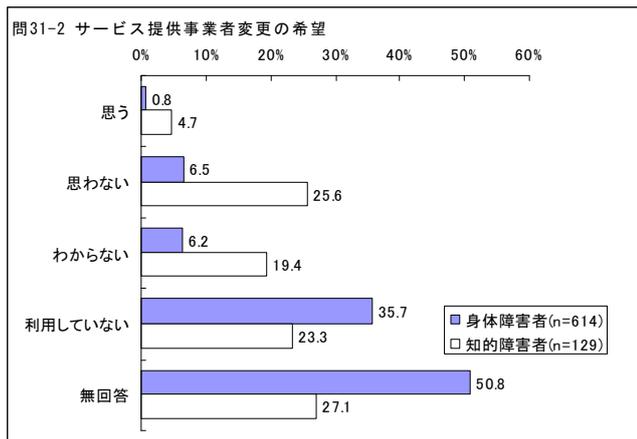
問 31-1 現在、利用している全てのサービスの内容や量を含めてサービス提供事業者には満足していますか。[単数回答]

サービス提供事業者には満足度しているかについてみると、身体障害者では「無回答」が52%、知的障害者では「利用していない」が26.4%と最も多くなっています。



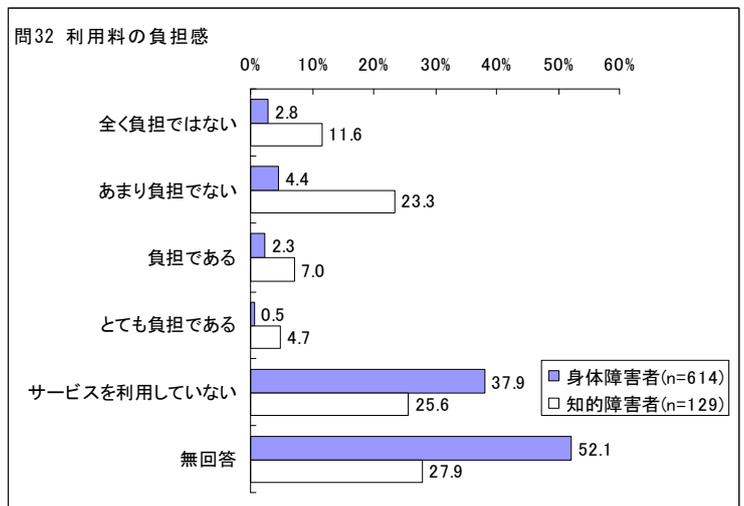
問 31-2 今後、サービス提供事業者を変更したいと思いますか。[単数回答]

サービス提供事業者を変更したいと思うかについてみると、身体、知的障害者ともに「無回答」が最も多く、それぞれ50.8% (身体)、27.1% (知的) となっています。



問 32 現在支払っている利用料の負担感についてうかがいます。[単数回答]

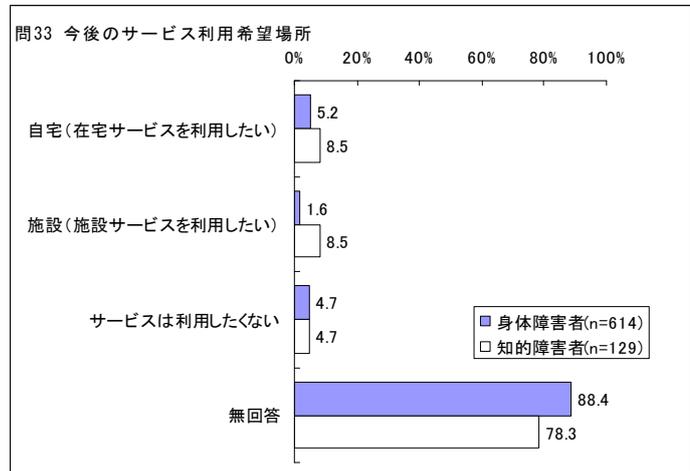
利用料の負担感についてみると、身体、知的障害者とも「無回答」が最も多く、それぞれ52.1% (身体)、27.9% (知的) となっています。



6 在宅サービスを利用している方について

問 33 今後、サービスをどこで利用したいですか。[単数回答]

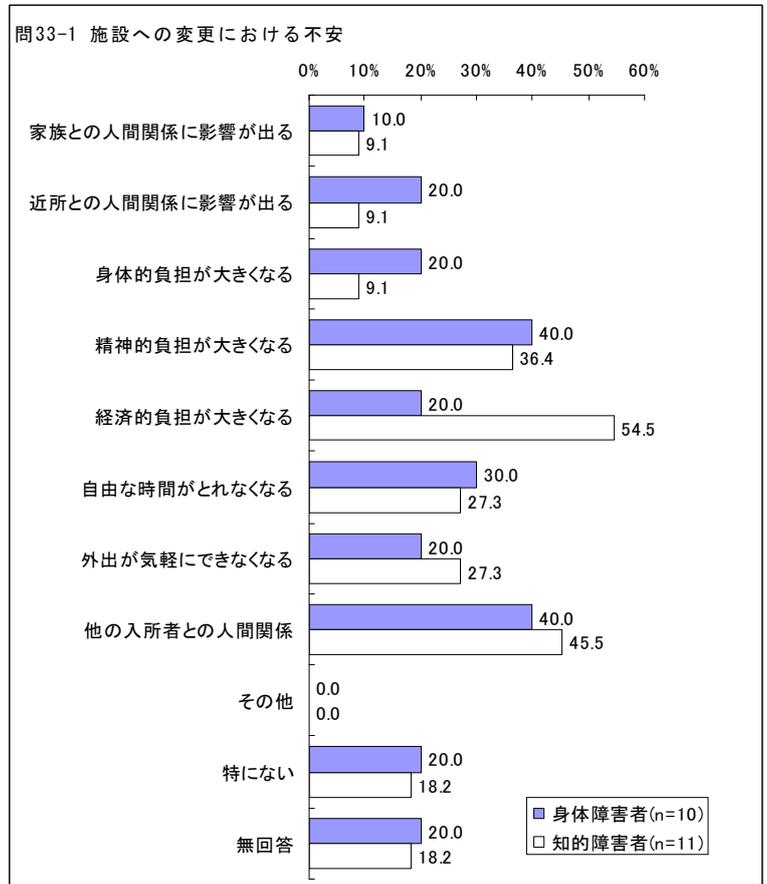
今後、サービスをどこで利用したいかについてみると、回答のあった中では、身体障害者では「自宅（在宅サービスを利用したい）」が5.2%と最も多く、知的障害者では「自宅」と「施設（施設サービスを利用したい）」がともに8.5%と最も多くなっています。



問 33 で 「施設(施設サービスを利用したい)」を選んだ回答者

問 33-1 施設でのサービスに変更するにあたって、不安などがありますか。 [複数回答]

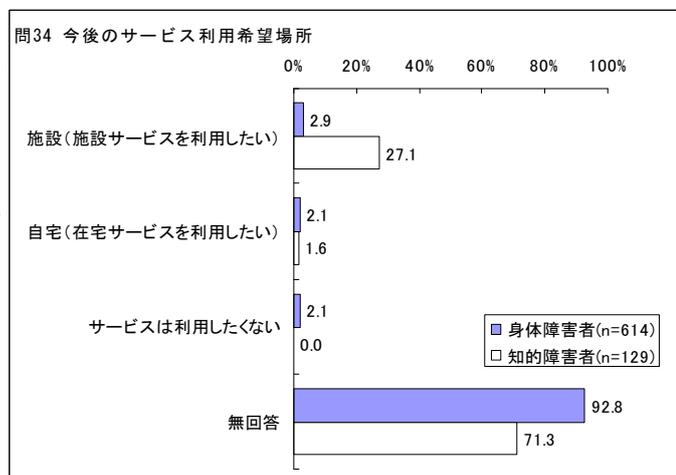
施設でのサービスに変更するにあたっての不安についてみると、身体障害者では「精神的負担が大きくなる」と「他の入所者との人間関係」が40.0%と最も多くなっています。知的障害者では「経済的負担が大きくなる」が54.5%と最も多く、次いで「他の入所者との人間関係」が45.5%となっています。



7 施設サービスを利用している方について

問 34 今後、サービスをどこで利用したいですか。[単数回答]

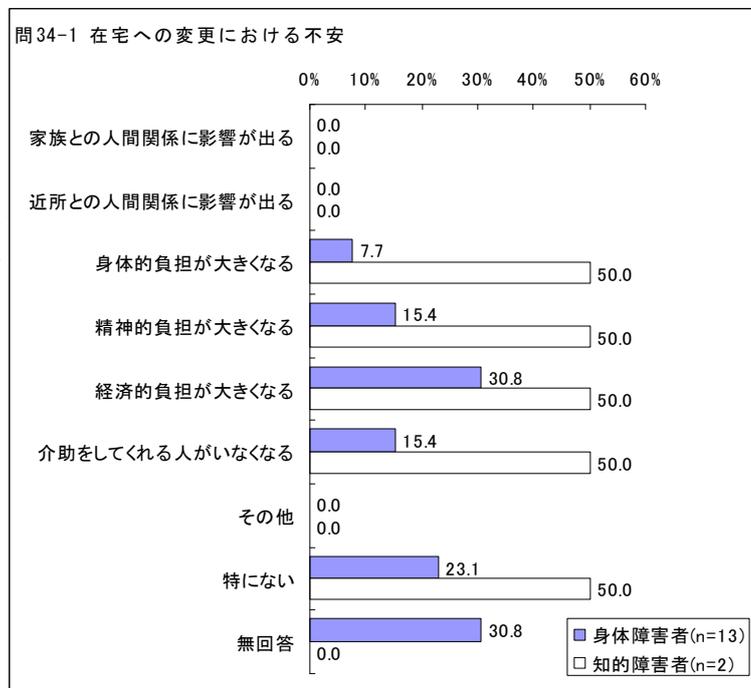
今後、サービスをどこで利用したいかについてみると、回答のあった中では、身体、知的障害者ともに「施設（施設サービスを利用したい）」が最も多く、それぞれ 2.9%（身体）、27.1%（知的）となっています。



問 34 で 「自宅(在宅サービスを利用したい)」を選んだ回答者

問 34-1 在宅でのサービスに変更するにあたって、不安などがありますか。 [複数回答]

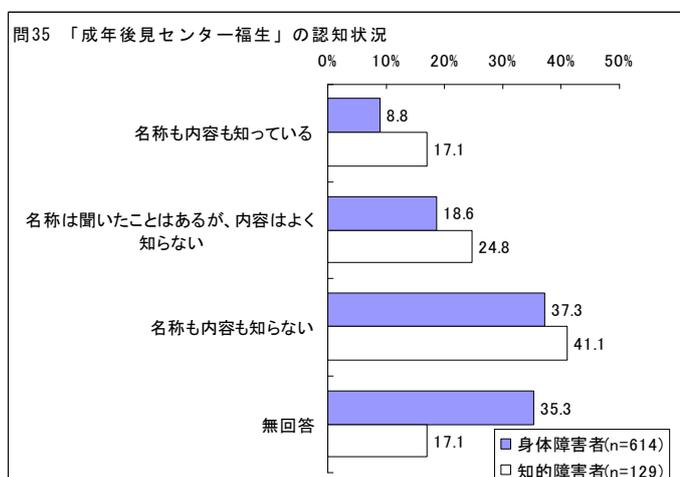
在宅でのサービスに変更するにあたっての不安についてみると、身体障害者では「経済的負担が大きくなる」と「無回答」がともに 30.8%と最も多く、知的障害者では「身体的負担が大きくなる」、「精神的負担が大きくなる」、「経済的負担が大きくなる」、「介助をしてくれる人がいなくなる」、「特にない」がいずれも 50%となっています。



8 その他の福祉サービスについて

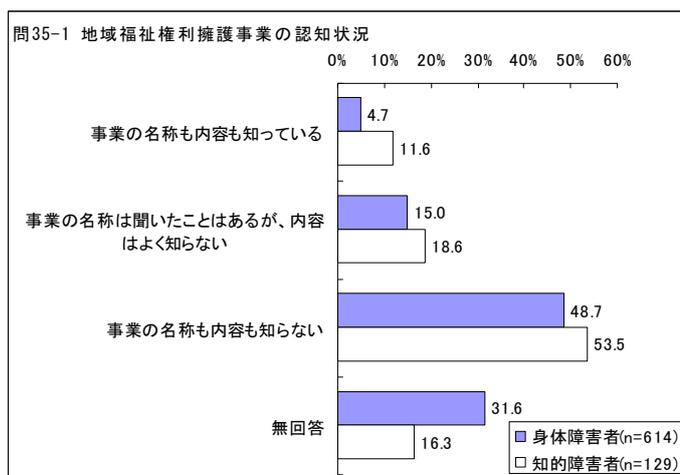
問 35 「成年後見センター福生」では、認知症、知的障害または精神障害により判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」（福祉サービス利用援助事業）や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが、「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

「成年後見センター福生」の認知度についてみると、身体障害者では「名称も内容も知らない」が 37.3%と最も多く、次いで「無回答」が 35.3%となっています。知的障害者でも「名称も内容も知らない」が 41.1%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 24.8%となっています。



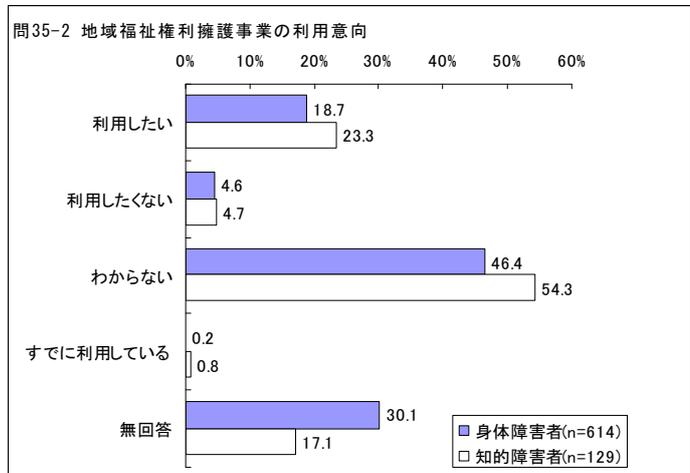
問 35-1 「地域福祉権利擁護事業」についてお聞きします。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」の認知度についてみると、身体障害者では「事業の名称も内容も知らない」が 48.7%と最も多く、次いで「無回答」が 31.6%となっています。知的障害者でも「事業の名称も内容も知らない」が 53.5%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 18.6%となっています。



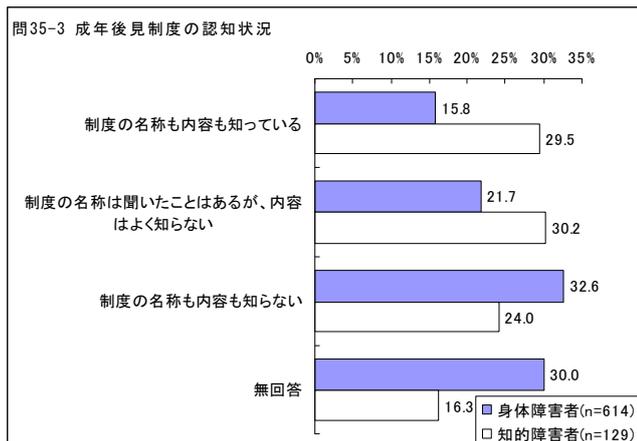
問 35-2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

今後、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいかについてみると、身体障害者では「わからない」が46.4%と最も多く、次いで「無回答」が30.1%となっています。知的障害者でも「わからない」が54.3%と最も多く、次いで「利用したい」が23.3%となっています。



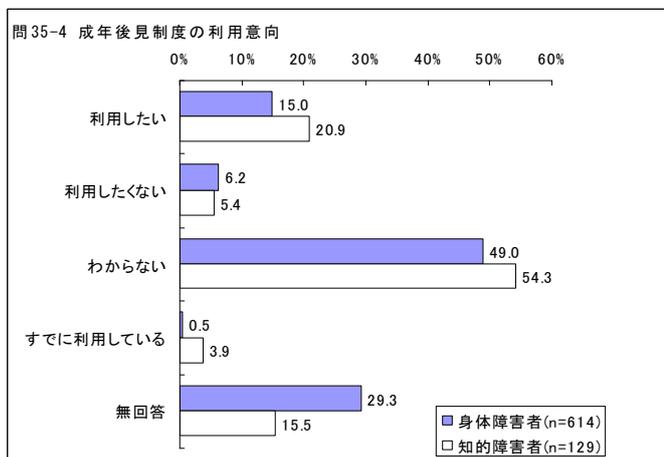
問 35-3 「成年後見制度」についてお聞きします。[単数回答]

「成年後見制度」の認知度についてみると、身体障害者では「制度の名称も内容も知らない」が32.6%と最も多く、次いで「無回答」が30%となっています。知的障害者では「制度の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が30.2%と最も多く、次いで「制度の名称も内容も知らない」が24.0%となっています。



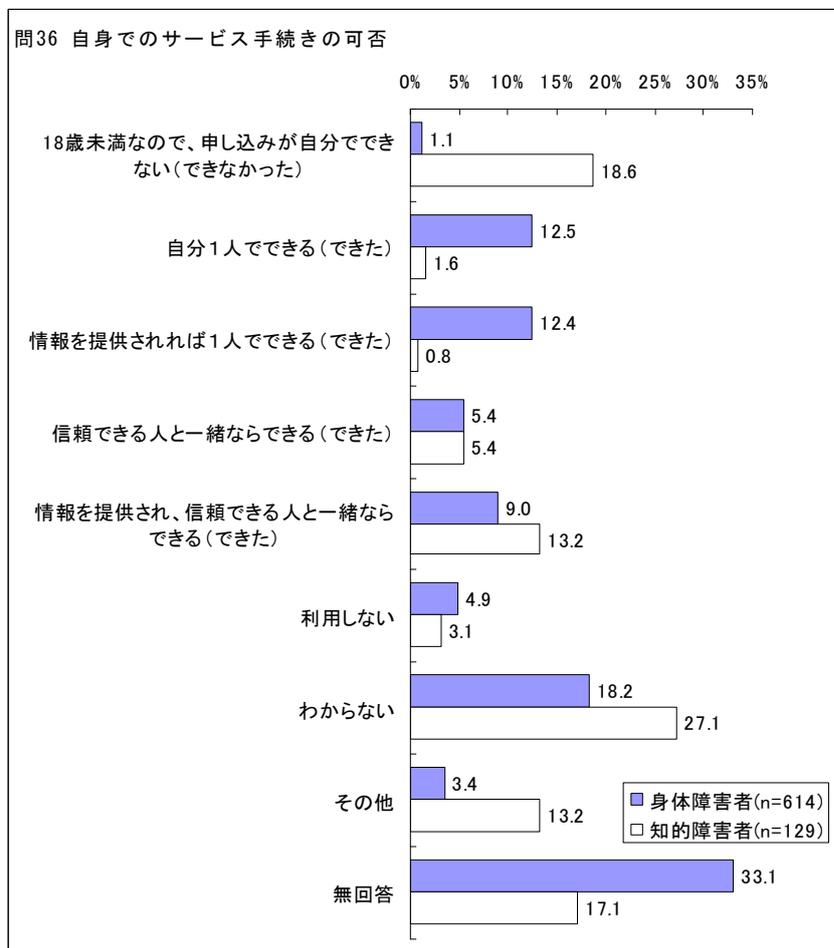
問 35-4 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

今後、「成年後見制度」を利用したいかについてみると、身体障害者では「わからない」が49%と最も多く、次いで「無回答」が29.3%となっています。知的障害者でも「わからない」が54.3%と最も多く、次いで「利用したい」が20.9%となっています。



問 36 福祉施設の利用やホームヘルプ、グループホーム、ショートステイなどを利用する際にサービスの申し込みが必要になりますが、あなたが直接申し込みをされる（された）場合、ご自身で手続きができますか（できましたか）。

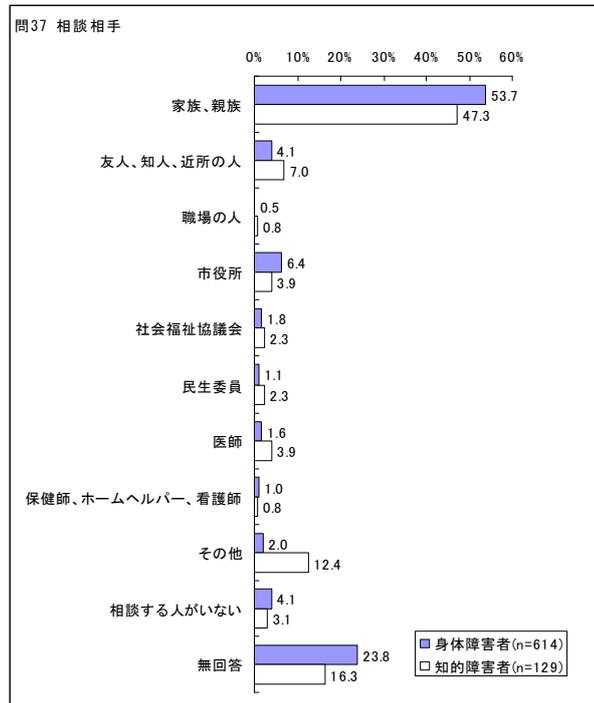
[単数回答]



自身で手続きができる（できた）かについてみると、身体障害者では「無回答」が33.1%と最も多く、次いで「わからない」が18.2%となっています。また、知的障害者では「わからない」が27.1%と最も多く、次いで「18歳未満なので、申し込みが自分できない（できなかった）」が18.6%となっています。

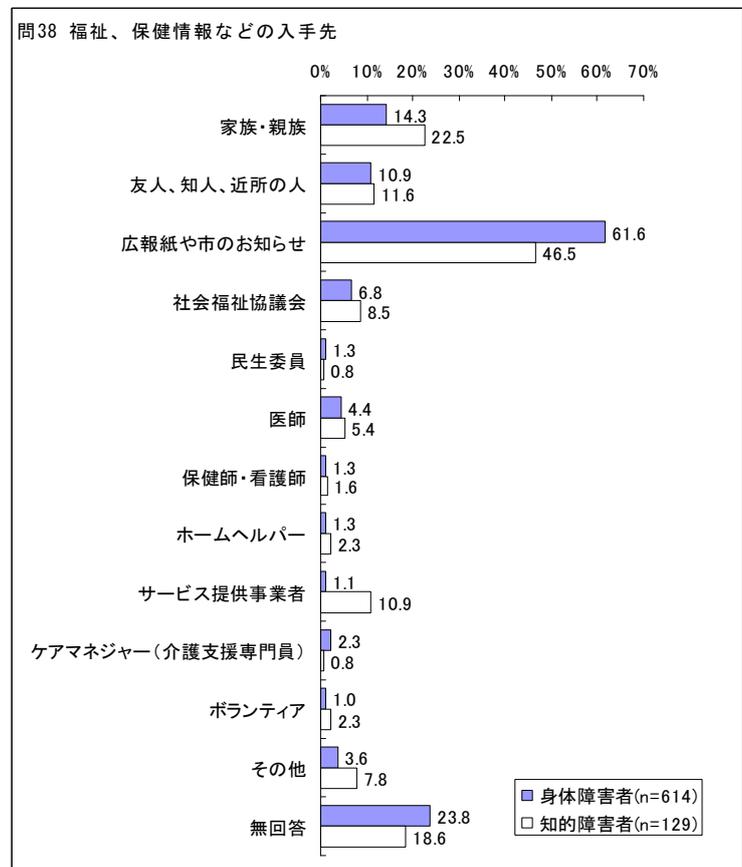
問 37 あなたや介助者が、生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。
[単数回答]

悩みや困ったことを相談する相手についてみると、身体障害者では「家族、親族」が53.7%と最も多く、次いで「無回答」が23.8%となっています。また、知的障害者でも「家族、親族」が47.3%と最も多く、次いで「無回答」が16.3%となっています。



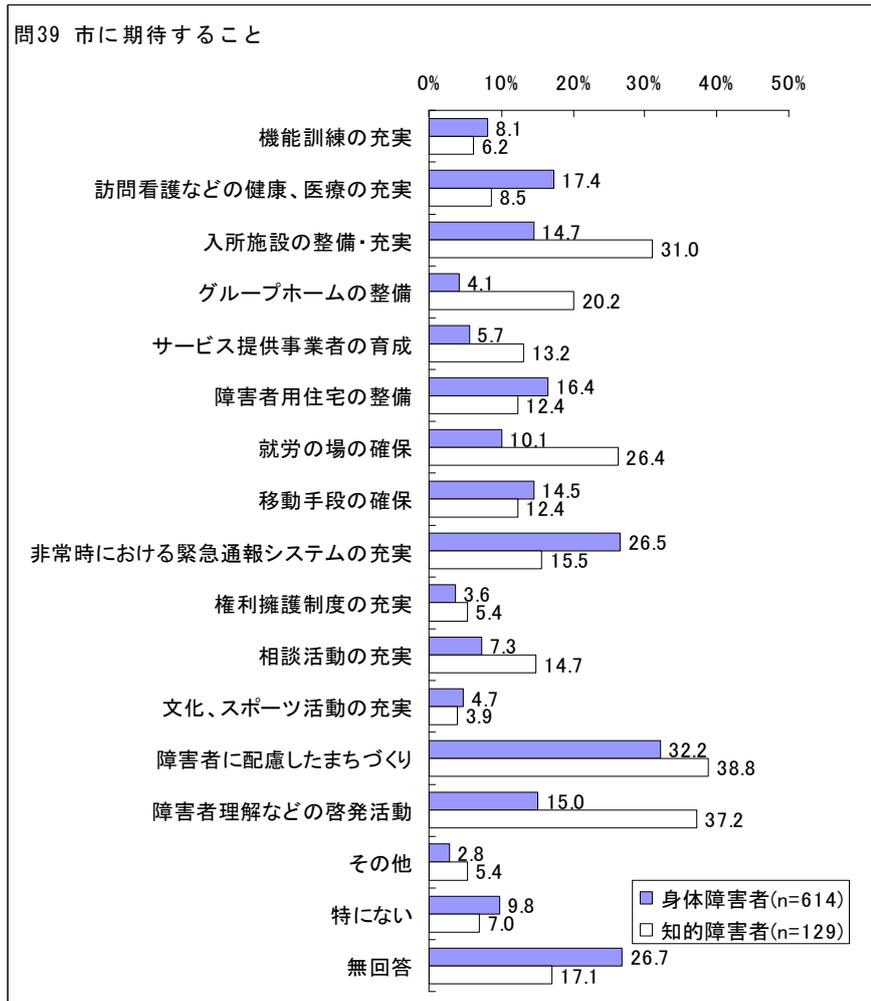
問 38 市が行う催しや行事、障害者福祉や保健に関することは、主に何でお知りになりますか。[複数回答]

主に何で知るかについてみると、身体障害者では「広報紙や市のお知らせ」が61.6%と最も多く、次いで「無回答」が23.8%となっています。また、知的障害者では「広報紙や市のお知らせ」が46.5%と最も多く、次いで「家族・親族」が22.5%となっています。



問 39 今後、市に何を期待しますか。[複数回答]

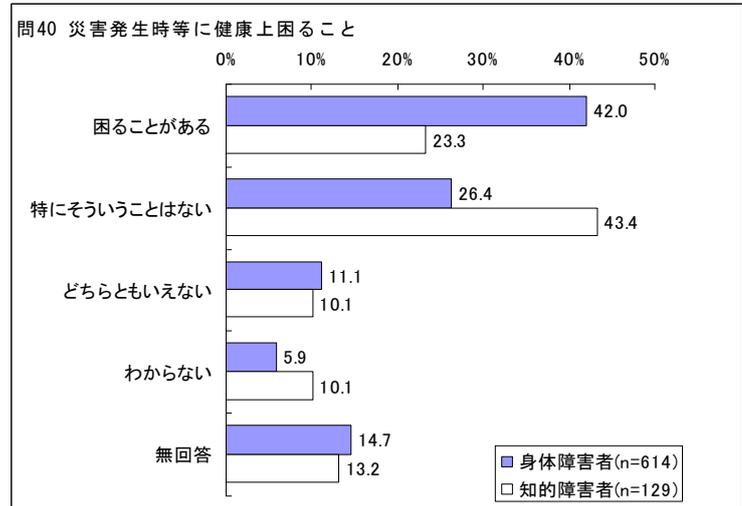
市に期待することについてみると、身体障害者では「障害者に配慮したまちづくり」が32.2%と最も多く、次いで「無回答」が26.7%となっています。また、知的障害者では「障害者に配慮したまちづくり」が38.8%と最も多く、次いで「障害者理解などの啓発活動」が37.2%となっています。



9 災害のときなど緊急時の対応について

問 40 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や治療を受けられなかった場合、健康上困ることがありますか。[単数回答]

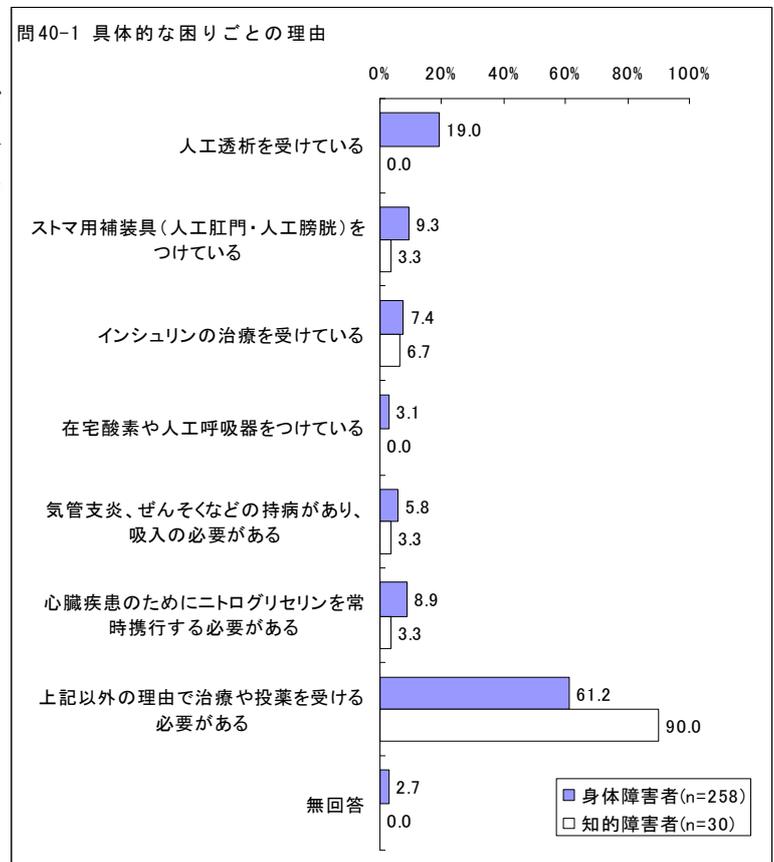
健康上困ることがあるかについてみると、身体障害者では「困ることがある」が42%、知的障害者では「特にそういうことはない」が43.4%と、最も多くなっています。



問 40 で 「困ることがある」を選んだ回答者

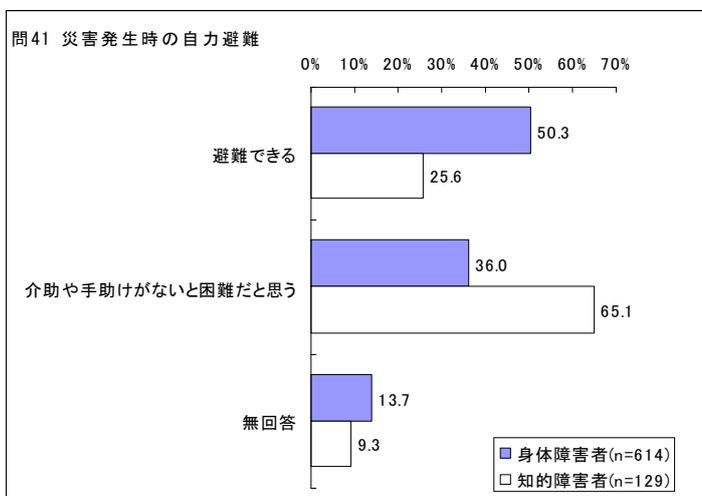
問 40-1 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

健康上困る理由についてみると、身体、知的障害者ともに「上記以外の理由で治療や投薬を受ける必要がある」が最も多く、それぞれ61.2%（身体）、90%（知的）となっています。



問 41 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[単数回答]

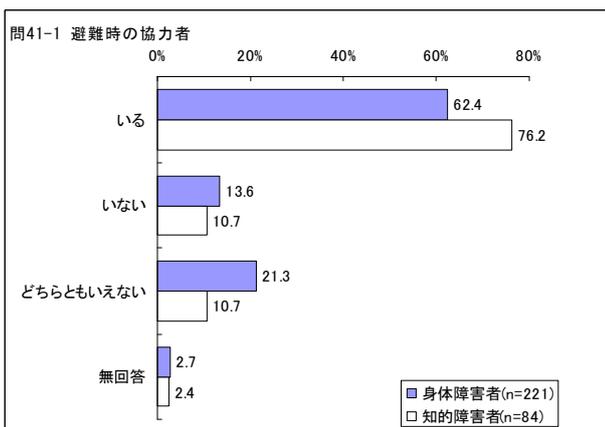
自力で避難することができるかについてみると、身体障害者では「避難できる」が50.3%、知的障害者では「介助や手助けがないと困難だと思う」が65.1%と、最も多くなっています。



問 41 で 「介助や手助けがないと困難だと思う」を選んだ回答者

問 41-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。[単数回答]

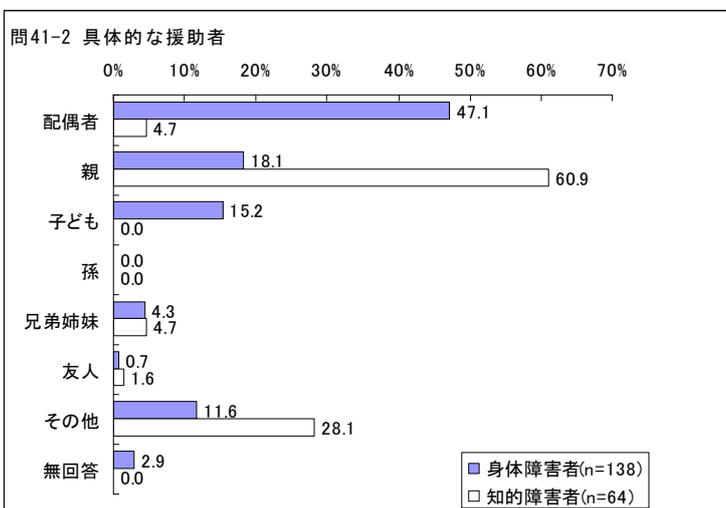
身近に手助けしてくれる人はいるかについてみると、身体、知的障害者ともに「いる」が最も多く、それぞれ62.4%（身体）、76.2%（知的）となっています。



問 41-1 で 「いる」を選んだ回答者

問 41-2 誰ですか。[単数回答]

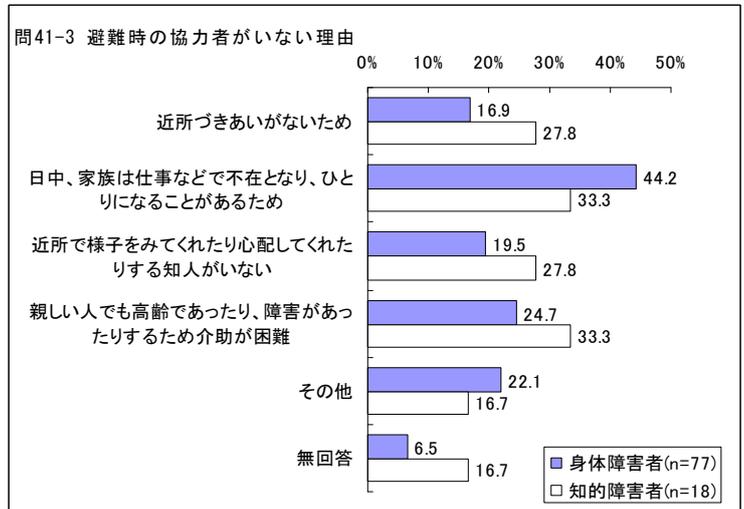
身近で手助けしてくれる人は誰かについてみると、身体障害者では「配偶者」が47.1%と最も多く、知的障害者では「親」が60.9%と最も多くなっています。



問 41-1 で 「いない」、「どちらともいえない」を選んだ回答者

問 41-3 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

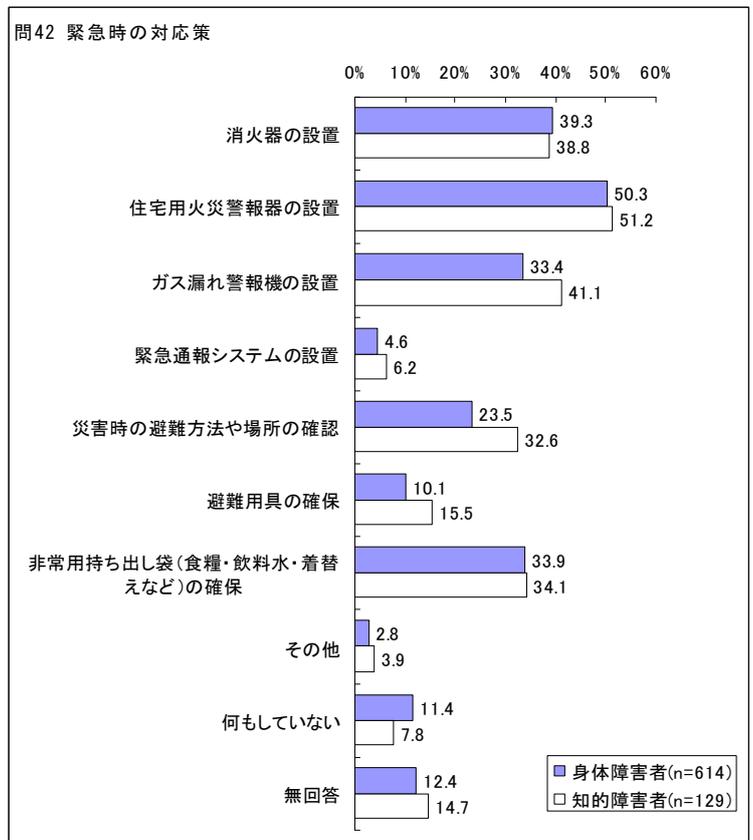
理由についてみると、身体、知的障害者ともに「日中、家族は仕事などで不在となり、ひとりになることがあるため」が最も多く、それぞれ 44.2%（身体）、33.3%（知的）となっています。また、知的障害者では「親しい人でも高齢であったり、障害があつたりするため介助が困難」も最も多くなっています。



問 42 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。

[複数回答]

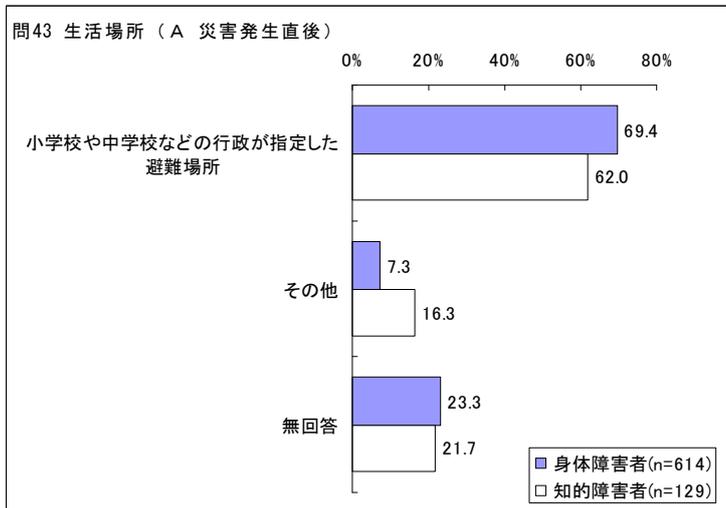
家庭での緊急時の対応策としての準備についてみると、身体、知的障害者ともに「住宅用火災警報器の設置」が最も多く、それぞれ 50.3%（身体）、51.2%（知的）となっています。



問 43 もしも災害により自宅で生活するのが困難な状態になった場合、あなたの生活するところはどこになるとお考えですか。[単数回答]

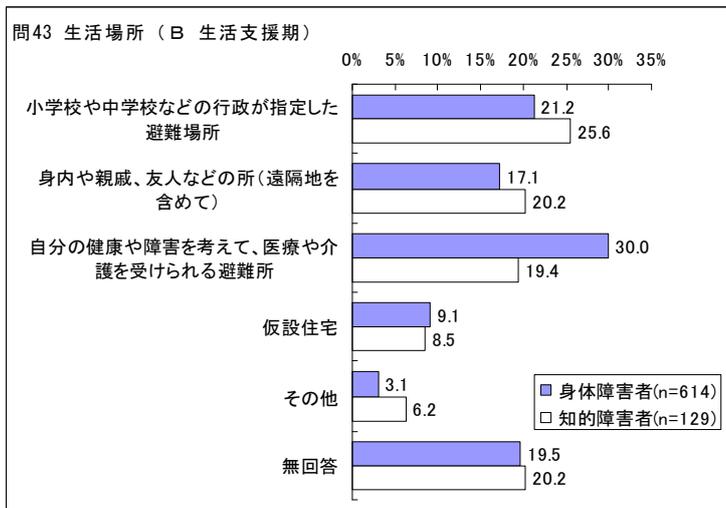
《A 災害発生直後》(発生時から1週間程度)

災害発生直後、生活するところについてみると、身体、知的障害者ともに「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が最も多く、それぞれ69.4%（身体）、62%（知的）となっています。



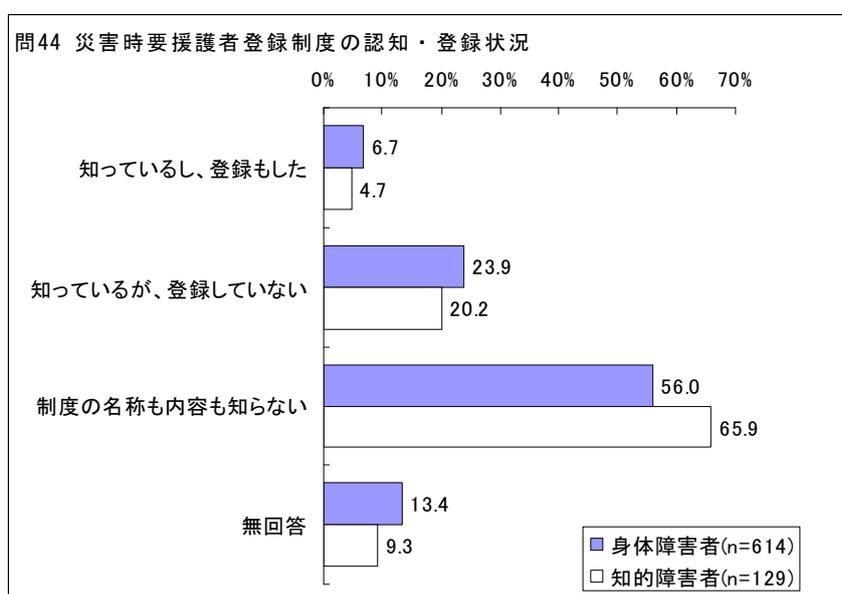
《B 生活支援期》(発生から1週間以上経過後)

生活支援期で生活するところについてみると、身体障害者では「自分の健康や障害を考えて、医療や介護を受けられる避難所」が30%と最も多く、次いで「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が21.2%となっています。また、知的障害者では「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が25.6%と最も多く、次いで「身内や親戚、友人などの所（遠隔地を含めて）」と「無回答」がともに20.2%となっています。



問 44 「災害時要援護者登録制度」は、災害発生時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方が予め申請し、市の災害時要援護者台帳に登録することにより、その情報を地域の自主防災組織、民生委員・児童委員のほか、消防団、消防署、警察署、社会福祉協議会にも提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導等の支援活動を迅速にできるようにする制度ですが、ご存知ですか。[単数回答]

「災害時要援護者登録制度」の認知・登録状況についてみると、身体、知的障害者ともに「制度の名称も内容も知らない」が最も多く、それぞれ 56%（身体）、65.9%（知的）となっています。

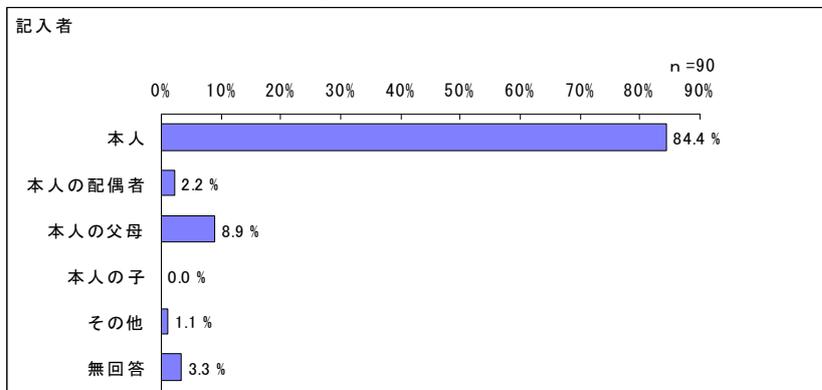


VII**精神障害者**

回答者の属性		(単位：人)
性別	男	56
	女	33
	無回答	1
年齢	29歳以下	6
	30-69歳	78
	70歳以上	2
	無回答	4

○調査票記入者 [単数回答]

記入者についてみると、「本人」が85%近くを占めています。

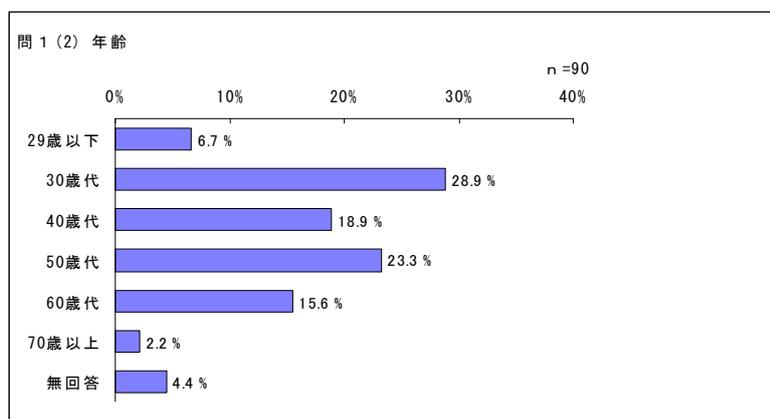
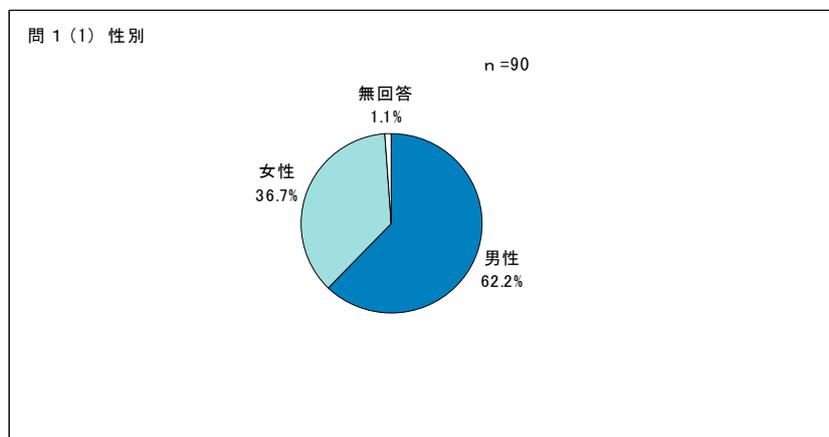


1 ご本人のことについて

問1 (1) 性別、(2) 年齢 [単数回答]

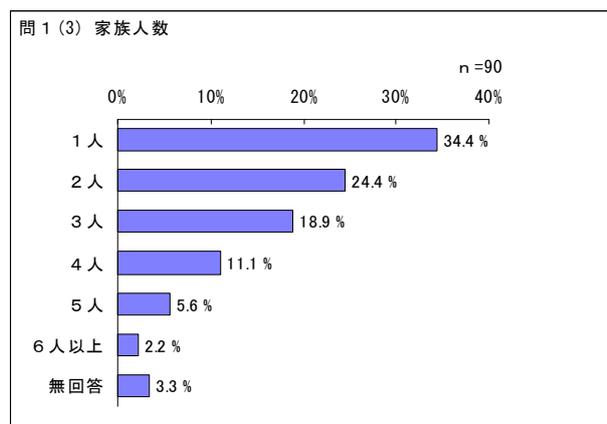
性別についてみると、「男性」が6割強、「女性」が3割台半ばとなっています。

年齢についてみると、「30歳代」が28.9%と最も多く、次いで「50歳代」が23.3%となっています。



(3) 家族人数（本人を含めて）[単数回答]

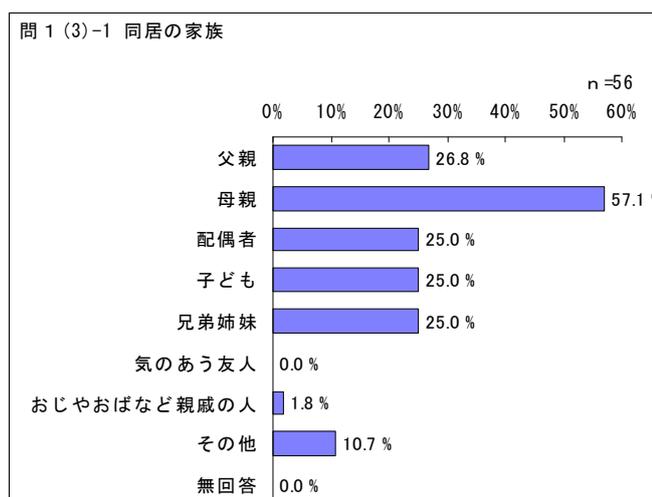
家族人数についてみると、「1人」が34.4%と最も多く、次いで「2人」が24.4%となっています。



問1(3)で「1人」以外を選んだ回答者

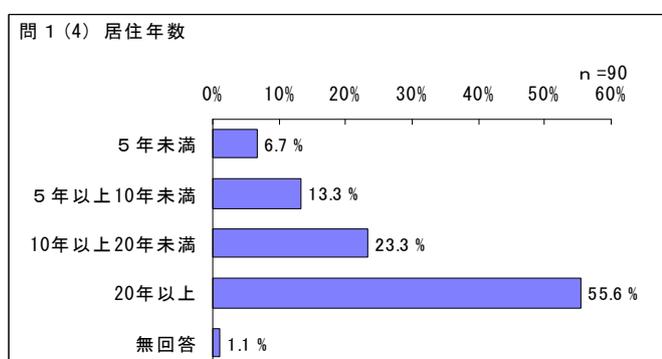
(3) - 1 現在、あなたは誰と一緒に住んでいますか。[複数回答]

誰と一緒に住んでいるかについてみると、「母親」が57.1%と最も多く、次いで「父親」が26.8%となっています。



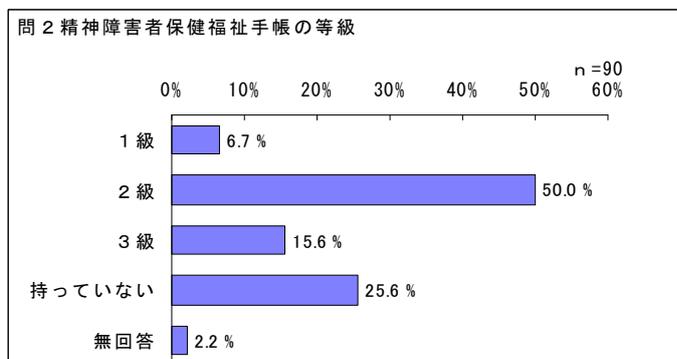
(4) 福生市での居住年数 [単数回答]

福生市での居住年数についてみると、「20年以上」が過半数を占めて最も多く、次いで「10年以上20年未満」が23.3%となっています。



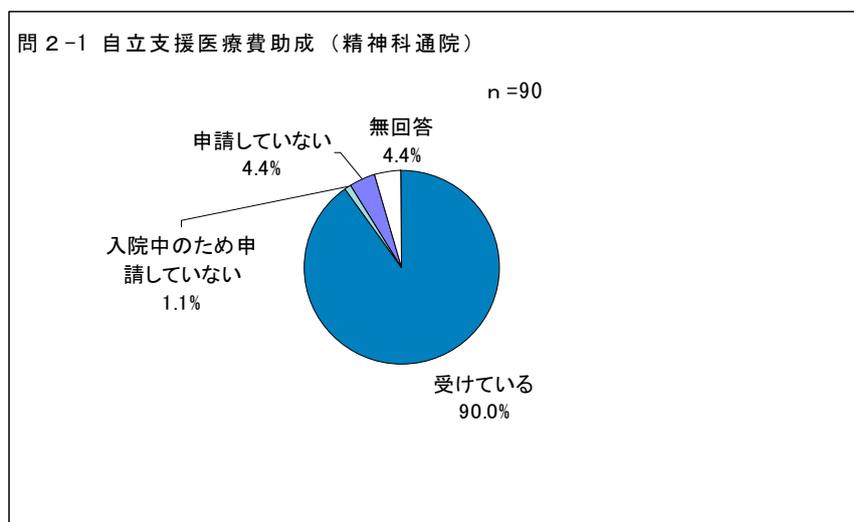
問2 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。[単数回答]

精神障害者保健福祉手帳についてみると、「2級」が半数を占めて最も多く、「持っていない」が25.6%となっています。



問2-1 障害者自立支援法に基づく自立支援医療費助成（精神科通院）を受けていますか。[単数回答]

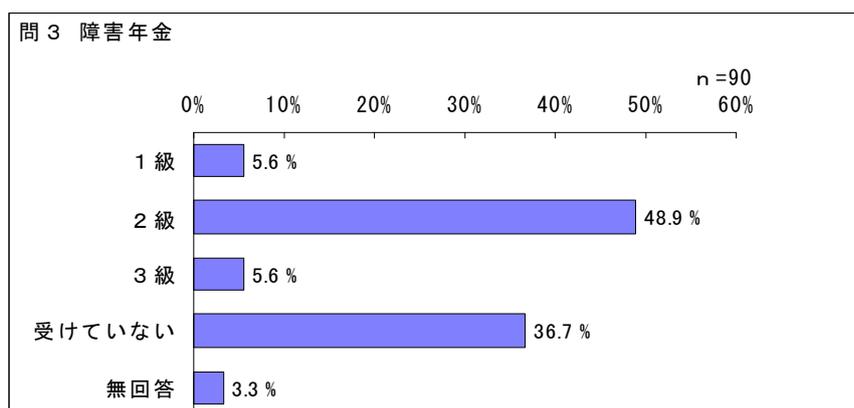
自立支援医療費助成を受けているかについてみると、「受けている」が9割を占めています。次いで「申請していない」と「無回答」がともに4.4%となっています。



問3 障害年金を受けていますか。受けている場合、級を記入してください。

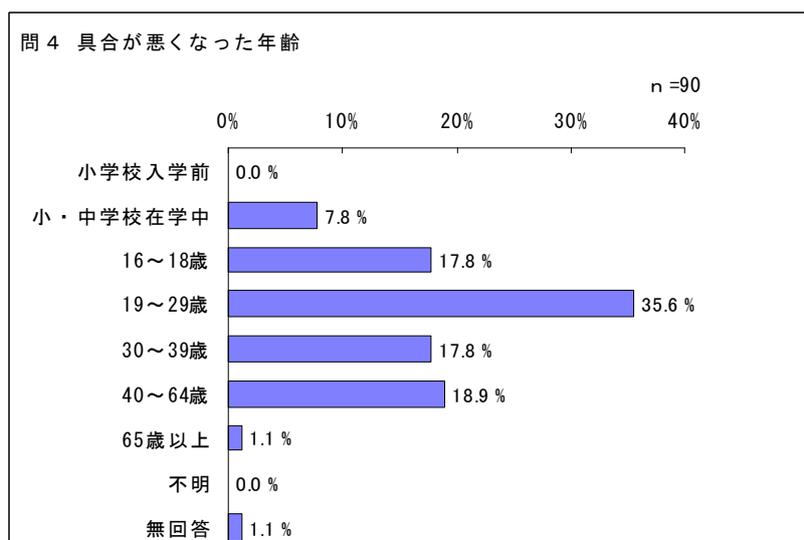
[単数回答]

障害年金を受けているかについてみると、「2級」が48.9%と最も多く、次いで「受けていない」が36.7%となっています。



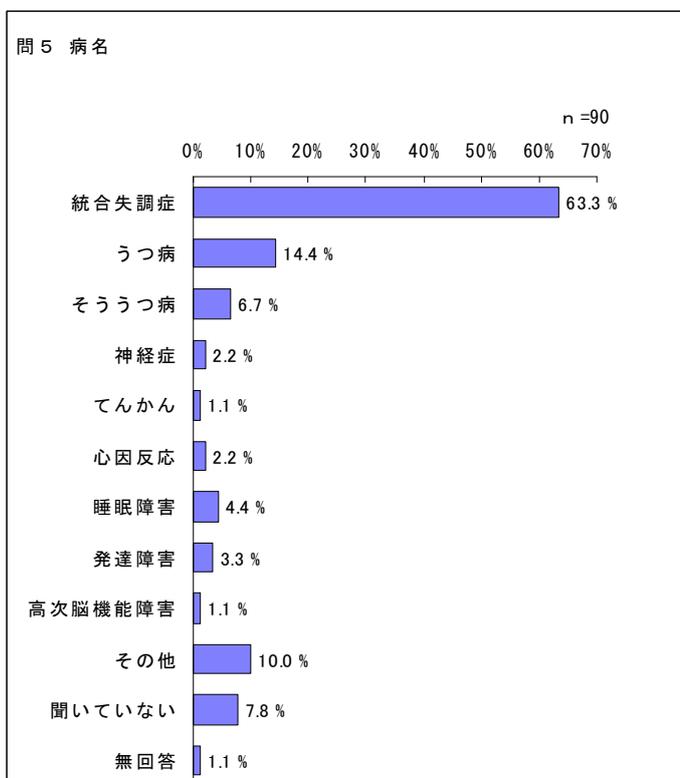
問4 初めて具合が悪くなったのは、何歳ごろでしたか。[単数回答]

具合が悪くなったのは、何歳ごろかについてみると、「19～29歳」が35.6%と最も多く、次いで「40～64歳」が18.9%となっています。



問5 あなたは病名について、主治医からどのように聞いていますか。[複数回答]

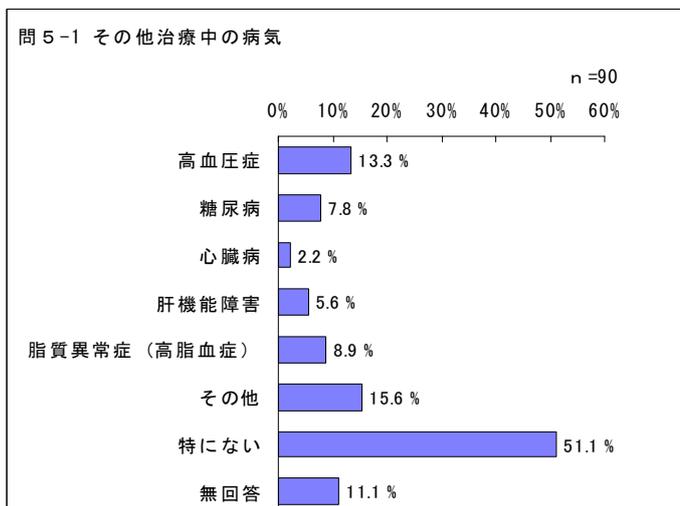
病名について主治医からどのように聞いているかについてみると、「統合失調症」が63.3%と最も多く、次いで「うつ病」が14.4%となっています。



問5-1 上記以外にも、治療中の病気がありますか。[複数回答]

治療中の病気についてみると、「特にない」が51.1%と最も多く、次いで「その他」が15.6%となっています。

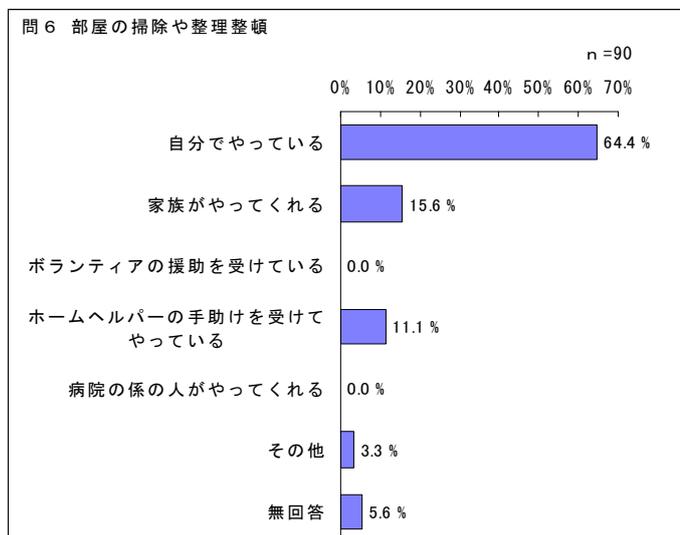
「その他」では、「喘息」、「皮膚炎」などが挙げられています。



2 日常生活について

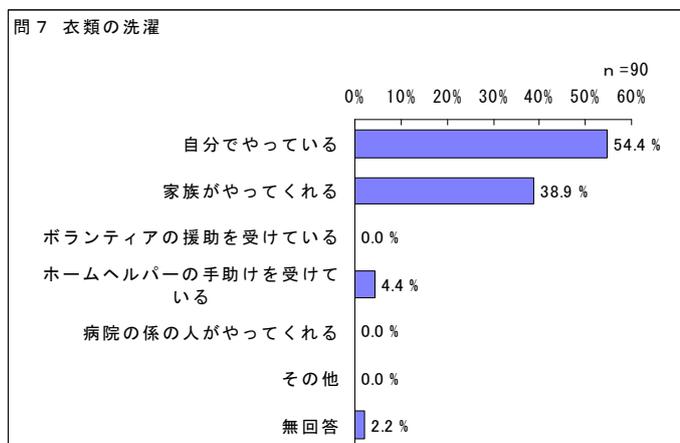
問6 あなたは部屋の掃除や整理整頓をどうしていますか。[単数回答]

部屋の掃除や整理整頓をどうしているかについてみると、「自分でやっている」が64.4%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が15.6%となっています。



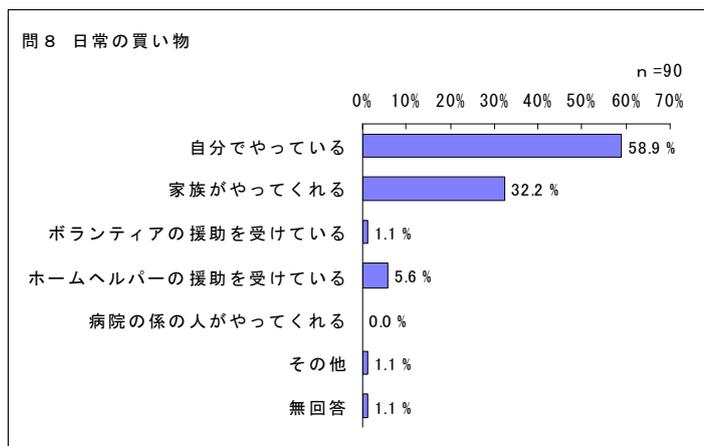
問7 あなたは衣類の洗濯をどうしていますか。[単数回答]

衣類の洗濯をどうしているかについてみると、「自分でやっている」が54.4%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が38.9%となっています。



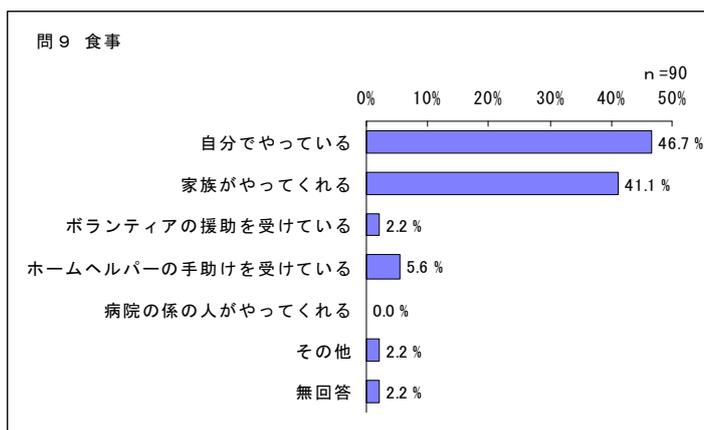
問8 あなたは日常の買い物をどうしていますか。[単数回答]

日常の買い物についてみると、「自分でやっている」が58.9%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が32.2%となっています。



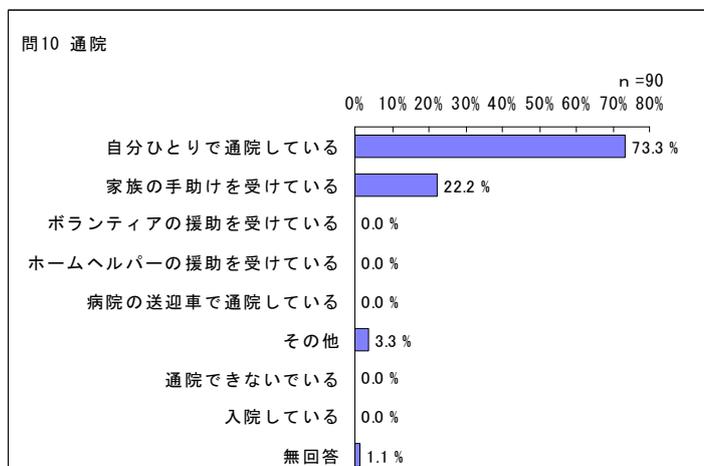
問9 あなたは食事をどうしていますか。[単数回答]

食事についてみると、「自分でやっている」が46.7%と最も多く、次いで「家族がやってくれる」が41.1%となっています。



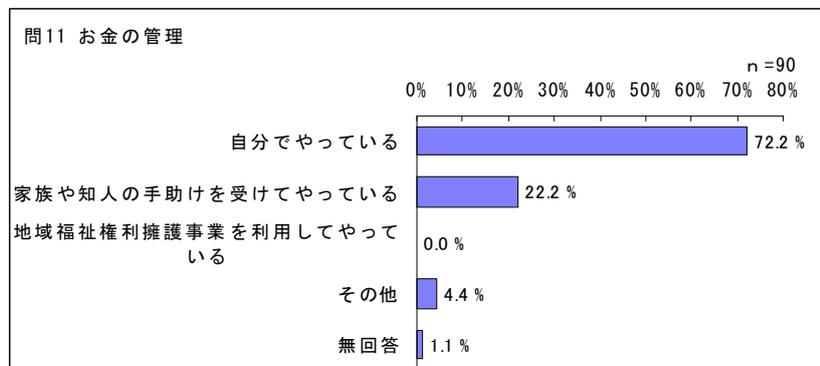
問10 あなたは、通院をどうしていますか。[単数回答]

通院についてみると、「自分ひとりで通院している」が73.3%と最も多く、次いで「家族の手助けを受けている」が22.2%となっています。



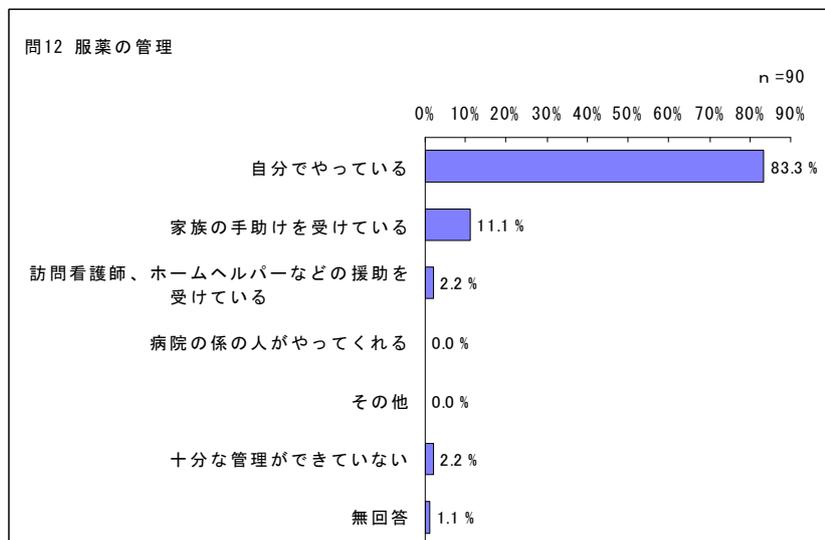
問 11 あなたはお金の管理をどうしていますか。[単数回答]

お金の管理についてみると、「自分でやっている」が 72.2%と最も多く、次いで「家族や知人の手助けを受けてやっている」が 22.2%となっています。



問 12 あなたは服薬の管理をどうしていますか。[単数回答]

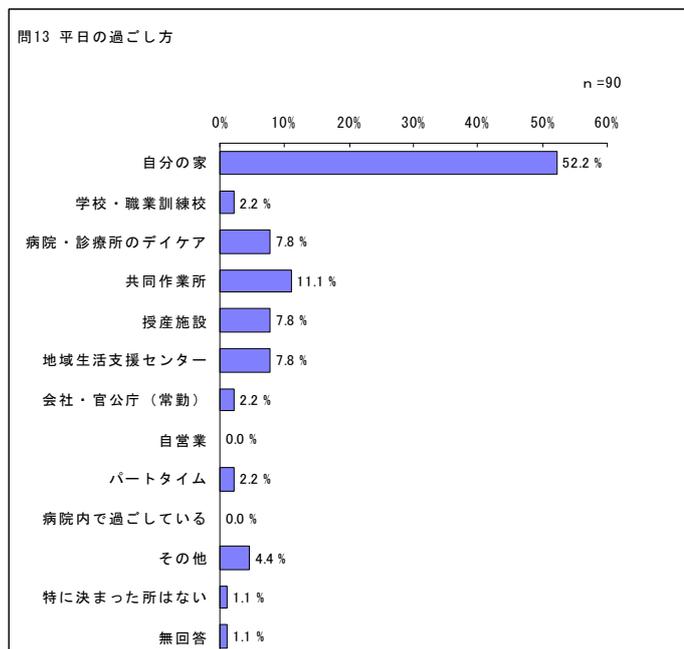
服薬の管理についてみると、「自分でやっている」が 83.3%と最も多く、次いで「家族の手助けを受けている」が 11.1%となっています。



問 13 あなたは、平日（月～金）の昼間、主にどこで過ごしていますか。

[単数回答]

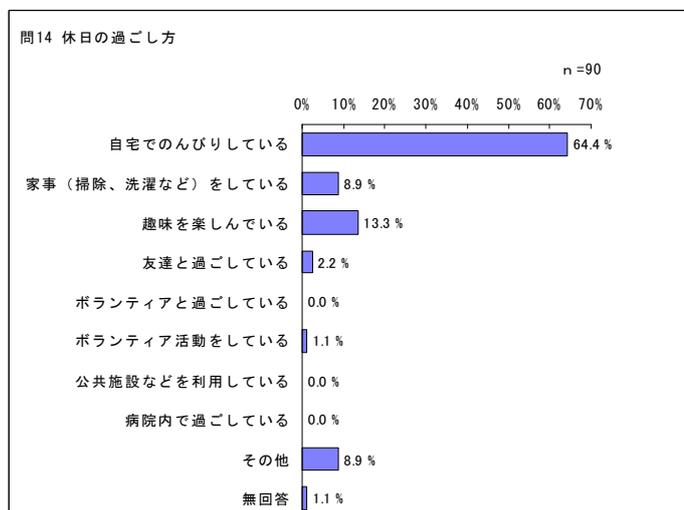
平日の昼間、主にどこで過ごしているかについてみると、「自分の家」が52.2%と最も多く、次いで「共同作業所」が11.1%となっています。



問 14 あなたは、日曜日や休日は、どのように過ごしていることが多いですか。

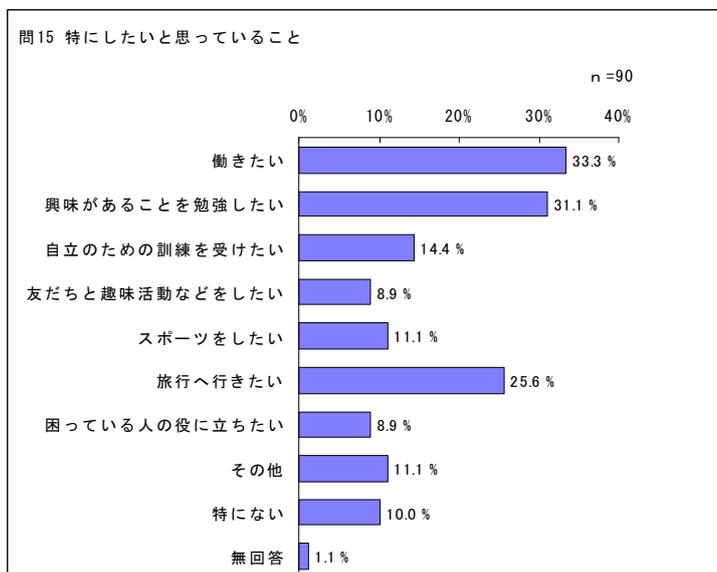
[単数回答]

日曜日や休日は、どのように過ごしているかについてみると、「自宅でのんびりしている」が64.4%と最も多くなっています。



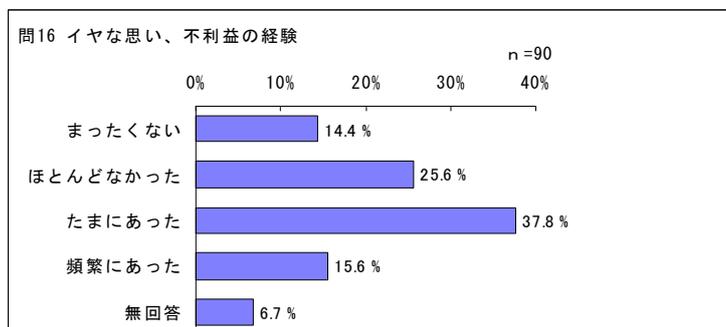
問 15 あなたが、今、特にしたいと思っていることは何ですか。[複数回答]

今、特にしたいと思っていることについてみると、「働きたい」が 33.3%と最も多く、次いで「興味があることを勉強したい」が 31.1%となっています。



問 16 あなたは今までの生活の中で、自分の病気のことなどが原因でイヤな思いをさせられたり、不利益をこうむったと感じたことはありますか。[単数回答]

不利益をこうむったと感じたことについてみると、「たまにあった」が 37.8%と最も多く、次いで「ほとんどなかった」が 25.6%となっています。



問 16 で 「たまにあった」、「頻繁にあった」を選んだ回答者

問 16-1 さしつかえなければ、その内容についてご記入ください。

いじめ。

何の薬を飲んでいるのかきかれた。なぜ仕事をしないのかと何度もきかれた。

そういった病気を理解しない人に心ないことを言われる。

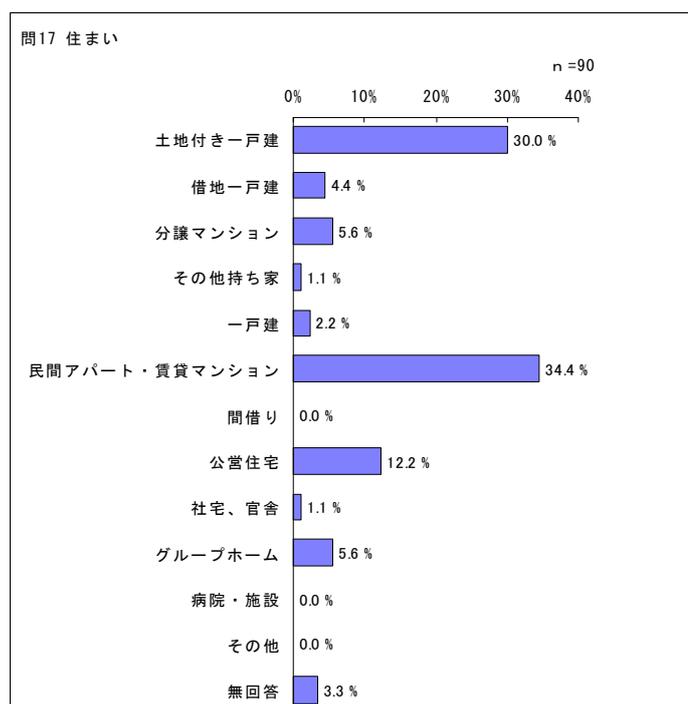
初めて（発症してから15年近くが過ぎていましたが）歯科に行った時のことですが、病気について、薬について話し、先生に納得していただき治療を始めたのですが、予約時間を守れなかったとき大変怒られて、その後転医をしました。この病気（統合失調症）の症状は一人ひとり違いますし、本人が努力しても思う様に事が運ばず遅れるということは多々あることだと思います。「常識どおりいかないのが症状」の病の1人であることを歯科のみでなく、医療に関わる

人皆さんに理解していただきたい。
一般就労がうまくいかなかった。
路線バスの運転手に、障害者手帳を見せて安くしてもらおう時、急に態度が変わり、冷たくされた（「ありがとうございました」も無かった）。
仕事、何事も続かない。
税金で生きてると言われた。精神の薬を飲んで妹と疎遠になった。
学校を退学せざるをえなかった。
自分が今まで働いてきた会社には、自分の病気のことは隠して働いてきました。その結果、会社には毎日罪悪感を抱えながら、そして自分も仕事に倒れたらどうしよう？っていつもビクビクしながら働いていました。
アルバイトが長期間できなかつたり、恋人と別れざるをえなかつたりしたことがある。
家族との不仲。
弟妹が結婚するとき、僕の病気が問題になった。
入院したくても、世間体のため入院させてもらえなかった。
家を探すときに、障害者ということで断られた。
職場で精神科で通院していたことがわかったら、リストラされた。
職親制度で働いていたクリーニング店で、自分の病気のことで、職場の人から「クレージーボーイ」と言われたことがあった。あまりいい感じはしなかった。

3 現在のお住まいなどについて

問 17 あなたのお住まいは次のどれですか。[単数回答]

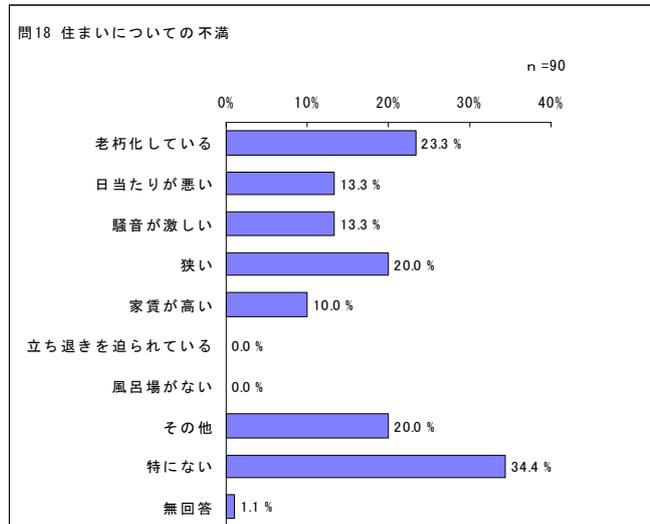
住まいについてみると、「民間アパート・賃貸マンション」が34.4%と最も多く、次いで「土地付き一戸建」が30.0%となっています。



問 17で 「病院・施設」以外を選んだ回答者

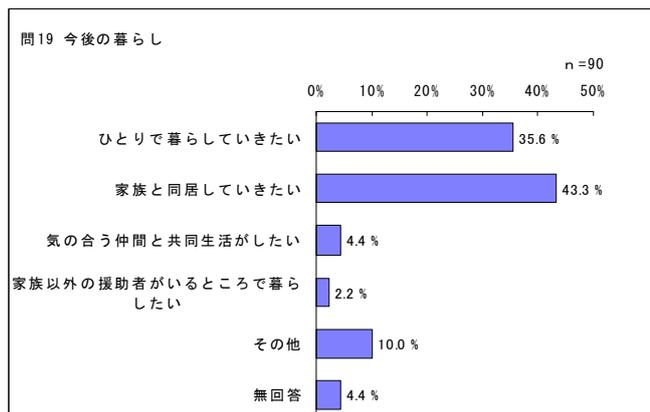
問 18 現在、お住まいで不満なことがありますか。[複数回答]

不満なことについてみると、「特にな
い」が34.4%と最も多く、次いで「老朽
化している」が23.3%となっています。



問 19 あなたは、今後どのような暮らしをしていきたいですか。[単数回答]

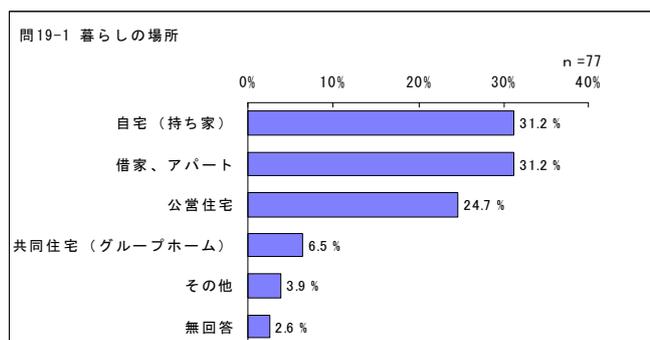
今後どのような暮らしをしたいかにつ
いてみると、「家族と同居していきたい」
が43.3%と最も多く、次いで「ひとりで
暮らしていきたい」が35.6%となってい
ます。



問 19で 「その他」以外を選んだ回答者

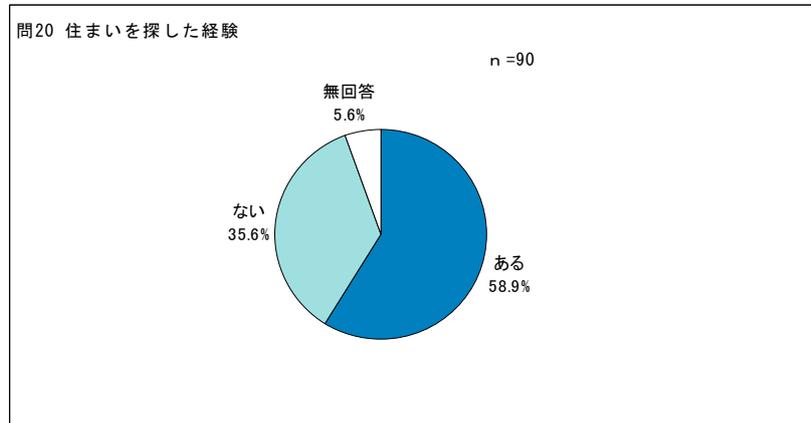
問 19-1 その場所はどんなところですか。[単数回答]

場所についてみると、「自宅(持ち家)」
と「借家、アパート」がともに31.2%と
最も多くなっています。



問 20 あなたは、今まで、お住まいを探した経験がありますか。[単数回答]

住まいを探した経験についてみると、「ある」が58.9%と多く、「ない」は35.6%となっています。



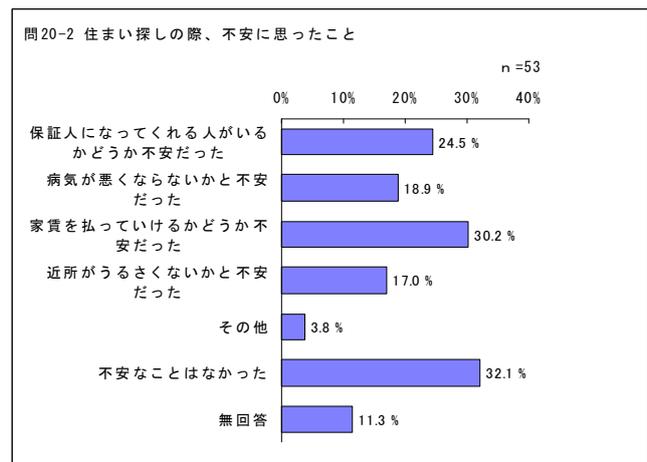
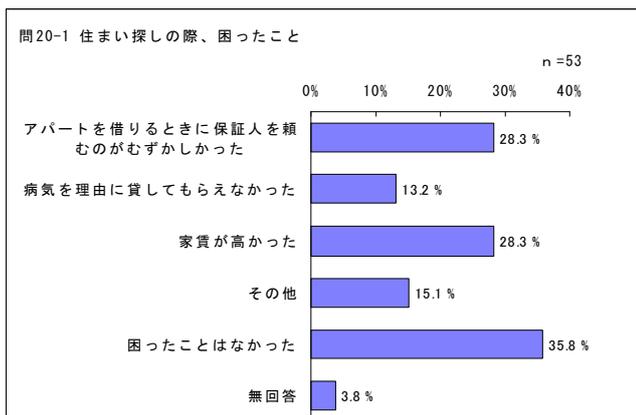
問 20 で 「ある」を選んだ回答者

問 20-1 そのときに困ったことがありましたか。[複数回答]

問 20-2 そのとき不安に思ったことはありますか。[複数回答]

困ったことについてみると、「困ったことはなかった」が35.8%と最も多く、次いで「アパートを借りるときに保証人を頼むのがむずかしかった」と「家賃が高かった」が28.3%となっています。

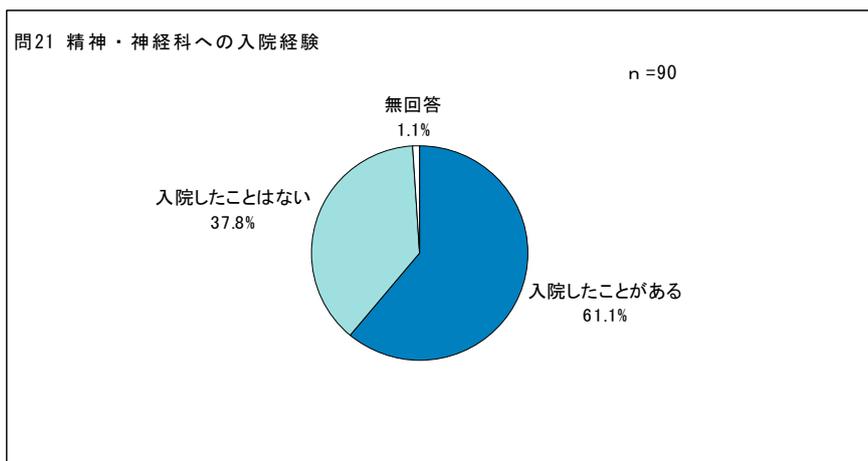
不安に思ったことについてみると、「不安なことはなかった」が32.1%と最も多く、次いで「家賃を払っていきけるかどうか不安だった」が30.2%となっています。



4 健康状態について

問 21 あなたは、今までに精神・神経科に入院したことがありますか。[単数回答]

精神・神経科に入院したことがあるかについてみると、「入院したことがある」が 61.1%となっています。



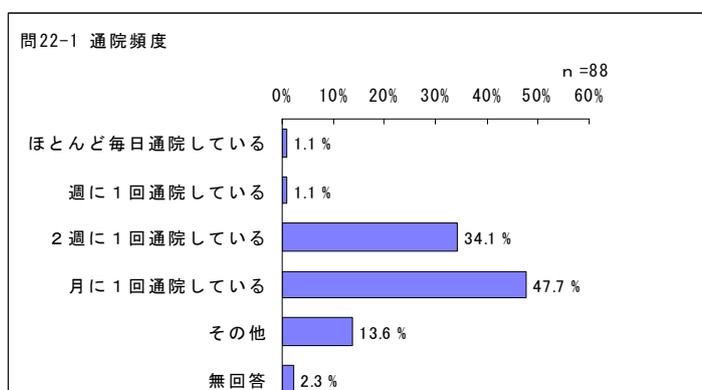
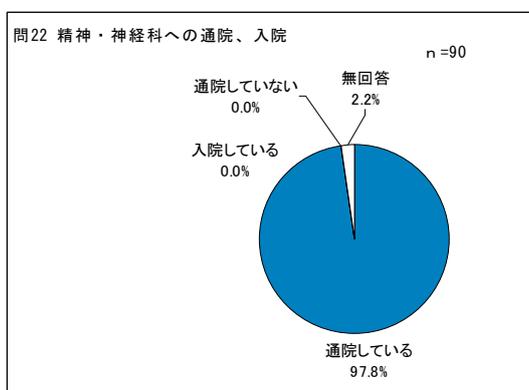
問 22 あなたは現在、精神・神経科のお医者さんにかかっていますか。[単数回答]

問 22 で 「無回答」以外の回答者

問 22-1 どのくらい通院していますか。[単数回答]

精神・神経科のお医者さんにかかっているかについてみると、「通院している」が 97.8%と圧倒的に多くなっています。

通院回数についてみると、「月に1回通院している」が 47.7%と最も多く、次いで「2週に1回通院している」が 34.1%となっています。

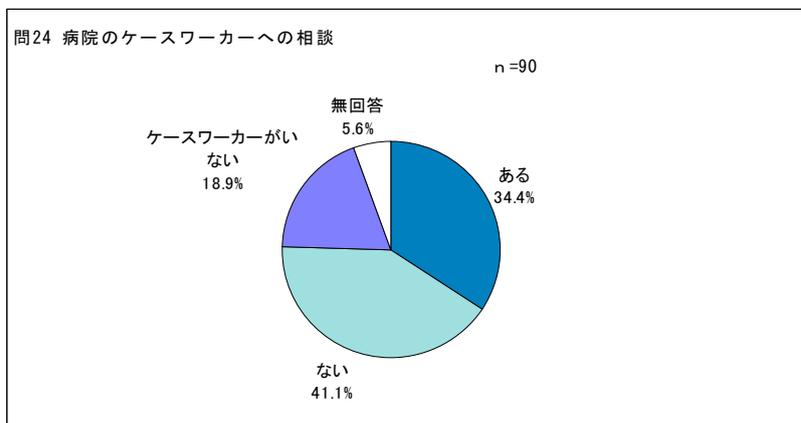


問23 薬や病院などで困っていることがありましたら、ご自由に記入してください。

待ち時間が長い。薬がどんどん増える。薬局の人が感じが悪い。
カウンセリングの料金が安い。
病院ではなくクリニックですので、PSWの方はいません。質問・相談ごとは担当医の先生とスタッフ（事務の方や看護婦さん）の方に全て話しています。ですが、皆さん忙しいので時間は限られています。保健師さんや訪問看護も本人が今のところ受け入れないので、利用できないでいます。クリニックでは話はきいてくださるので、行く度に最低1つでもと思い質問・相談をしています。ひとりで通院できず親と歩いて通院（15分くらい）しています。
良い眠りがとれません。薬は多く飲んでいるのに、眠りが安定しないため、一般社会に出て行く自信がないです。
待たされる時間が長い。
減薬したいが、反対に薬が増えてしまうこと。
病院まで遠い。近い病院に移りたい。
副作用をなくしたい。
薬の量がなかなか減らない。
薬がないと眠れない。
薬のため便秘。
薬だけではなく、心理療法やカウンセリングを受けたいが、投薬のみ。
睡眠薬がすぐに効かない。
（薬が多く）薬害にならないのか？心配。
調布の「はしもとクリニック」は名医。薬局も親切なおじさんだが、（遠くて）交通費が高い。
予約がなかなかとれない。
医者が患者の話を聞きながら、足に薬をぬりだした。過去に2回ほどあった（具体的な医院名を記述）。
薬で眠れない。
病院が少し遠い。
どこの病院に行っても、病気が改善しなく、15年以上努力したが、治らない。薬物治療以外の治療を試してみたいが、近くにやっているとこがない、または、高額である。
疲労する。
近くの病院へ替わりたいが良い病院がない。また、今までの病気の経過を解ってもらっているので替えることが出来ない。

問 24 病院のケースワーカーに相談したことがありますか。[単数回答]

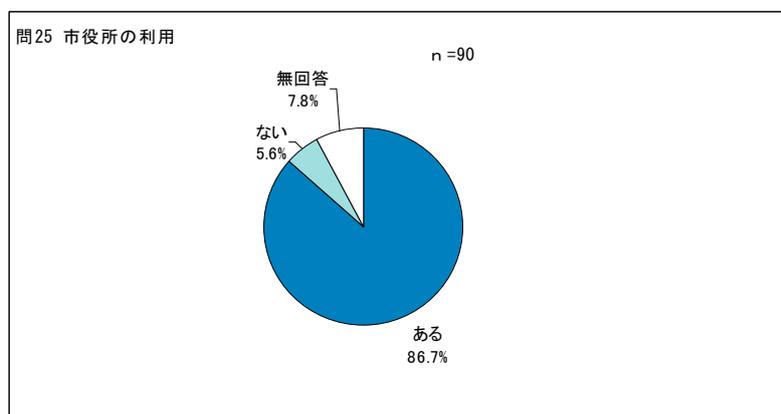
病院のケースワーカーに相談したことがあるかについてみると、「ない」が 41.1%と多く、次いで「ある」が 34.4%となっています。



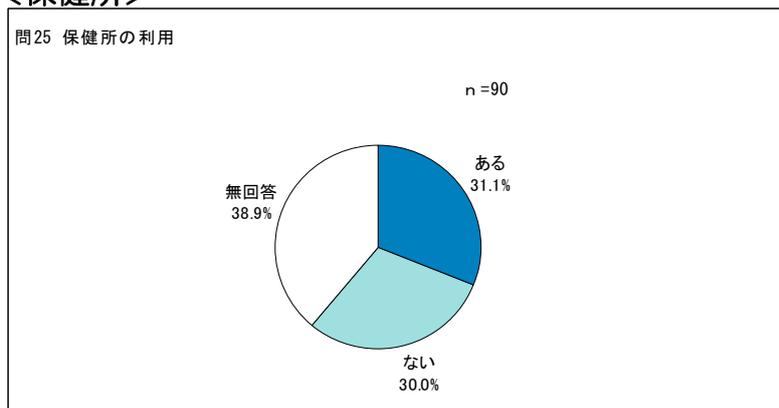
問 25 あなたは、市役所または保健所を利用したことがありますか。[単数回答]

市役所を利用したことがあるかについてみると、「ある」が 86.7%と多くなっています。保健所を利用したことがあるかについてみると、「ある」が 31.1%と多くなっています。

<市役所>



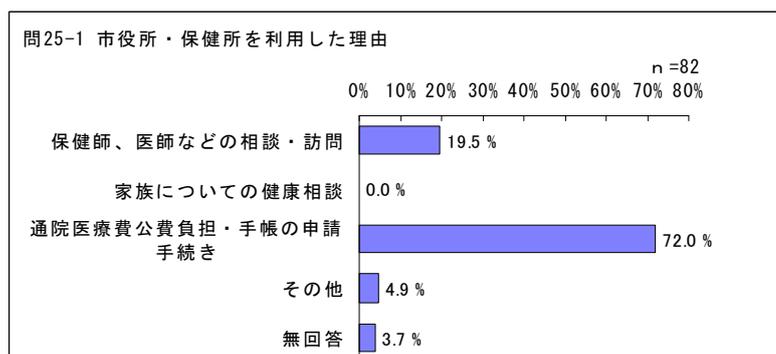
<保健所>



問 25 のどちらかで 「ある」を選んだ回答者

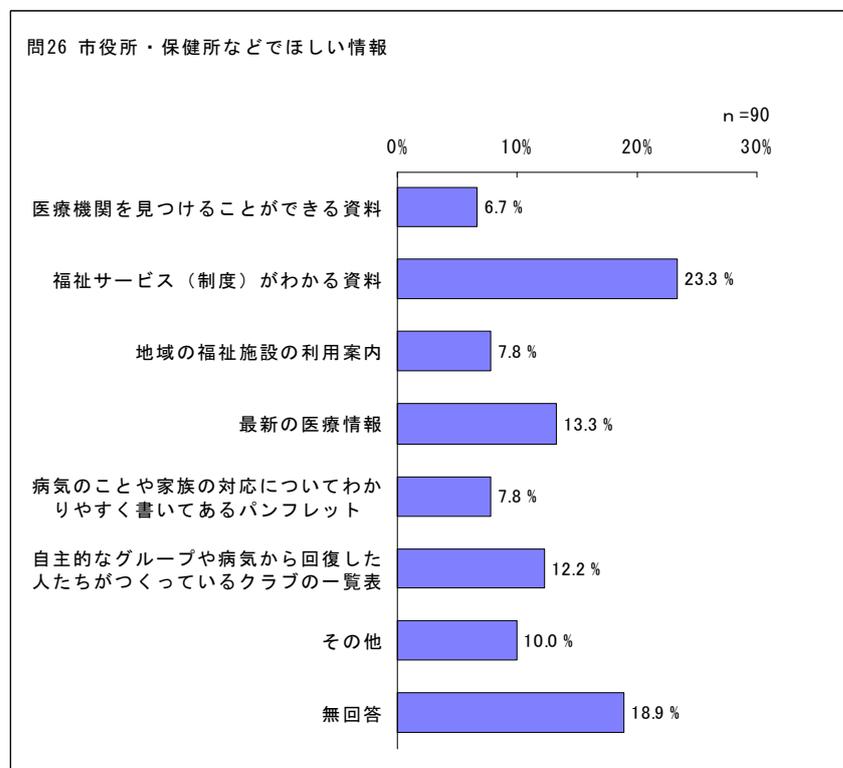
問 25-1 どのような利用をしましたか。[単数回答]

利用についてみると、「通院医療費公費負担（自立支援医療）・手帳の申請手続き」が72%と最も多く、次いで「保健師、医師などの相談・訪問」が19.5%となっています。



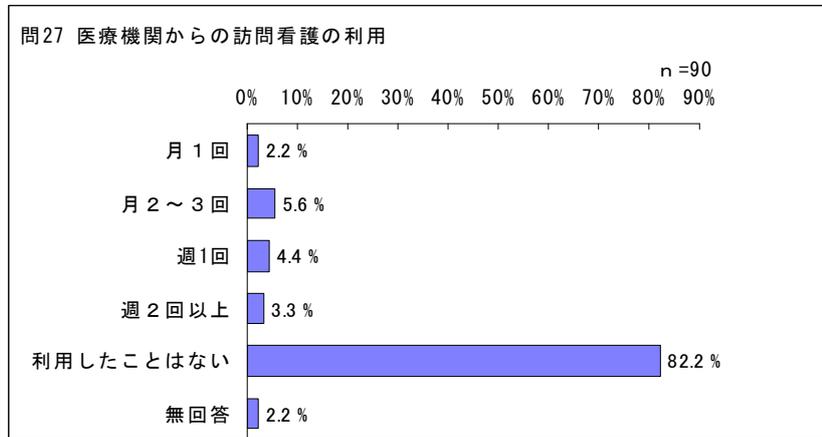
問 26 市役所や保健所などで、あなたがほしい情報は何か。[単数回答]

ほしい情報についてみると、「福祉サービス（制度）がわかる資料」が23.3%と最も多く、次いで「無回答」が18.9%、「最新の医療情報」が13.3%となっています。



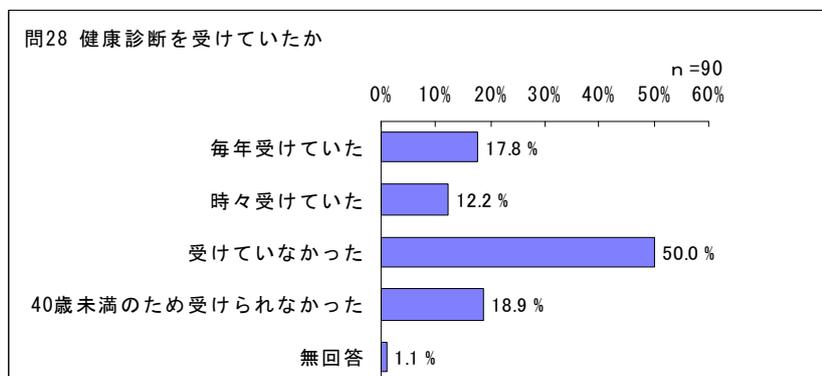
問 27 医療機関からの訪問看護を利用したことがありますか。[単数回答]

医療機関からの訪問看護についてみると、「利用したことはない」が 82.2%と圧倒的に多くなっています。



問 28 市で実施している健康診断を受けていましたか。[単数回答]

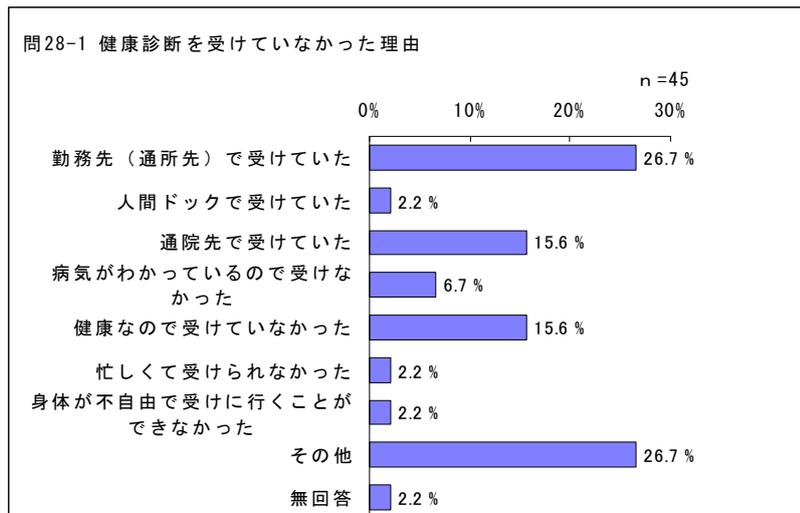
健康診断についてみると、「受けていなかった」が半数を占めて多く、次いで「40 歳未満のため受けられなかった」が 18.9%となっています。



問 28 で 「受けていなかった」を選んだ回答者

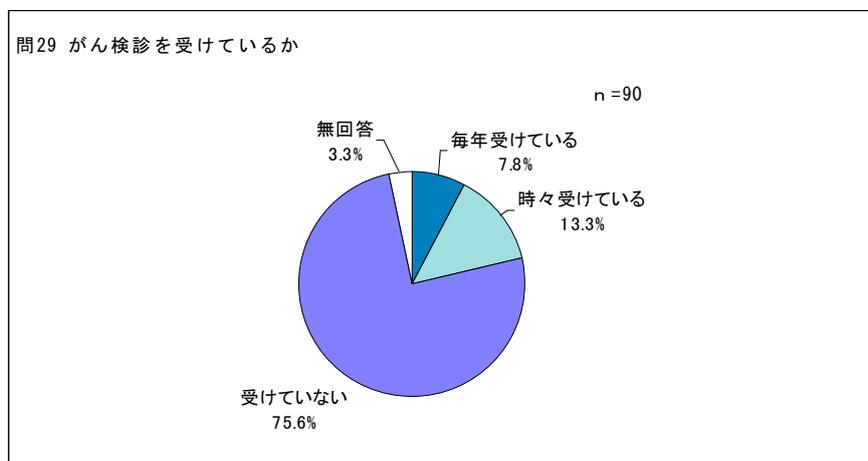
問 28-1 「受けていなかった」主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「勤務先（通所先）で受けていた」と「その他」が 26.7%と最も多く、次いで「通院先で受けていた」と「健康なので受けていなかった」がともに 15.6%となっています。「その他」では、「病気の症状から、集団の中に入るのが大変困難な状態」、「サービスがあったのを知らなかった」等が挙げられています。



問 29 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[単数回答]

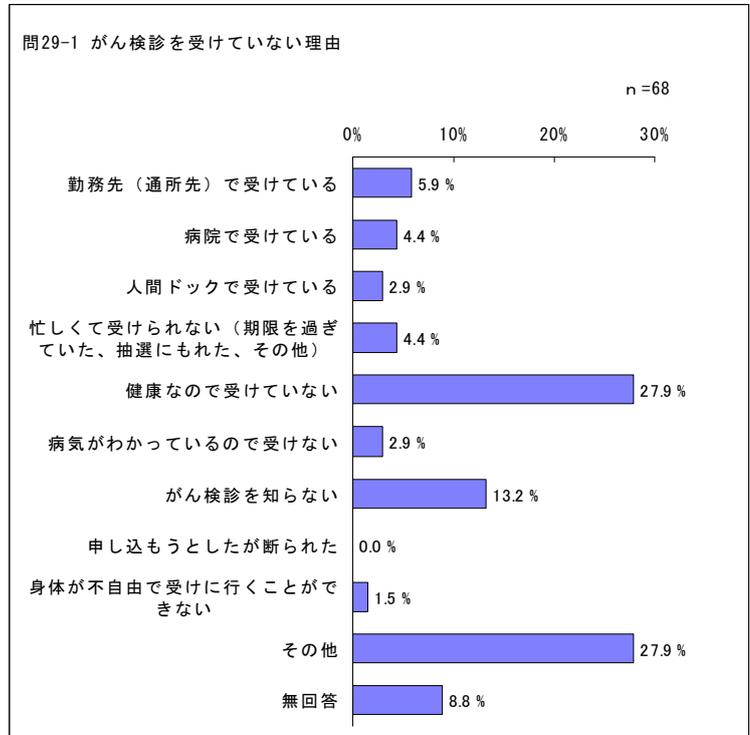
がん検診についてみると、「受けていない」が 75.6%と最も多くなっています。



問 29 で 「受けていない」を選んだ回答者

問 29-1 「受けていない」主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「健康なので受けていない」と「その他」が 27.9%と最も多く、次いで「がん検診を知らない」が 13.2%となっています。



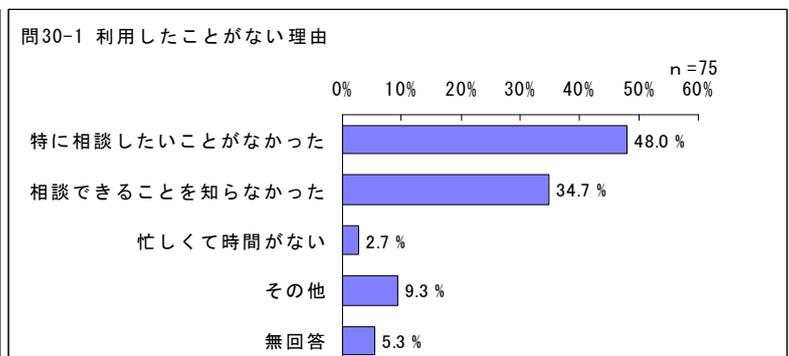
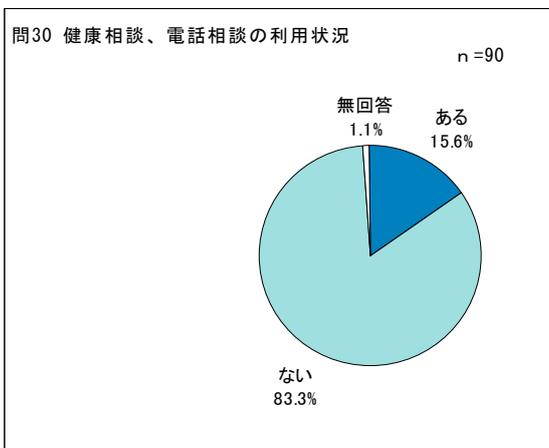
問 30 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことがありますか。[単数回答]

問 30 で 「ない」を選んだ回答者

問 30-1 健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜですか。[単数回答]

健康相談、電話相談についてみると、「ない」が 83.3%となっています。

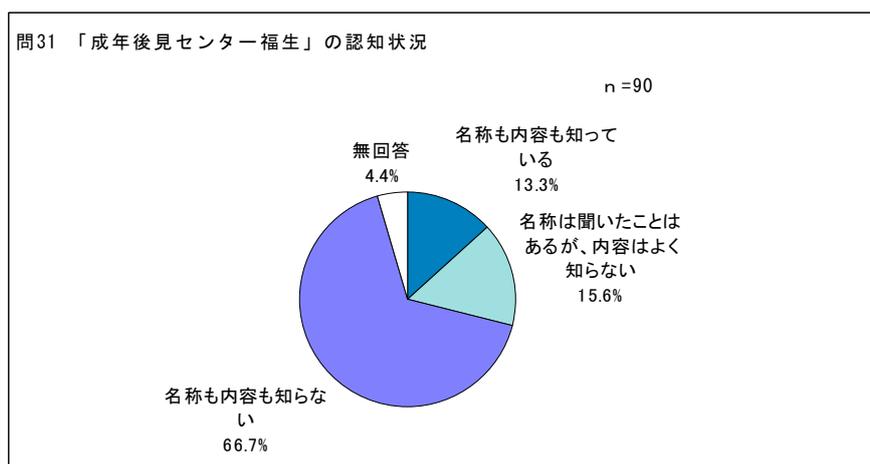
利用したことがない理由についてみると、「特に相談したいことがなかった」が 48%と最も多く、次いで「相談できることを知らなかった」が 34.7%となっています。



5 福祉サービスについて

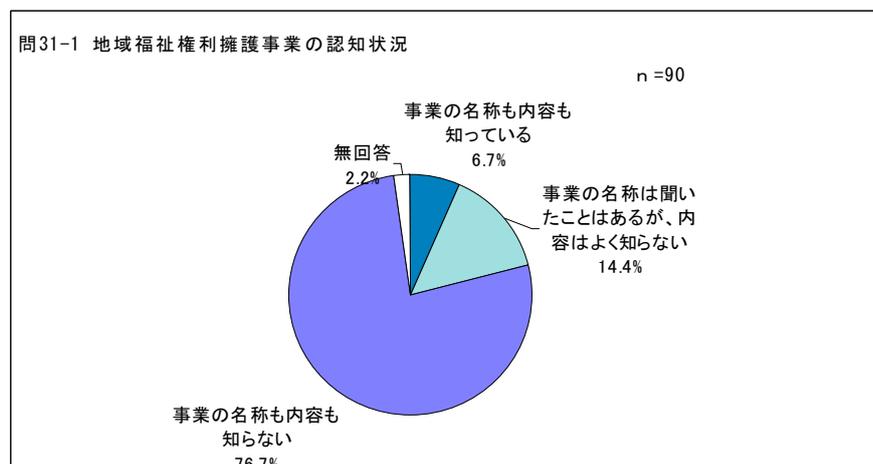
問 31 「成年後見センター福生」では、認知症、知的障害または精神障害により判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」（福祉サービス利用援助事業）や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが、「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

「成年後見センター福生」の認知度についてみると、「名称も内容も知らない」が 66.7%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 15.6%となっています。



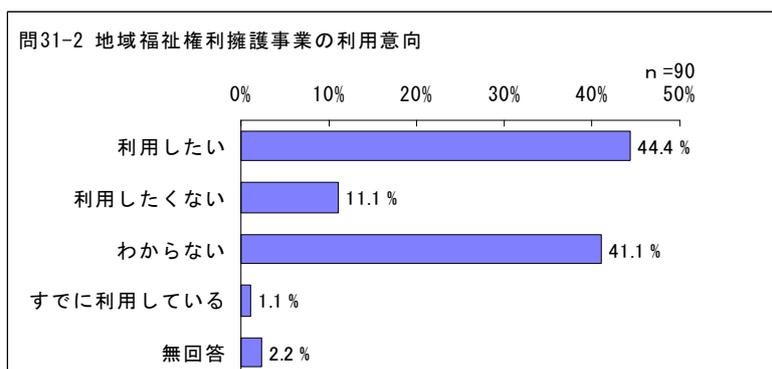
問 31-1 「地域福祉権利擁護事業」についておききます。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」の認知度についてみると、「事業の名称も内容も知らない」が 76.7%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が 14.4%となっています。



問 31-2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

利用意向についてみると、「利用したい」が44.4%と最も多く、次いで「わからない」が41.1%となっています。

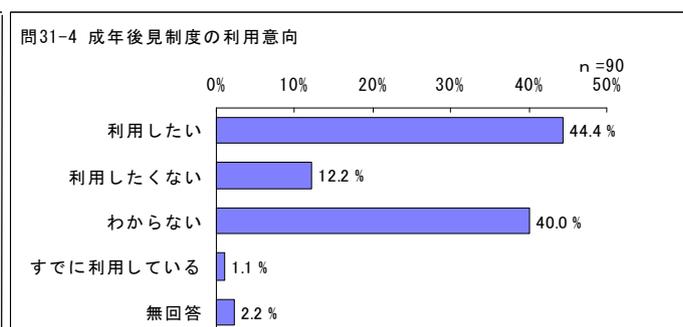
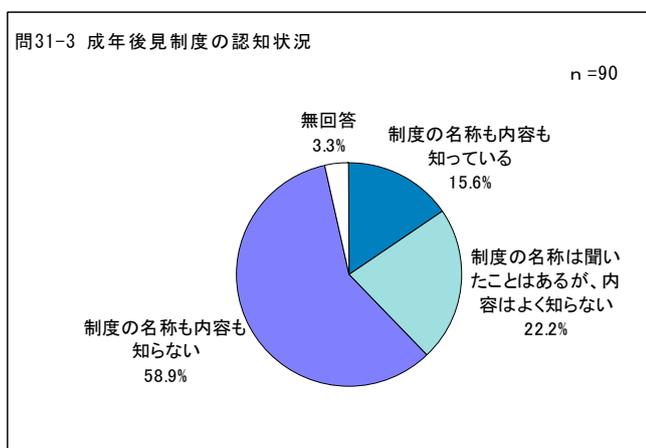


問 31-3 「成年後見制度」についておききします。[単数回答]

問 31-4 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

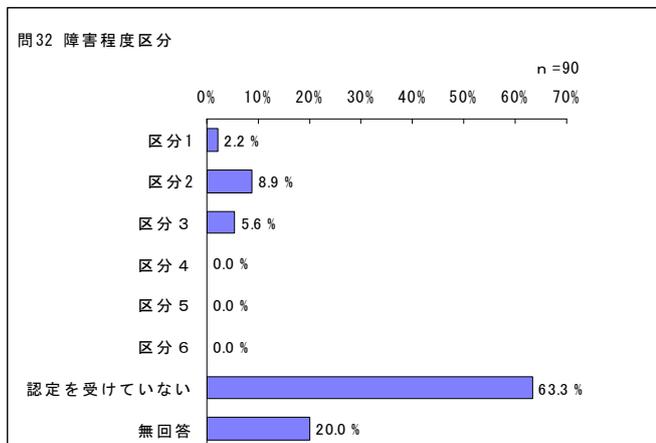
「成年後見制度」の認知度についてみると、「制度の名称も内容も知らない」が58.9%と最も多く、次いで「制度の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が22.2%となっています。

利用意向についてみると、「利用したい」が44.4%と最も多く、次いで「わからない」が40%となっています。



問 32 障害福祉サービスの必要量を決める障害程度区分は次のうちどれですか。
[単数回答]

障害程度区分についてみると、「認定を受けていない」が63.3%と最も多く、次いで「無回答」が20%となっています。



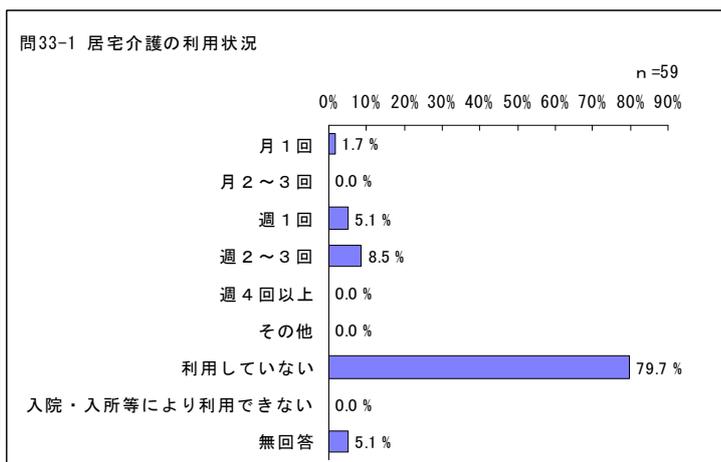
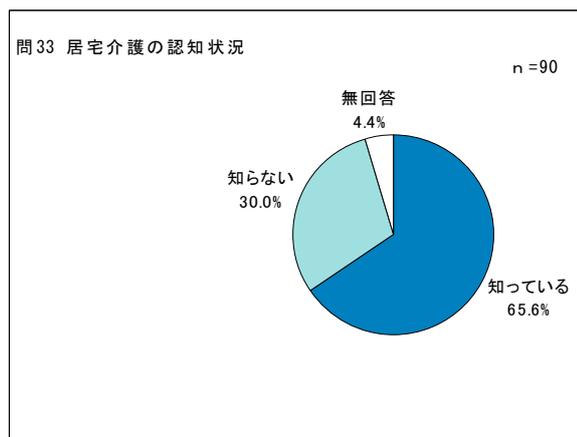
問 33 食事、掃除、身の回りの世話などのお手伝いをする居宅介護（ホームヘルプ）を実施していますが、ご存知ですか。[単数回答]

問 33 で 「知っている」を選んだ回答者

問 33-1 現在、居宅介護（ホームヘルプ）を利用していますか。また、利用している場合は、どのくらい利用していますか。[単数回答]

居宅介護（ホームヘルプ）を知っているかについてみると、「知っている」が65.6%と多く、「知らない」は30%となっています。

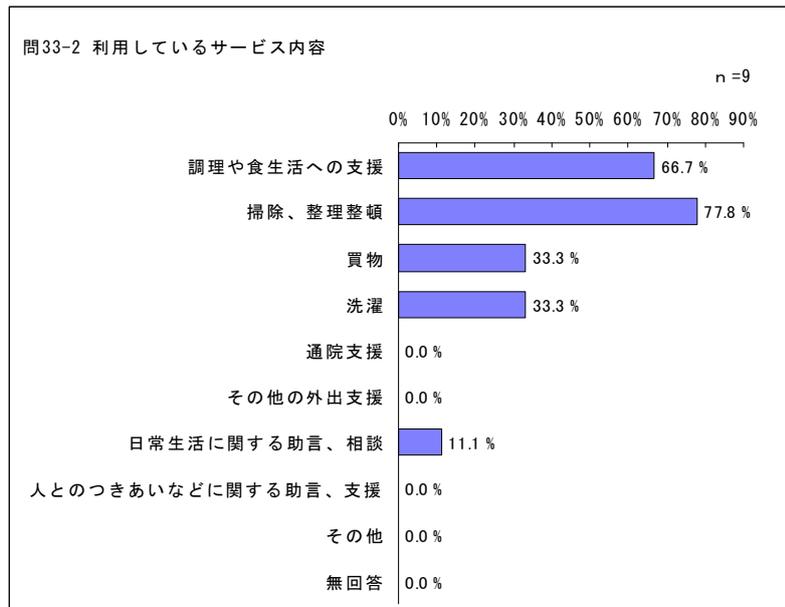
居宅介護を利用しているかについてみると、「利用していない」が79.7%と最も多くなっています。



問 33-1 で 「利用していない」「入院・入所等により利用できない」以外を選んだ回答者

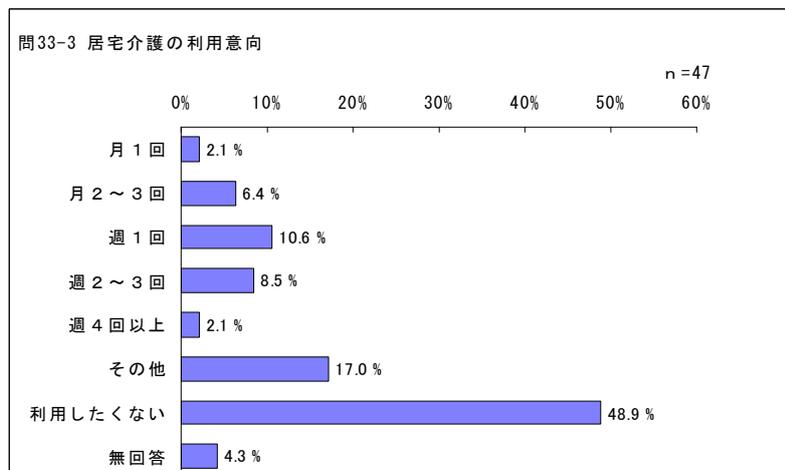
問 33-2 利用しているサービスの内容は何ですか。[複数回答]

利用しているサービスの内容についてみると、「掃除、整理整頓」が 77.8%と最も多く、次いで「調理や食生活への支援」が 66.7%となっています。



問 33-3 今後、居宅介護（ホームヘルプ）を利用したいと思いますか。また、利用したい場合は、どのくらい利用したいと思いますか。[単数回答]

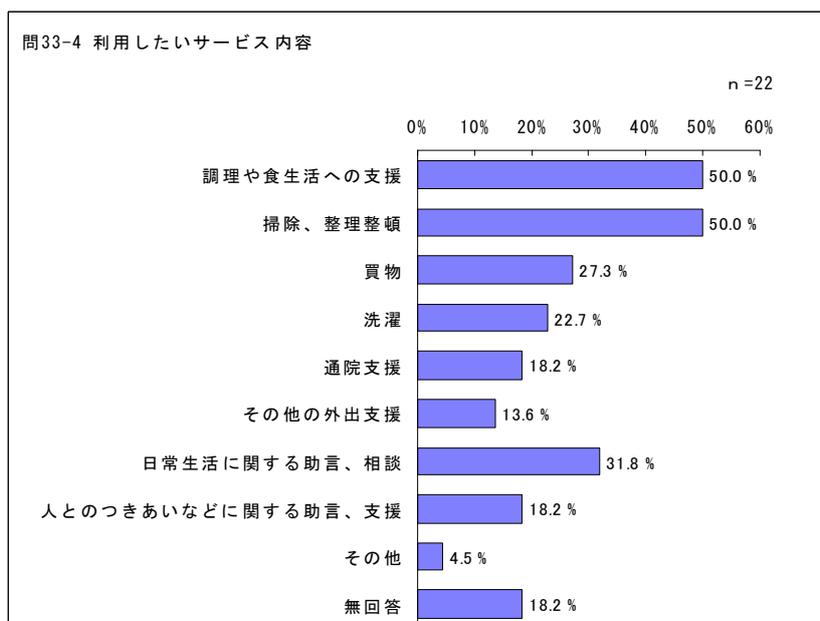
今後、居宅介護（ホームヘルプ）を利用したいと思うかについてみると、「利用したくない」が 48.9%と最も多く、次いで「その他」が 17%となっています。



問 33-3 で 「利用したくない」以外を選んだ回答者

問 33-4 利用したいサービスの内容は何ですか。[複数回答]

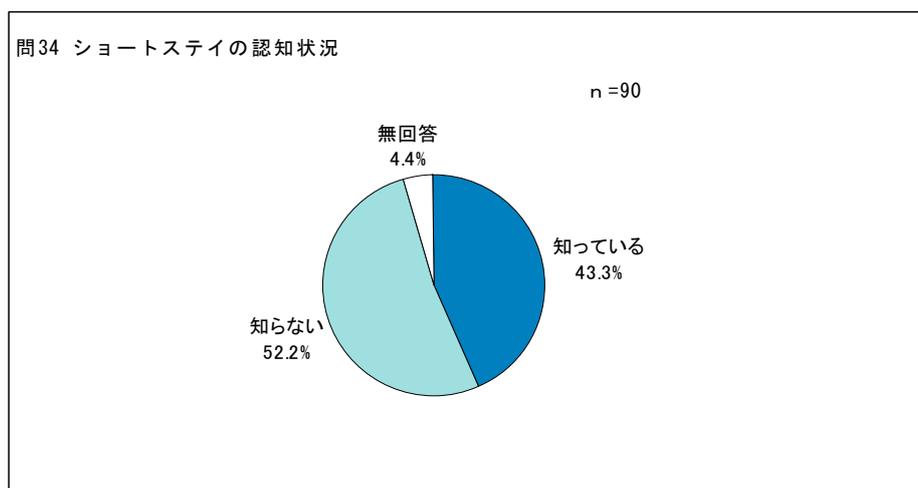
利用したいサービスの内容についてみると、「調理や食生活への支援」と「掃除、整理整頓」がともに 50%と最も多く、次いで「日常生活に関する助言、相談」が 31.8%となっています。



問 34 家族の疾病などにより、在宅で生活することが困難になった際に施設への短期入所を行う「ショートステイ」を実施していますが、ご存知ですか。

[単数回答]

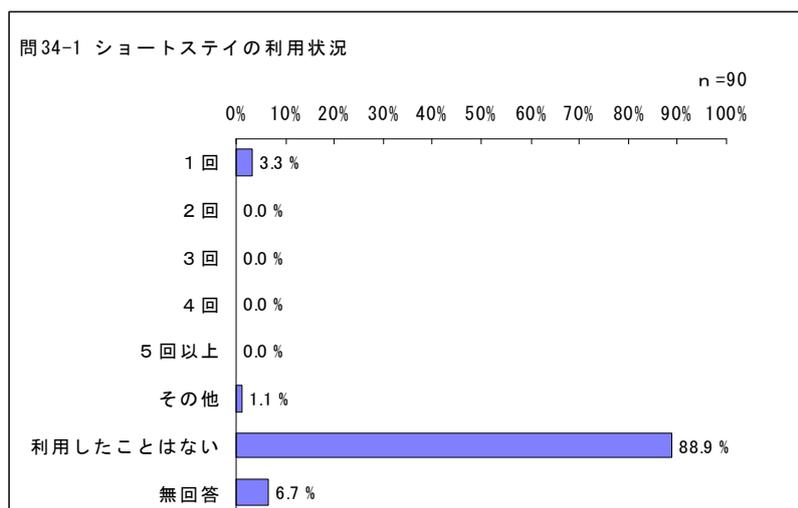
ショートステイを知っているかについてみると、「知らない」が 52.2%と過半数を占め、多くなっています。



問 34-1 ショートステイを利用したことがありますか。また、利用したことがある場合は、1年間に何回利用しましたか。[単数回答]

ショートステイの利用状況についてみると、「利用したことはない」が88.9%と圧倒的に多くなっています。

次いで「無回答」が6.7%、「1回」が3.3%となっています。

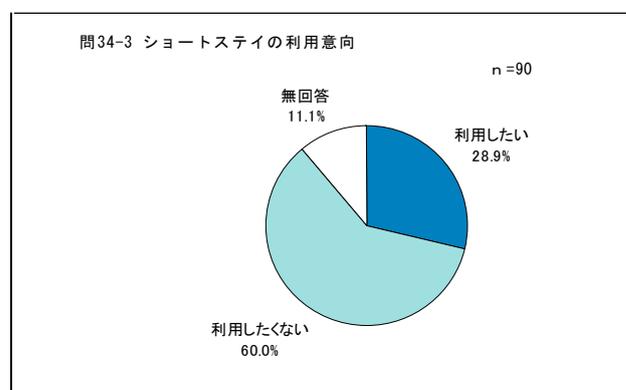
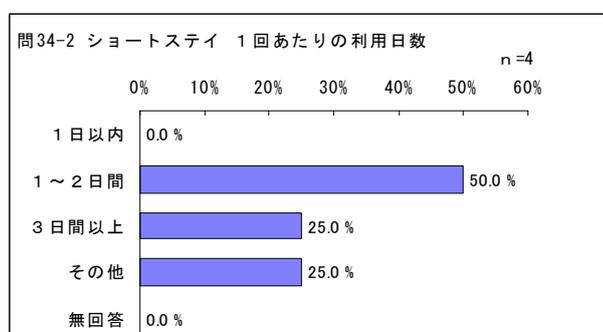


問 34-1 で 「利用したことがない」以外を選んだ回答者

問 34-2 1回あたり平均して何日程度利用しましたか。[単数回答]

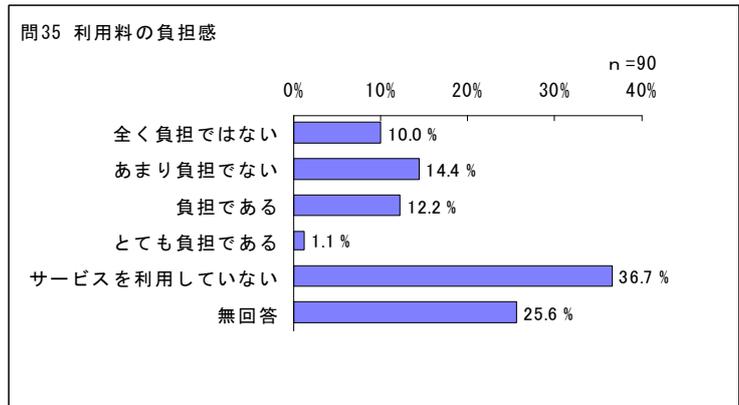
問 34-3 今後、ショートステイを利用したいと思えますか。[単数回答]

1回あたりの利用は平均「1～2日間」とした回答が最も多く、4人中2人となっています。今後利用したいと思うかについてみると、「利用したくない」が60%、「利用したい」は28.9%となっています。

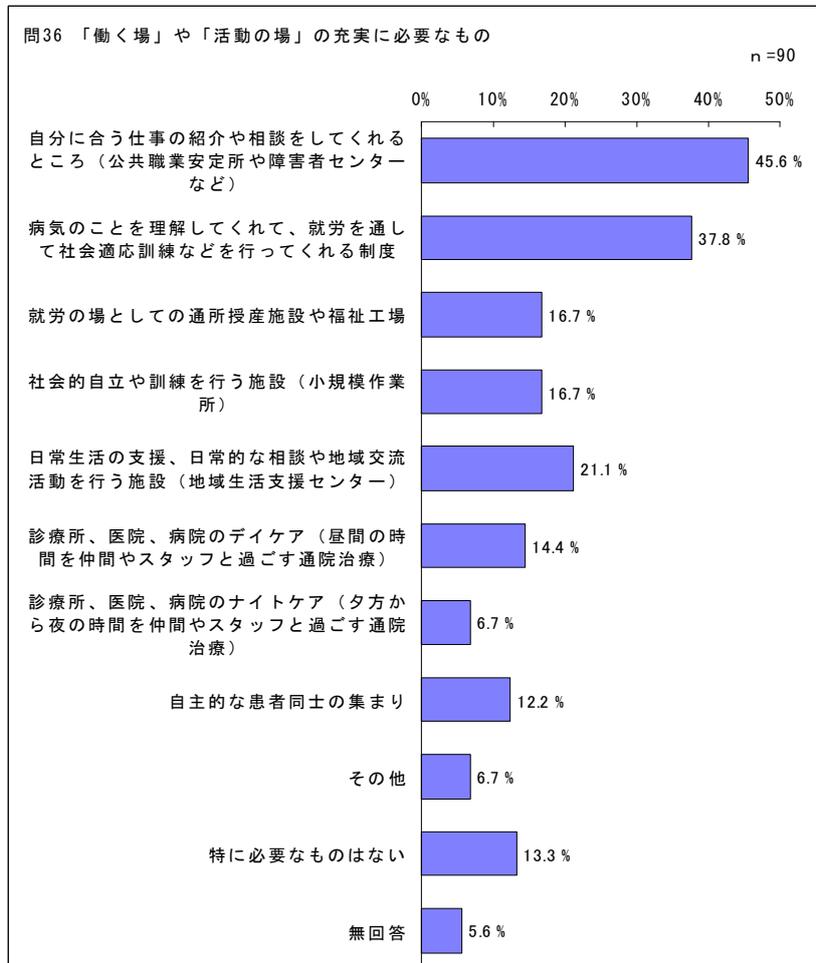


問 35 現在支払っている利用料の負担感についてうかがいます。[単数回答]

利用料の負担感についてみると、「サービスを利用していない」が36.7%と最も多く、次いで「無回答」が25.6%となっています。



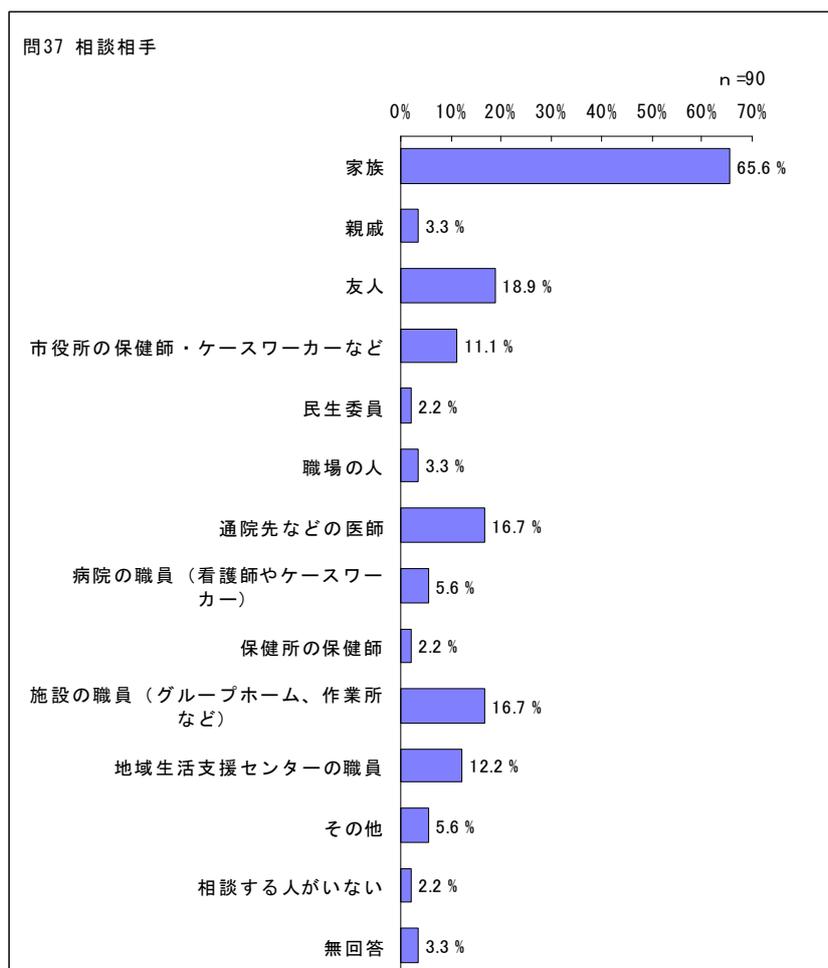
問 36 「働く場」や「活動の場」を充実させるため、あなたが必要と思うものは何ですか。[複数回答－3つ以内]



必要と思うものについてみると、「自分に合う仕事の紹介や相談をしてくれるところ（公共職業安定所や障害者センターなど）」が45.6%と最も多く、次いで「病気のことを理解してくれて、就労を通して社会適応訓練などを行ってくれる制度」が37.8%となっています。

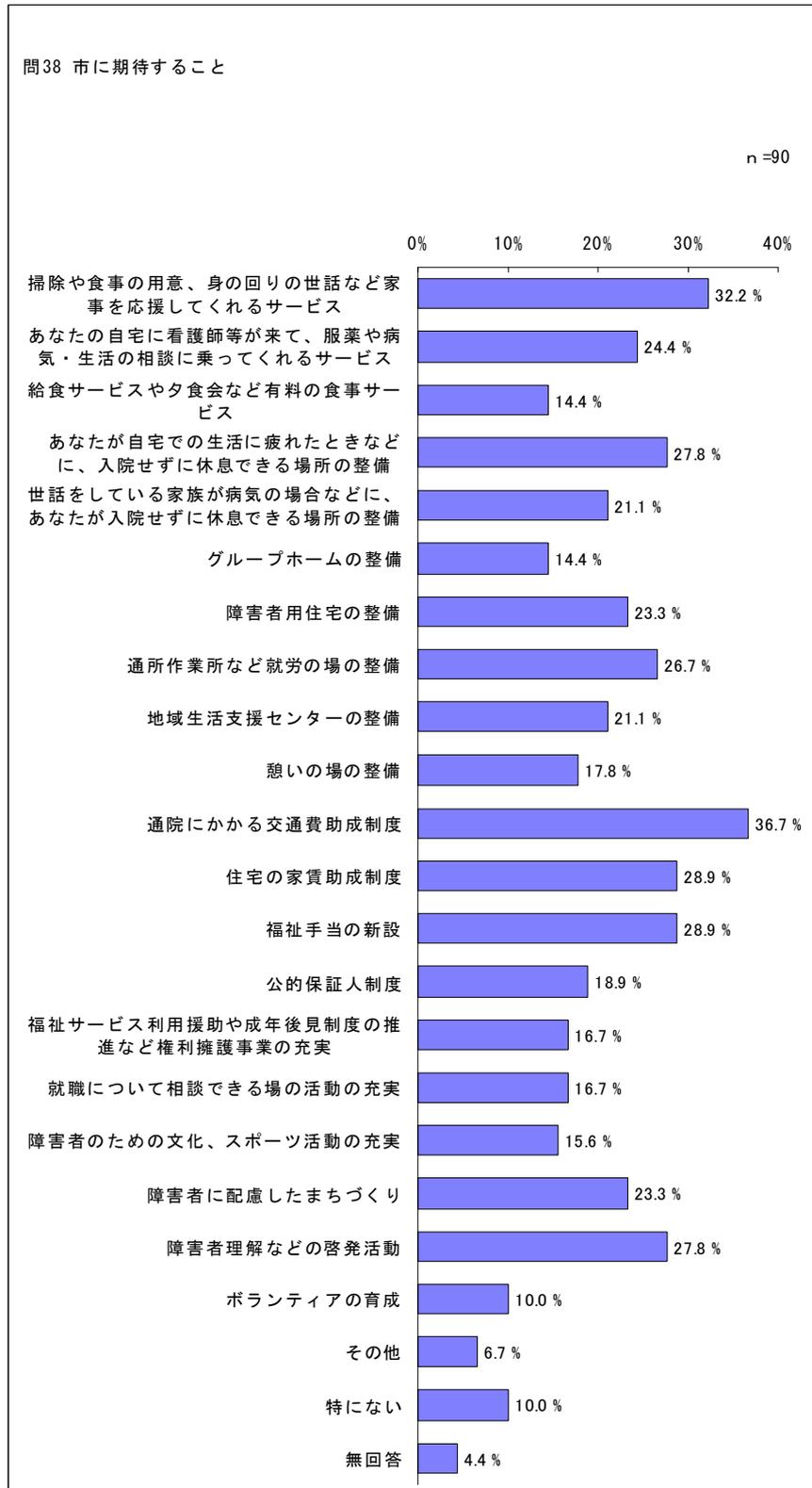
問 37 あなたが生活上の悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。[複数回答－2つ以内]

相談するのは誰かについてみると、「家族」が65.6%と最も多く、次いで「友人」が18.9%となっています。



問 38 今後、市に何を期待しますか。[複数回答]

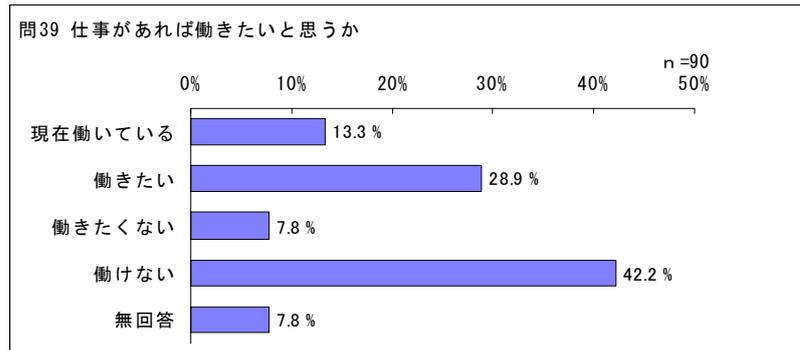
市に何を期待するかについてみると、「通院にかかる交通費助成制度」が 36.7%と最も多く、次いで「掃除や食事の用意、身の回りの世話など家事を応援してくれるサービス」が 32.2%となっています。



6 就労意欲について

問 39 あなたは、適当な仕事があれば働きたいと思いますか。[単数回答]

働きたいと思うかについてみると、「働けない」が 42.2%と最も多く、次いで「働きたい」が 28.9%となっています。



■適当な仕事があれば働きたいと思うか一年齢別 *上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

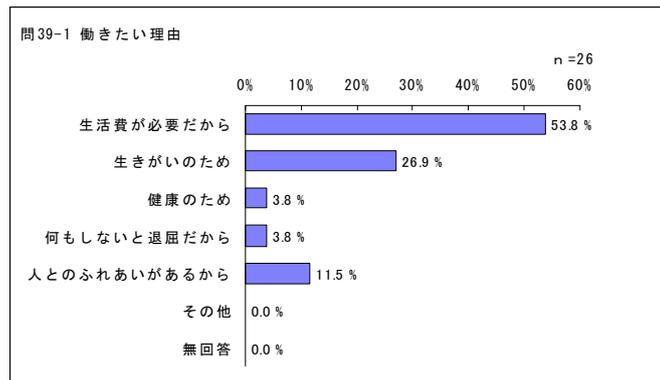
	全体	現在働いている	働きたい	働きたくない	働けない	無回答
合計	90	12	26	7	38	7
	100.0	13.3	28.9	7.8	42.2	7.8
29歳以下	6	0	3	0	2	1
	100.0	0.0	50.0	0.0	33.3	16.7
30歳代	26	3	12	0	10	1
	100.0	11.5	46.2	0.0	38.5	3.8
40歳代	17	1	5	2	7	2
	100.0	5.9	29.4	11.8	41.2	11.8
50歳代	21	4	3	2	11	1
	100.0	19.0	14.3	9.5	52.4	4.8
60歳代	14	3	1	2	7	1
	100.0	21.4	7.1	14.3	50.0	7.1
70歳以上	2	0	0	1	1	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

就労意欲を年齢別でみると、「働きたい」とする回答は29歳以下と30歳代では最も多い回答で、40歳代では2番目に多く、50歳代では第3位で、60歳代以上では1人しかみられません。

問 39 で 「働きたい」を選んだ回答者

問 39-1 「働きたい」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

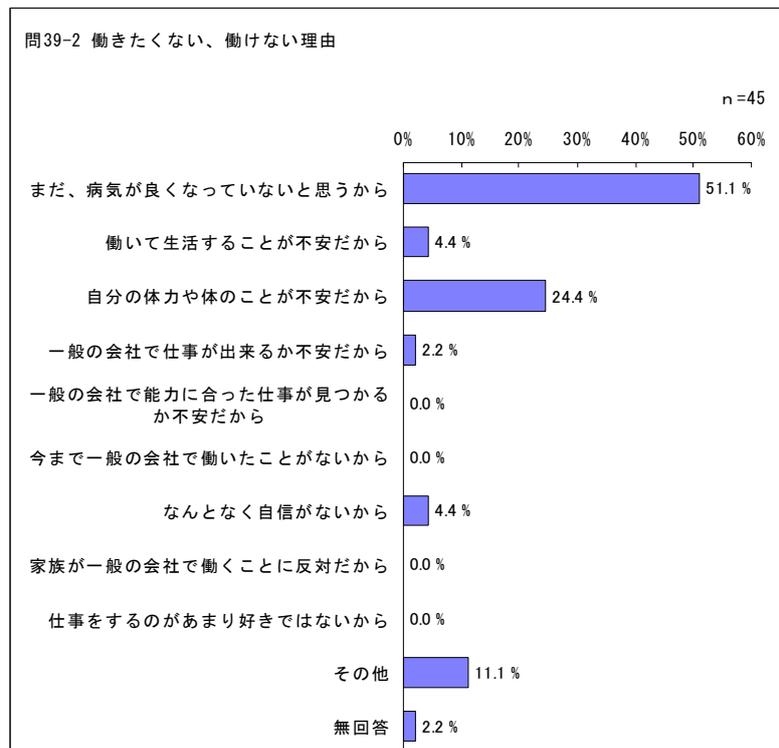
働きたい理由についてみると、「生活費が必要だから」が 53.8%と最も多く、次いで「生きがいのため」が 26.9%となっています。



問 39 で 「働きたくない」、「働けない」を選んだ回答者

問 39-2 「働きたくない、働けない」と答えた方にうかがいます。その主な理由は何ですか。[単数回答]

理由についてみると、「まだ、病気が良くなっていないと思うから」が 51.1%と最も多く、次いで「自分の体力や体のことが不安だから」が 24.4%となっています。

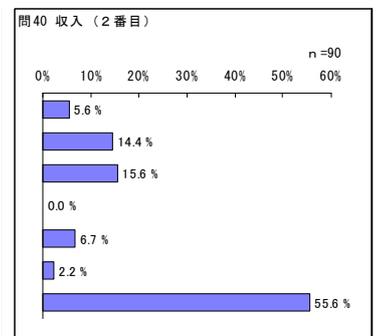
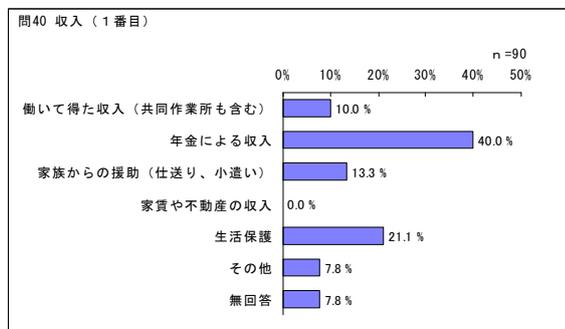


7 収入について

問 40 あなたはどのように収入を得ていますか。[金額の多い順に2つまで]

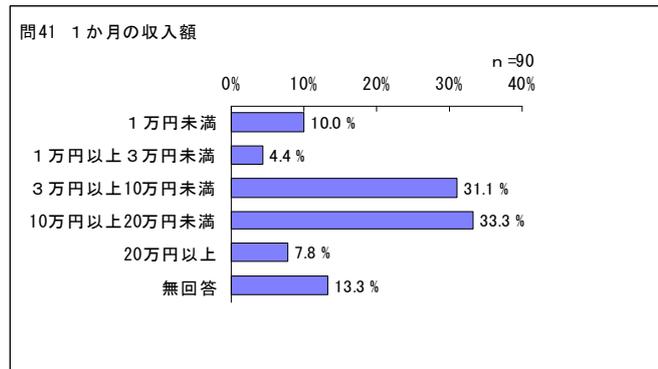
最も金額の多い収入では、「年金による収入」が 40%と最も多く、次いで「生活保護」が 21.1%となっています。

2番目に金額の多い収入としては、「無回答」が 55.6%と最も多く、次いで「家族からの援助(仕送り、小遣い)」が 15.6%です。



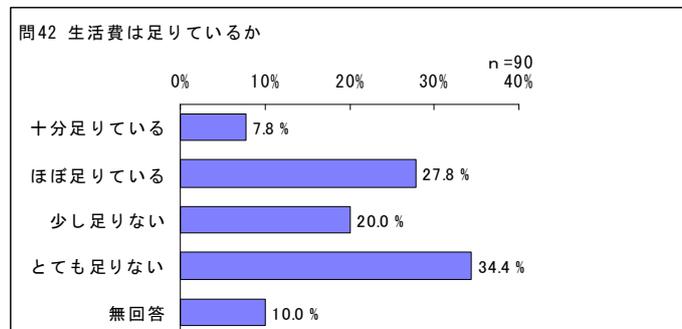
問 41 あなたの1か月の収入は、およそどのくらいですか。[単数回答]

1か月の収入についてみると、「10万円以上20万円未満」が33.3%と最も多く、次いで「3万円以上10万円未満」が31.1%となっています。



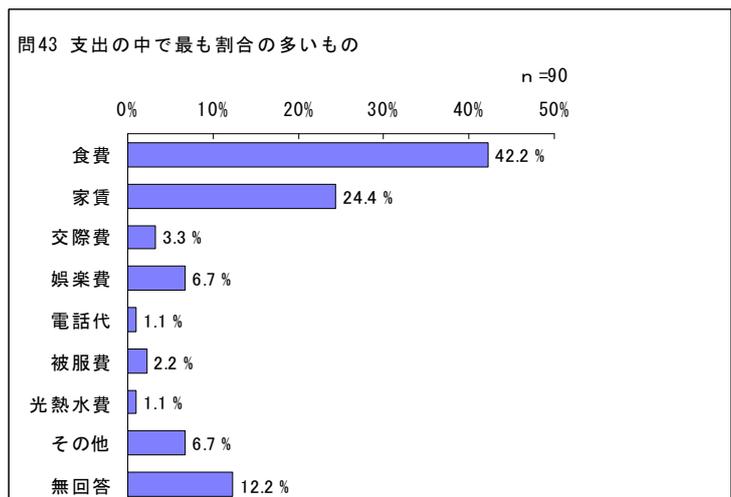
問 42 あなたの収入で、生活費は足りていますか。[単数回答]

生活費についてみると、「とても足りない」が34.4%と最も多く、次いで「ほぼ足りている」が27.8%となっています。



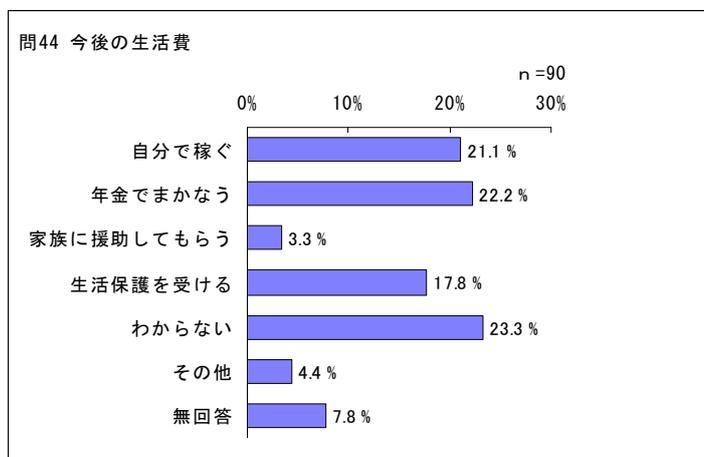
問 43 あなたの支出の中で、最も割合の多いものは何ですか。[単数回答]

支出で最も割合の多いものについてみると、「食費」が42.2%と最も多く、次いで「家賃」が24.4%となっています。



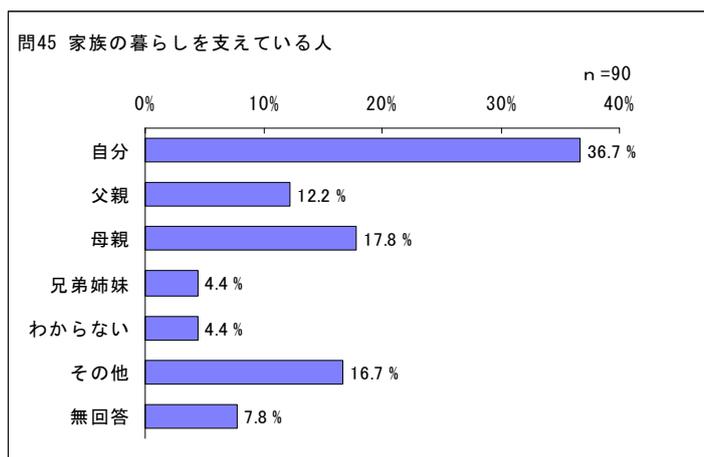
問 44 あなたは今後の生活費をどのように考えていますか。[単数回答]

今後の生活費についてみると、「わからない」が23.3%と最も多く、次いで「年金でまかなう」が22.2%となっています。



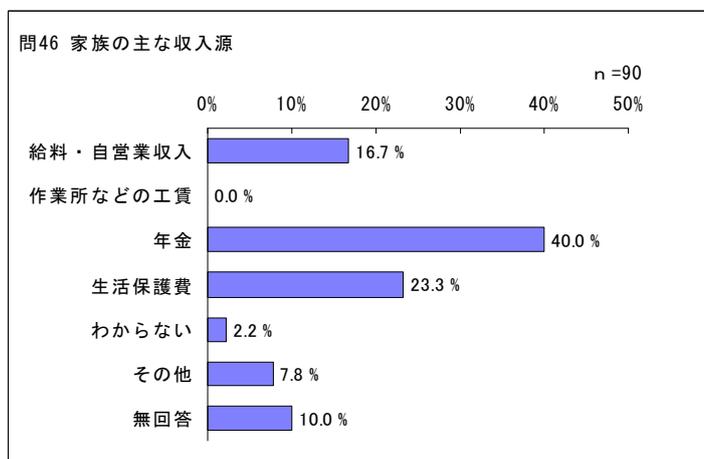
問 45 家族の暮らしを支えている人は主に誰ですか。[単数回答]

家族の暮らしを支えている人についてみると、「自分」が36.7%と最も多く、次いで「母親」が17.8%となっています。



問 46 家族の生活費をまかなっているのは主に何ですか。[単数回答]

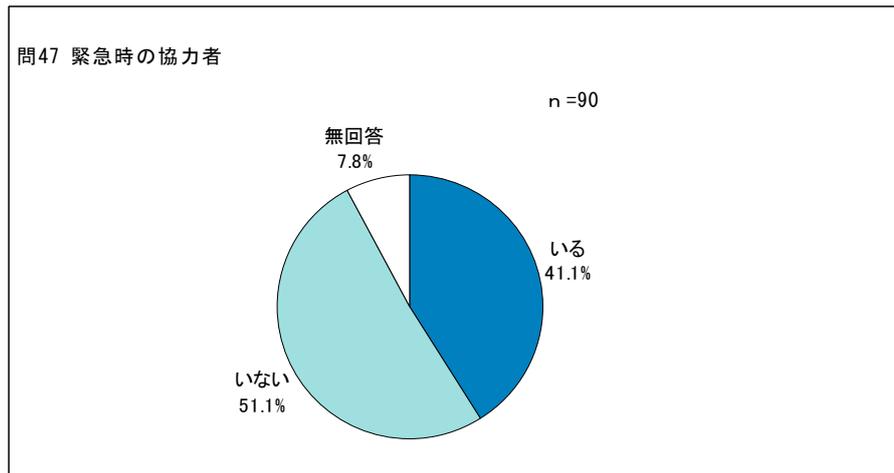
家族の生活費をまかなっているのは何かについてみると、「年金」が40%と最も多く、次いで「生活保護費」が23.3%となっています。



8 災害のときなど緊急時の対応について

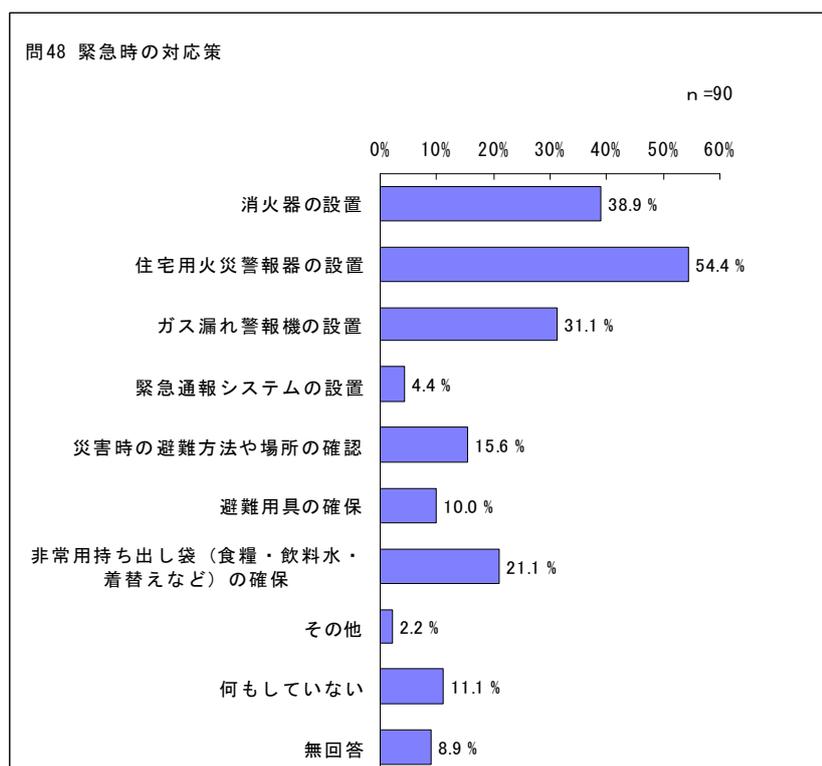
問 47 火災などの緊急時に近所で協力してくれる人がいますか。[単数回答]

近所で協力してくれる人がいるかについてみると、「いない」が51.1%と過半数を占めて多く、「いる」は41.1%となっています。



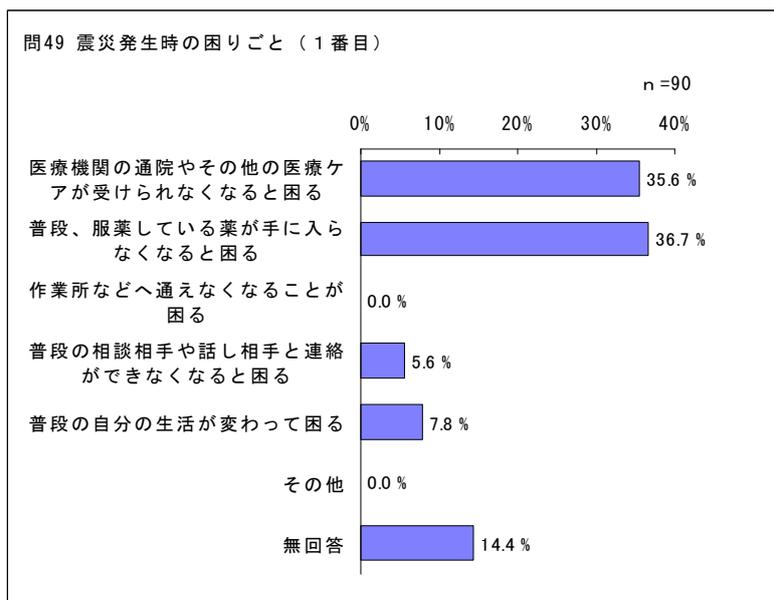
問 48 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。[複数回答]

緊急時の対応策についてみると、「住宅用火災警報器の設置」が54.4%と最も多く、次いで「消火器の設置」が38.9%となっています。



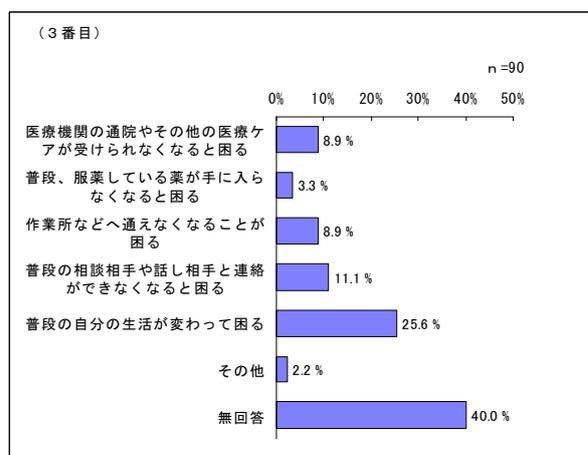
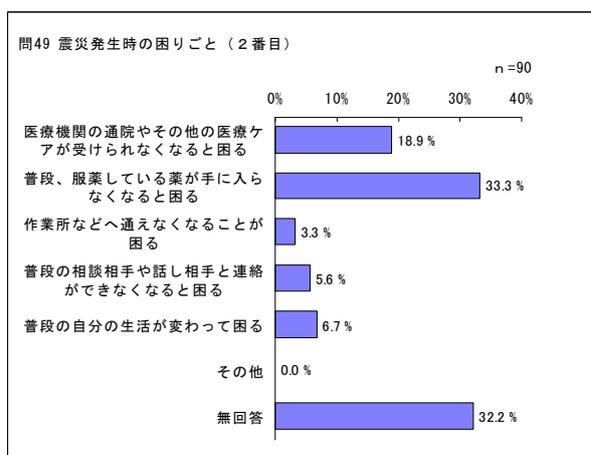
問 49 震災や水害などの災害発生時に、あなたは心身の健康面や生活面でどんなことに困ると思いますか。[最も困ると思われることから順に3つ以内]

災害発生時に健康面や生活面で最も困ることでは、「普段、服薬している薬が手に入らなくなると困る」が36.7%と最も多く、次いで「医療機関の通院やその他の医療ケアが受けられなくなると困る」が35.6%となっています。



2番目の回答としては、「普段、服薬している薬が手に入らなくなると困る」が33.3%と最も多く、次いで「無回答」が32.2%となっています。

3番目の回答としては、「無回答」が40%と最も多く、次いで「普段の自分の生活が変わって困る」が25.6%となっています。



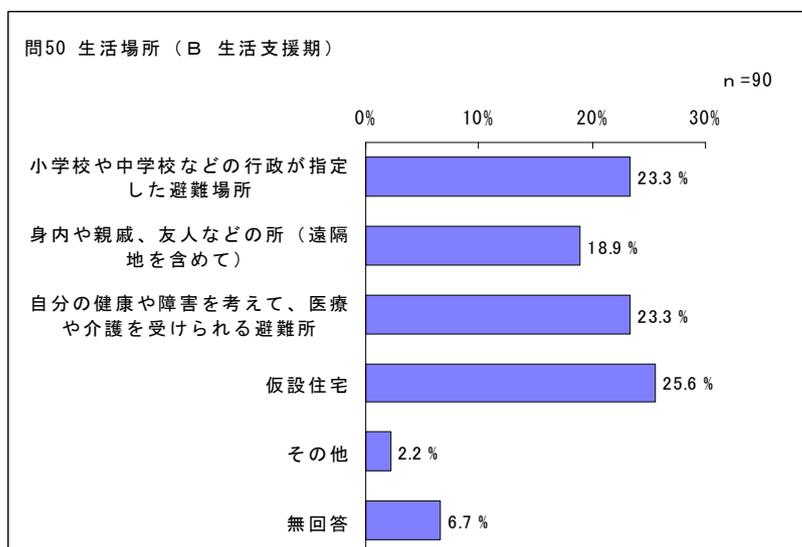
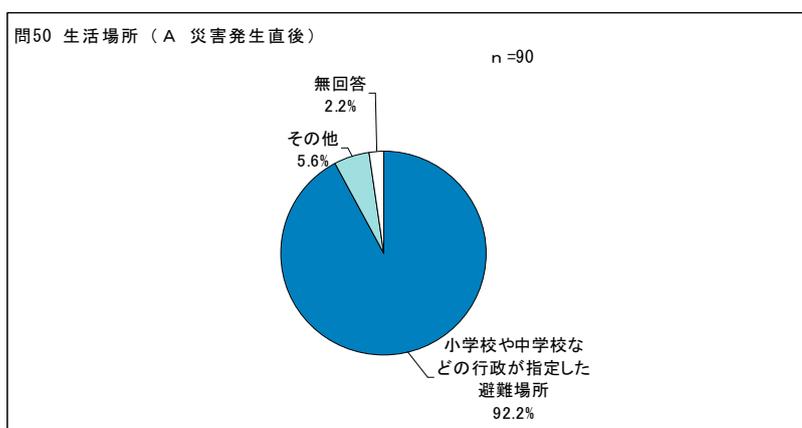
問 50 もしも災害により自宅で生活するのが困難な状態になった場合、あなたの生活するところはどこになるとお考えですか。[単数回答]

《A 災害発生直後》（発生時から1週間程度）

「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が92.2%と圧倒的に多くなっています。

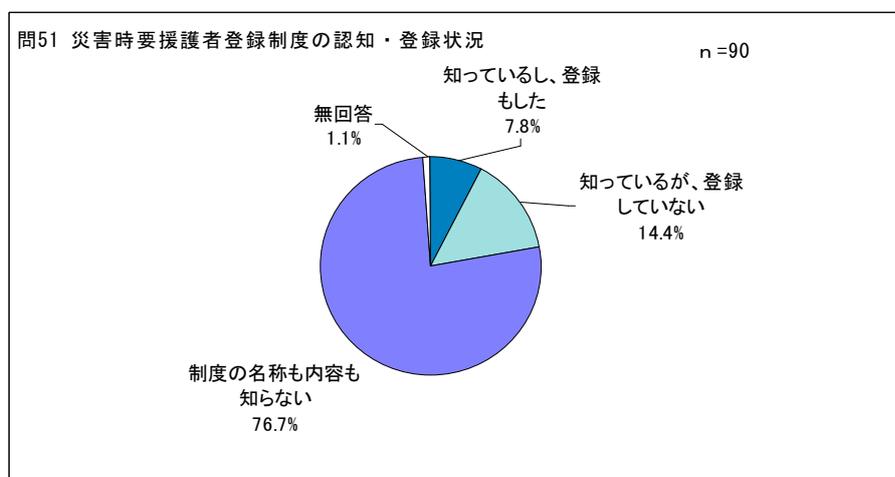
《B 生活支援期》（発生から1週間以上経過後）

「仮設住宅」が25.6%と最も多く、次いで「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」と「自分の健康や障害を考えて、医療や介護を受けられる避難所」がともに23.3%となっています。



問 51 「災害時要援護者登録制度」は、災害発生時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方が予め申請し、市の災害時要援護者台帳に登録することにより、その情報を地域の自主防災組織、民生委員・児童委員のほか、消防団、消防署、警察署、社会福祉協議会にも提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導等の支援活動を迅速にできるようにする制度ですが、ご存知ですか。[単数回答]

「災害時要援護者登録制度」の認知・登録状況についてみると、「制度の名称も内容も知らない」が76.7%と最も多く、次いで「知っているが、登録していない」が14.4%となっています。



**福生市高齢者・障害者生活実態調査
報告書**

平成 23 年 9 月発行

発行 福生市福祉保健部社会福祉課

〒197-8501

東京都福生市本町 5 番地

TEL : 042-551-1511 (代)